

北谷町まちづくり町民会議報告書

目 次

I 北谷町まちづくり町民会議実施概要.....	1
II 北谷町まちづくり町民会議の構成.....	2
III 北谷町まちづくり町民会議プログラム概要.....	4
IV グループワークの手法.....	5
V 参加者へのインプット.....	13
VI 第六次北谷町総合計画策定に向けた基礎調査.....	23
VII 沖縄21世紀ビジョン.....	28
VIII 北谷町の統計（子育て・教育・文化・スポーツ）.....	33
IX ワークショップの報告.....	60
1 子育て・教育・文化・スポーツ分野.....	60
2 産業（商工業・観光・漁業・農業）等.....	69
3 居住環境・道路・交通・土地利用・上下水・災害・消防・救急・防犯・交通安全・消費者保護・自然環境・景観の保全・循環型社会・環境衛生分野.....	79
4 健康づくり・地域福祉・高齢者・障がい・生活困難者・社会保障分野.....	91
5 平和・基地・人権尊重・男女共同参画・協働・行財政運営分野.....	101
X コンセプトのまとめ.....	111

I 北谷町まちづくり町民会議実施概要



I 目的

北谷町まちづくり町民会議は、北谷町の総合的なまちづくりの基本方向を示す北谷町総合計画の策定を行うに当たり、町民と協働して計画策定を推進することを目的に実施するものです。

2 進め方

北谷町まちづくり町民会議は、「グループワーク(ワークショップ)」方式で進めます。参加者が自由に意見やアイデアを出し合い、話し合いをしながら、その成果を参加者自身でまとめあげていく方法です。

3 グループ構成

北谷町まちづくり町民会議は、5つのグループに分かれてグループワークを行います。グループには公募により集まっていただきました町民の皆様に加え、各グループに町職員2名～3名が加わります。

ただし、会議の主役は町民の皆様ですので、積極的な議論をお願いします。

4 ファシリテーターの配置

北谷町まちづくり町民会議を円滑に進めるため、論点の整理や、話し合いの方向性についての助言などを行うファシリテーターを置きます。ファシリテーターは客観的、中立的な立場で関わっていただきますので、意思決定が求められる際は、グループとして行っていただきます。

ファシリテーターは、進行役、水先案内人です。参加者が対等な立場で意見を述べ、民主的に会議が進んでいくよう、様々な工夫を行い、会議をスムーズに進行していく役割です。

北谷町まちづくり町民会議参加者の心得

北谷町まちづくり町民会議実施にあたって次のとおり参加者の心得を示します。

- 1 行政への陳情・要請の場ではありません。会議の趣旨を理解しましょう。
- 2 政治・宗教・営利活動は一切行ってはいけません。
- 3 他者を誹謗中傷するような行為は絶対に行わないでください。
- 4 参加者に年齢や肩書による上下関係は一切ありません。
- 5 お互いの話に耳を傾け、多様な意見を受け入れましょう。
- 6 他の参加者が発言しているときは、発言しないでください。
- 7 会議は決められた結論に導くものではありません。自由に議論をしましょう。

II 北谷町まちづくり町民会議の構成

1 参加者 40名以内

- (1) 町民（公募）
- (2) 役場職員（各セクションからメンバーを選抜）

2 ファシリテーター

株式会社ぎょうせい

3 事務局

- (1) 企画財政課職員
- (2) 株式会社ぎょうせい（コンサルタント）

4 グループ編成

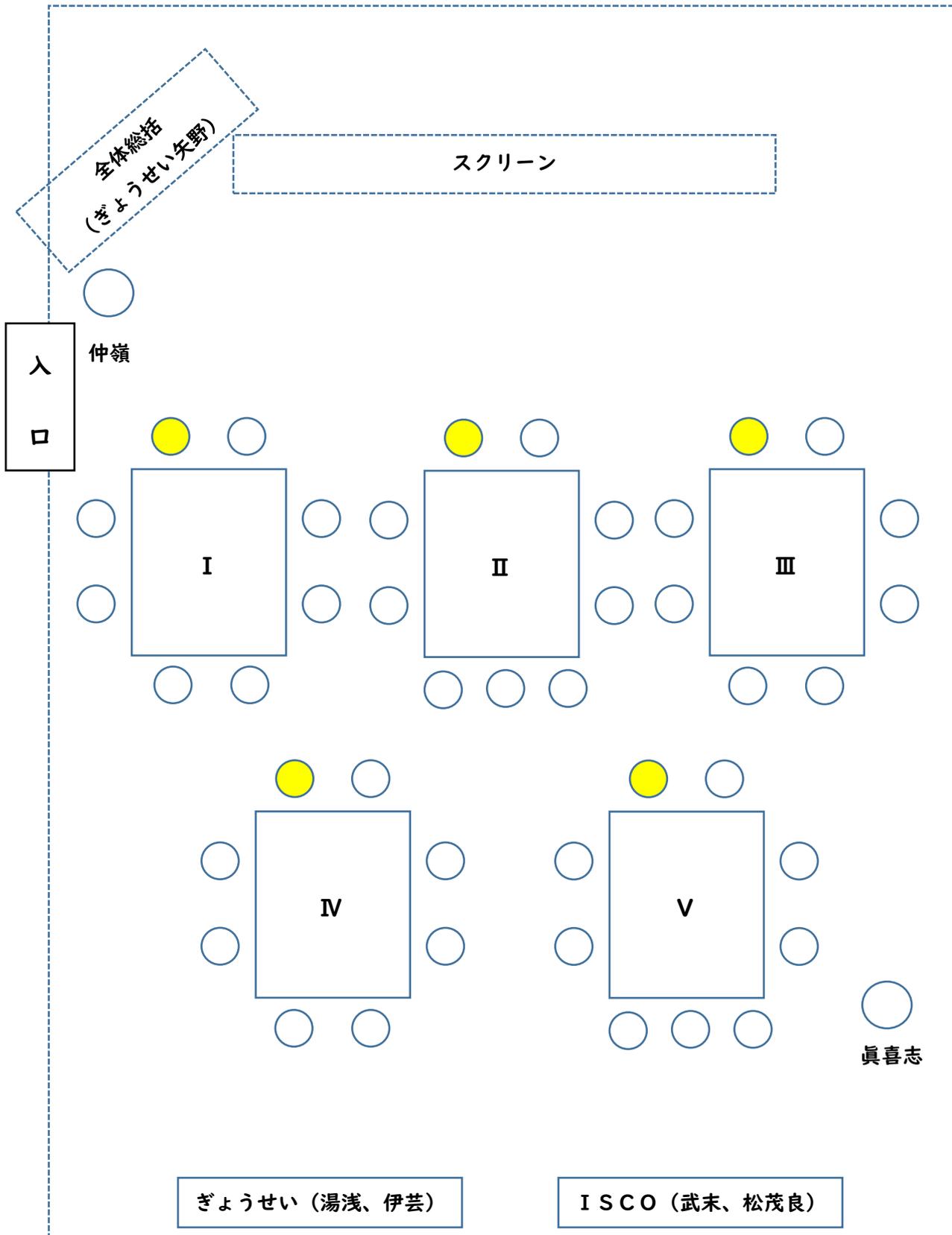
参加者を次の5グループに分ける（各グループ8名程度）

I	子育て・教育・文化・スポーツ等
II	産業（商工業・観光・漁業・農業）等
III	都市・環境・防災・防犯・交通安全等
IV	福祉（健康・地域福祉・障がい者福祉・高齢者福祉）等
V	平和・基地・人権尊重・男女共同参画・協働のまちづくり・行財政運営等

5 各自の役割

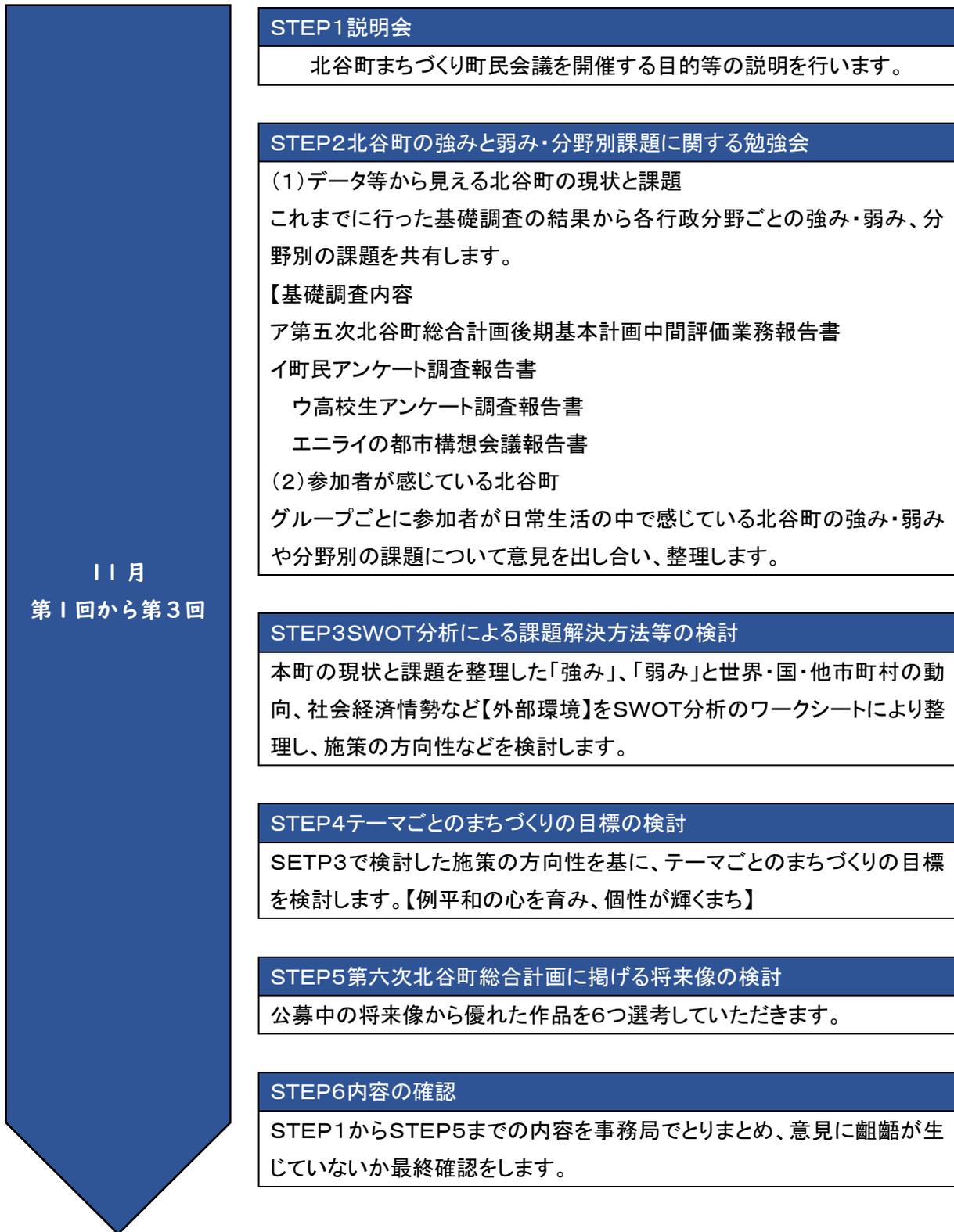
1 参加者	町民 役場職員	全体会議・グループごとワークショップでの議論
2 ファシリテーター	コンサルタント	円滑な議論を行うためのサポート 各グループに1人配置
3 事務局	企画財政課担当 コンサルタント	必要な資料の準備、事前調整 円滑な運営のサポート 会議の記録 最終調整

6 北谷町まちづくり町民会議全体配置



Ⅲ 北谷町まちづくり町民会議プログラム概要

(基本構想段階)



IV グループワークの手法

町の強み・弱みなどこれまでにを行ったデータ分析の結果をSWOT分析のフレームを活用しながら整理し、そこからとるべき施策の方向性を導いていく形で実施します。

I SWOT分析とは

マーケティング戦略を策定するためには、「自社（自分のまち）」（内部環境）の分析と「自社をとりまく環境」（外部環境）の分析が必要です。SWOT分析はそのための考え方と手法を体系化したものであり、SWOT〔強み（Strength）、弱み（Weakness）、機会（Opportunity）、脅威（Threat）〕の組み合わせでマーケティング戦略を考えるものです。

SWOT 分析表

外部環境		機会 (Opportunity)	脅威 (Threat)
		O	T
内部環境	強み (Strength)	第一領域 積極的戦略差別化戦略	第二領域 差別化戦略
	弱み (Weakness)	第三領域 段階的戦略	第四領域 専守防衛または撤退
		S	W

2 SWOT分析表の説明

「内部環境」は、本町と他市町とを比較した場合の相対的な「強み」、「弱み」です。「外部環境」は本町をとりまく市場環境に関する「機会」と「脅威」です。具体的に、町がコントロールできない世界や国・他市町の動向、経済社会状況等です。

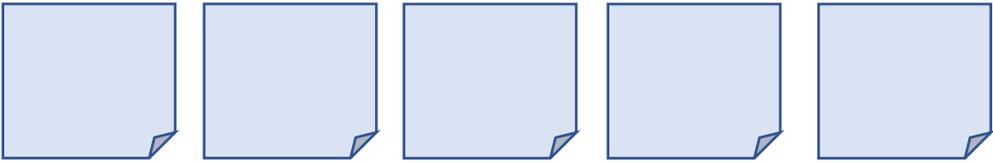
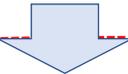
次に、「内部環境」と「外部環境」から導かれる戦略・施策についてですが、「内部環境」、「外部環境」それぞれ2つの要素の組み合わせで、戦略・施策は大きく4つに分かれます。ここでは、第1～第4領域と呼ぶことにします。

まず、「強み」と「機会」との組み合わせである「第1領域」には、本町の強みと事業機会を活かした戦略・施策が導かれます。性質としては積極的、早期対応型、現状活用型の戦略・施策となります。

「強み」と「脅威」との組み合わせである「第2領域」は、本町の持つ強みで市場の脅威を克服するもので、差別化、中長期対応型、脅威克服型の戦略・施策となります。

「弱み」と「機会」との組み合わせである「第3領域」は、本町の弱みを段階的に克服し、市場の事業機会を生かしていくものであり、段階的、中長期対応型、現状改良型の戦略・施策です。最後に、「弱み」と「脅威」との組み合わせである「第4領域」は、本町の弱みと脅威で最悪の事態を招かないための戦略であり、専守防衛または撤退という戦略が導かれます。

グループワークによる SWOT 分析活用方法

強み (Strength)	弱み (Weakness)
<p>あらかじめ検討する分野ごとに北谷町の強みをこれまでの基礎調査結果から入力しておきます。</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p style="text-align: center;">S</p> <p>ここへグループワークで検討したことをポストイットカードに書き追加して貼り付けていきます。 ①</p>	<p>あらかじめ検討する分野ごとに北谷町の弱みをこれまでの基礎調査結果から入力しておきます。</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p style="text-align: center;">W</p> <p>ここへグループワークで検討したことをポストイットカードに書き追加して貼り付けていきます。 ②</p>
機会 (Opportunity)	脅威 (Threat)
<p>あらかじめ検討する分野ごとに北谷町をとりまく機会を時代の潮流や置かれている位置等から入力しておきます。</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p style="text-align: center;">O</p> <p>ここへグループワークで検討したことをポストイットカードに書き追加して貼り付けていきます。 ③</p>	<p>あらかじめ検討する分野ごとに北谷町をとりまく脅威を時代の潮流や置かれている位置等から入力しておきます。</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p style="text-align: center;">T</p> <p>ここへグループワークで検討したことをポストイットカードに書き追加して貼り付けていきます。 ④</p>
<p>SWOT 分析からみえる当該分野のまちづくりの課題と目標分野の展開方向</p> 	
<p>⑤ ここへ①から④に貼ったポストイットカードから、それぞれの内容を施策化して、新たにポストイットカードに書き込み貼り付ける。基本目標別に整理できればポストイットカードを張り替えて分類する。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;">  <div style="border: 1px dashed red; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-left: 20px;"> <p>施策 提案</p> </div> </div> <p>上記検討作業から分野の方向を導きだし書き込みます。 ⑥</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold; color: red;">●●を大切に、●●を進めるまちづくり</p> </div> <div style="border: 1px dashed red; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 20px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>分野の 基本コン セプト</p> </div>	

※①～④については、特に順序はなく、どこから記入しても構わない。その後⑤から⑥へと進む。

5 参加者名簿

グループⅠテーマ（子育て・教育・文化・スポーツ）

池宮城秀聡	関勝史
玉城友紀乃	渡名喜守勇
喜友名祥子（北谷町文化協会）	勢理客一之（文化課）
鈴木典子（子ども家庭課）	平安崇（社会教育課）

グループⅡテーマ（産業）

永井良太	我謝真亜久
島袋瑠偉	澤田敬紀
仲村剛	伊波祐（経済振興課）
上地勝樹（観光課）	米須健（経済振興課）

グループⅢテーマ（都市・環境・防災・防犯・交通安全）

真栄城兼秀	加藤信行
宮城妃咲	山中亮
祖堅吾央	渡名喜俊介（基地・安全対策課）
櫻井香（都市計画課）	

グループⅣテーマ（福祉）

仲里亮（社会福祉協議会）	神村みどり （北谷町民生委員児童委員協議会）
喜舎場加代子 （北谷町民生委員児童委員協議会）	宮城恵（中部地区医師会）
田中由美	仲村渠綾子（保健衛生課）
與那原誠子（福祉課）	

グループVテーマ（平和・基地・男女共同参画・人権尊重・協働のまちづくり・行財政運営）

池谷達（いけがやすすむ）	與儀彩佳
清水早苗（北谷町更生保護女性会）	仲村卓江子（北谷町更生保護女性会）
島袋艶子（自治会長連絡協議会）	大城朝乃（町長室）
仲宗根清雄（企画財政課）	知念望（企画財政課）

グループワーク(ワークショップ)の進め方I

SWOT分析のフレームを活用したグループワークの実施

SWOT分析とは、「北谷町の内部環境」の分析と「北谷町をとりまく外部環境」の分析を行い、北谷町の強み(Strength)・弱み(Weakness)・機会(opportunity)・脅威(Threat)を洗い出し、その組み合わせにより戦略を考えるものです。

具体的には…

- ・内部環境は、北谷町と他市町村とを比較した相対的な「強み」「弱み」
- ・外部環境は、世界や国・他市町村の動向、社会経済情勢等から導き出す「機会」と「脅威」となります。

	外部環境	機会 (opportunity)	脅威 (Threat)
内部環境			
強み (Strength)		第一領域 積極的、早期対応型、 現状活用型の戦略	第二領域 差別化、中長期対応型、 脅威克服型の戦略
弱み (Weakness)		第三領域 段階的、中長期対応型、 現状改良型の戦略	第四領域 専守防衛または撤退

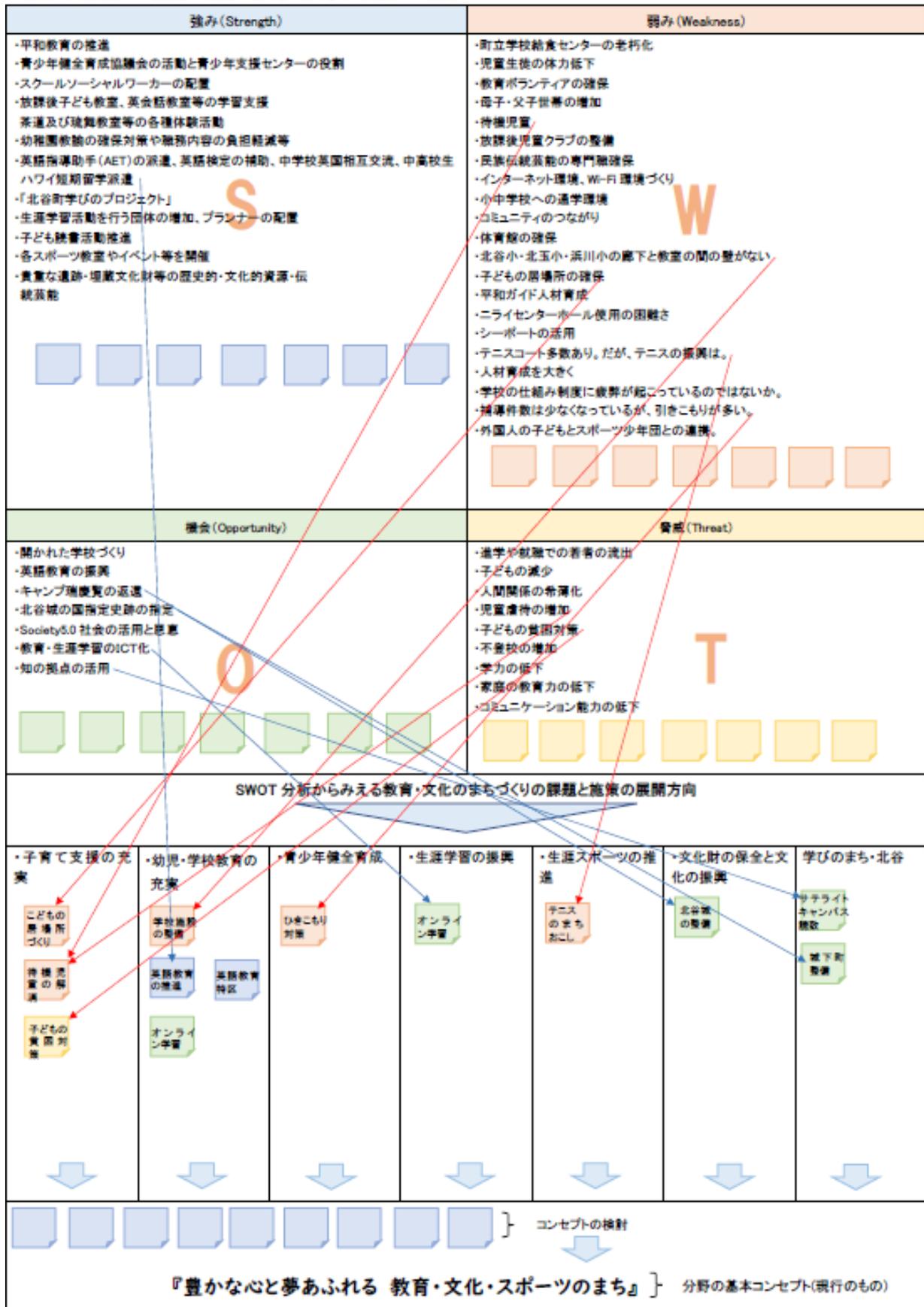
グループワーク(ワークショップ)の進め方2

●グループワークによるSWOT分析作業方法

強み (Strength)	弱み (Weakness)
<p>あらかじめ検討する分野ごとに北谷町の強みをこれまでの基礎調査結果から入力しておきます。</p> <p>S</p> <p>ここへグループワークで検討したことをポストイットカードに書き追加して貼り付けていきます。 ①</p>	<p>あらかじめ検討する分野ごとに北谷町の弱みをこれまでの基礎調査結果から入力しておきます。</p> <p>W</p> <p>ここへグループワークで検討したことをポストイットカードに書き追加して貼り付けていきます。 ②</p>
機会 (Opportunity)	脅威 (Threat)
<p>あらかじめ検討する分野ごとに北谷町をとりまく機会を時代の潮流や置かれている位置等から入力しておきます。</p> <p>O</p> <p>ここへグループワークで検討したことをポストイットカードに書き追加して貼り付けていきます。 ③</p>	<p>あらかじめ検討する分野ごとに北谷町をとりまく脅威を時代の潮流や置かれている位置等から入力しておきます。</p> <p>T</p> <p>ここへグループワークで検討したことをポストイットカードに書き追加して貼り付けていきます。 ④</p>
<p>SWOT分析からみえる当該分野のまちづくりの課題と目標分野の展開方向</p>	
<p>⑤ ここへ①から④に貼ったポストイットカードから、それぞれの内容を施策化して、新たにポストイットカードに書き込み貼り付ける。基本目標別に整理できればポストイットカードを張り替えて分類する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">情報提供の工夫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">利用者の立場での説明</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">相談の迅速な処理</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">虐待からの子どもの保護</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">関係者の密接な連携</div> <div style="border: 2px dashed red; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-left: 20px;"> <p>施策提案</p> </div> </div> <p>上記検討作業から分野の方向を導きだし書き込みます。 ⑥</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>●●を大切に、●●を進めるまちづくり</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>分野の基本コンセプト</p> </div>	

※①～④については、特に順序はなく、どこから記入しても構わない。その後⑤から⑥へと進む。

教育・文化分野の「機会」「脅威」「強み」「弱み」から施策への展開



V 参加者へのインプット

参加者は自由な議論を行うのが基本です。しかし、町の各分野の情報がないと、創造的な提言が困難になります。

そのため、町の状況に関する情報を勉強会をもって説明するとともに、SWOT分析表により、これまでの基礎調査結果を「強み」、「弱み」、「機会」、「脅威」に整理し、それに対して意見を出すという方法をとっています。

以下、参加者へのインプットのために作成した基礎調査資料を掲載します。

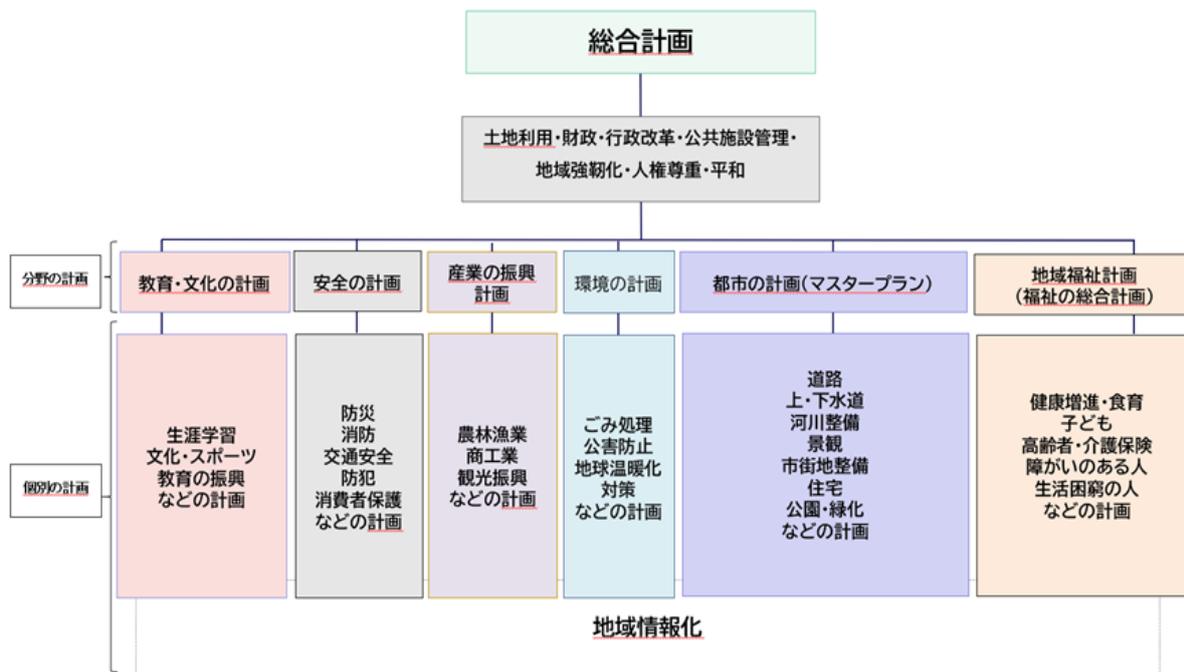
I 総合計画ってなんだろう

北谷町総合計画とは、町政のあらゆる分野を対象とした総合的かつ計画的なまちづくりの指針をいう。

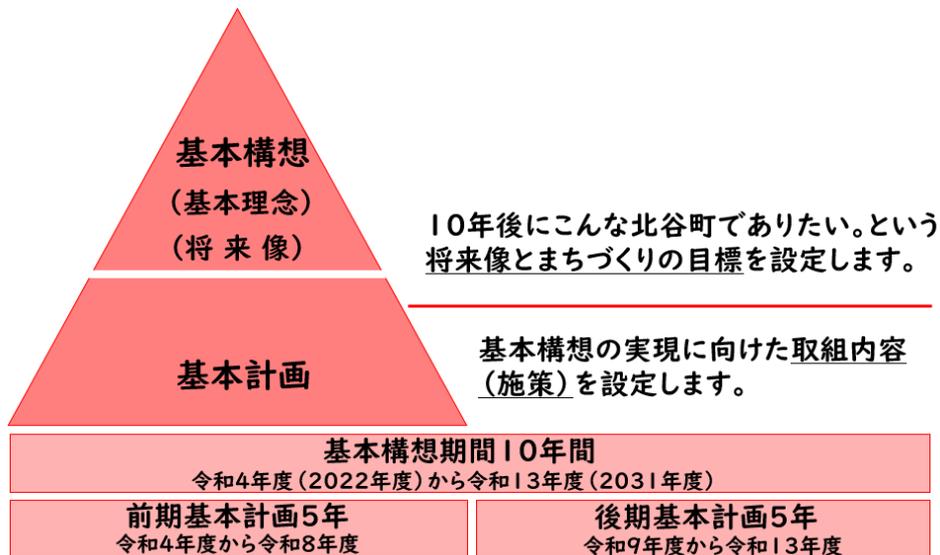
総合計画は、町の最上位の計画とし、町が別に策定する個別の行政分野に関する計画の策定又は変更にあたっては、総合計画との整合を図らなければならない。

北谷町総合計画条例より(抜粋)

総合計画とその他の計画の関係



総合計画の構成



まちづくりの基本理念

ニライの都市

～自然と人間が調和した、創造性豊かな活力ある民主的な地域社会～

具体的には・・・

- ・誰もが健康で安全かつ文化的な生活を営むことができる都市。
- ・人を中心に整備され、社会福祉の充実によって、あすの生活に不安を抱く者もない都市。
- ・誰もが気軽にスポーツを楽しみ、文化の創造に勤しむ都市。
- ・生活を支える産業は、それぞれが共存をし、自然と調和した形で営まれる都市。
- ・人々が、自然の恵みを心おきなく享受することができる都市。

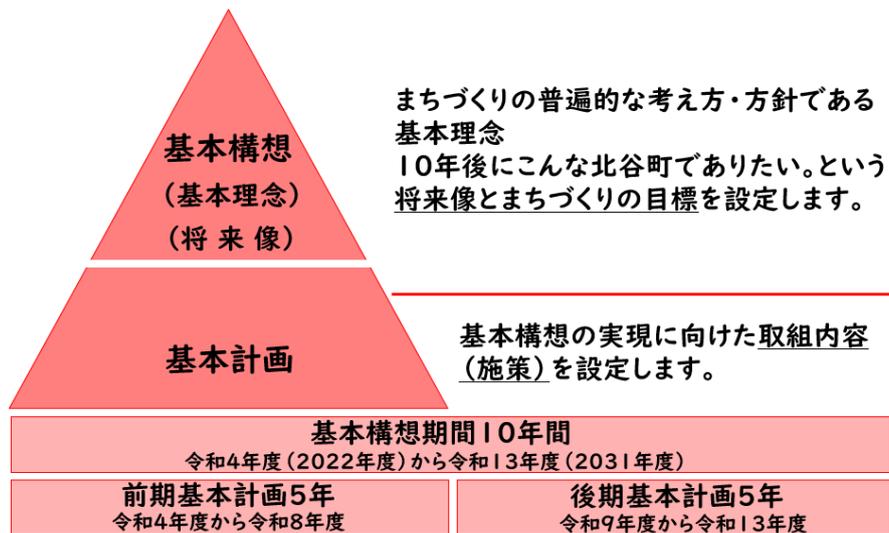
(第二次北谷町振興計画を基に作成)

町民憲章の制定(昭和58年4月1日)

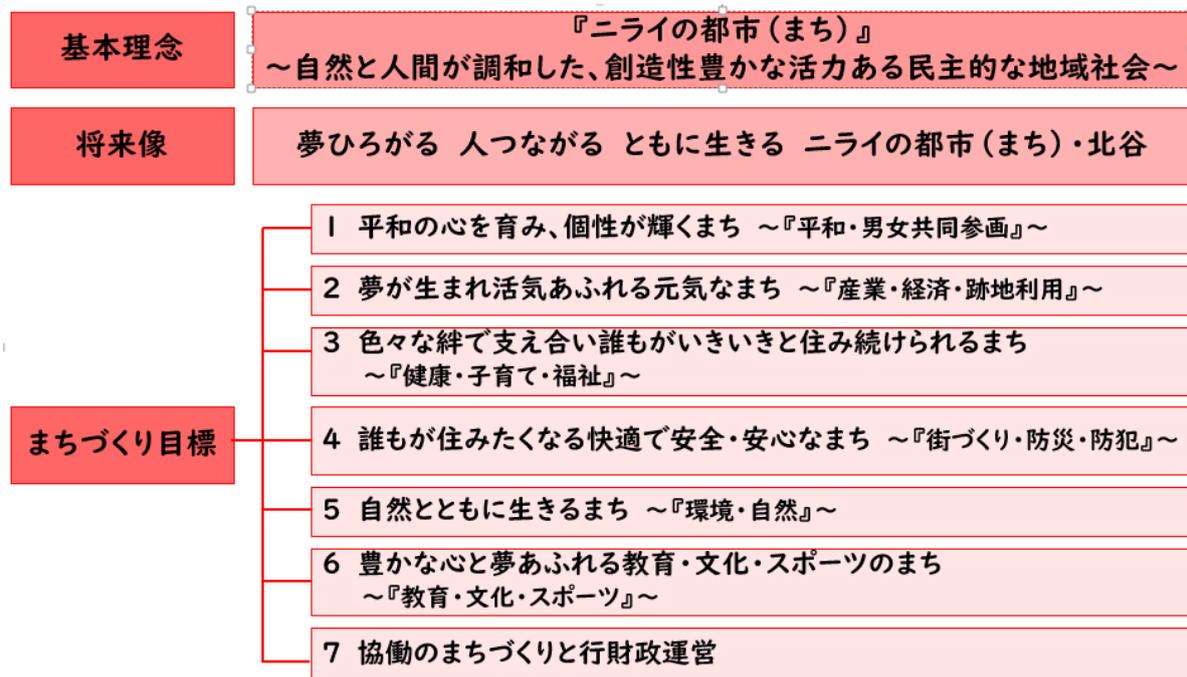
古えの人々が夢見た海の彼方の理想郷-ニライ・カナイ。古えの人のこのロマンを、わたくしたちは現代の北谷町に花開かせ、「ニライの都市・北谷」としてこれからのまちづくりに励んでいきましょう。わたくしたちは、国際性豊かな北谷町民として自覚と誇りを持ち、次のことを町民憲章に定め、実践していきます。

- ！わたくしたちは、自然を愛し、健康で心のふれあいまちをつくります。
- ！わたくしたちは、教養を深め、文化のかおり高いまちをつくります。
- ！わたくしたちは、仕事に励み、活気に満ちたまちをつくります。
- ！わたくしたちは、お互いを尊重し、民主的で平和なまちをつくります。
- ！わたくしたちは、視野を広め、個性豊かなまちをつくります。

総合計画の構成



第五次北谷町総合計画後期基本計画の体系



第五次北谷町総合計画後期基本計画

まちづくりの目標と施策

まちづくりの目標	施策	
平和の心を育み、個性が輝くまち ～『平和・男女共同参画』～	施策1 平和の推進 施策3 国内外交流の推進 施策5 人権尊重の意識啓発	施策2 基地問題への対応 施策4 男女共同参画のまちづくり
夢が生まれ活気あふれる元気なまち ～産業・経済・跡地利用～	施策6 観光業の振興 施策8 水産業の振興 施策10 跡地利用の推進 施策12 就業者等への支援	施策7 商工業の振興 施策9 生きがい農業の振興 施策11 企業立地の促進
色々な絆で支え合い誰もがいきいきと住み続けられるまち ～健康・子育て・福祉～	施策13 健康づくりの推進 施策15 地域福祉の推進 施策17 障がい福祉の推進	施策14 子育て支援の推進 施策16 社会保障制度の周知・相談 施策18 高齢者福祉の推進
誰もが住みたくなる快適で安全・安心なまち ～街づくり・防災・防犯～	施策19 居住環境の向上 施策21 道路・交通ネットワークの充実 施策23 適切な土地利用の誘導 施策25 災害対応・消防・救急体制の強化 施策27 消費者保護の推進	施策20 町営住宅の整備 施策22 景観の形成 施策24 上下水道の整備 施策26 防犯・交通安全活動の推進
自然とともに生きるまち ～環境・自然～	施策28 自然環境の保全 施策30 環境衛生の向上	施策29 循環型社会の構築
豊かな心と夢あふれる教育・文化・スポーツのまち ～教育・文化・スポーツ～	施策31 青少年健全育成 施策33 義務教育の充実 施策35 生涯スポーツの推進 施策37 学びのまち・北谷	施策32 幼児教育の充実 施策34 生涯学習の振興 施策36 文化財の保全と文化の振興
協働のまちづくりと行財政運営	施策38 住民参加のまちづくり 施策40 情報共有の推進 施策42 健全な財政運営	施策39 コミュニティ活動の充実 施策41 効率的・効果的な行政運営の推進

2 北谷町の概況

○面積 13.93km²

○人口 28,912人(令和2年1月1日)

○世帯 12,283世帯(令和2年1月1日)

○高齢化率 20%(令和2年1月1日)

○町の特徴

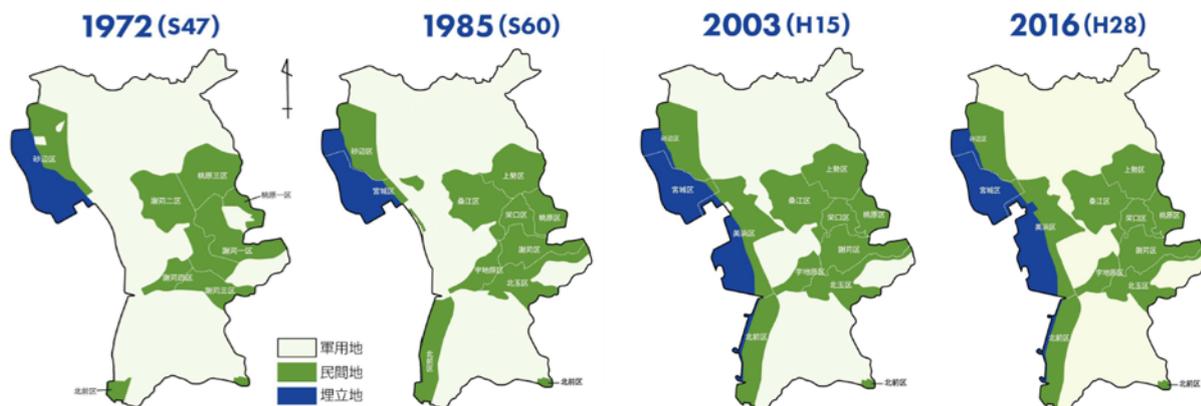
- ・町土面積13.93km²のうち約51.6%を米軍基地が占めており、残りわずか6.6km²の狭小な町土でまちづくりを行わなければならないという大きな制約がある。
- ・町西側の約5.6kmにわたる沿岸域には美しい珊瑚礁が生息し、ダイビングをはじめとするマリンスポーツが楽しめるなど観光・リゾート地としての魅力を備える。
- ・国道58号線や県道23号線などの県内主要幹線道路が町域を通過しており、高速道路へのアクセスも良い道路交通網が充実している。



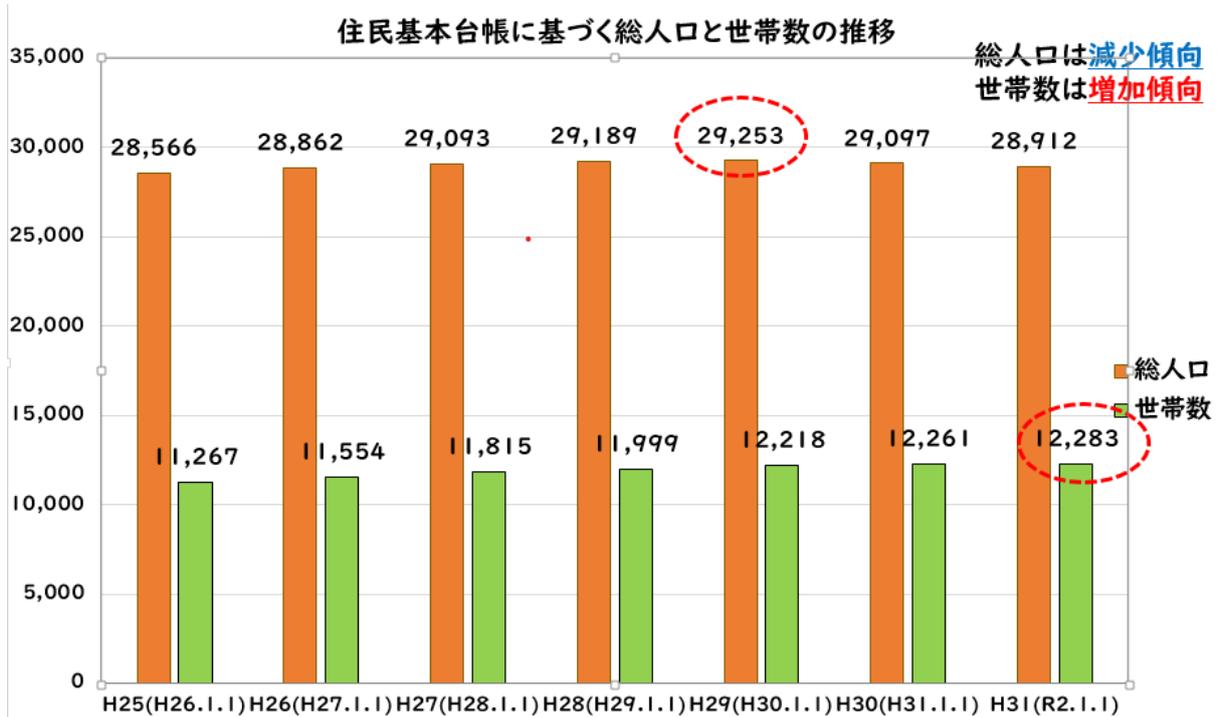
北谷町のまちづくり

・昭和48「若夏国体」時の幹線道路の整備、公有水面埋め立てや山間地の開発などを経て村が発展、昭和55年町制へ移行。2020年は町制施行から40周年の節目の年となる。

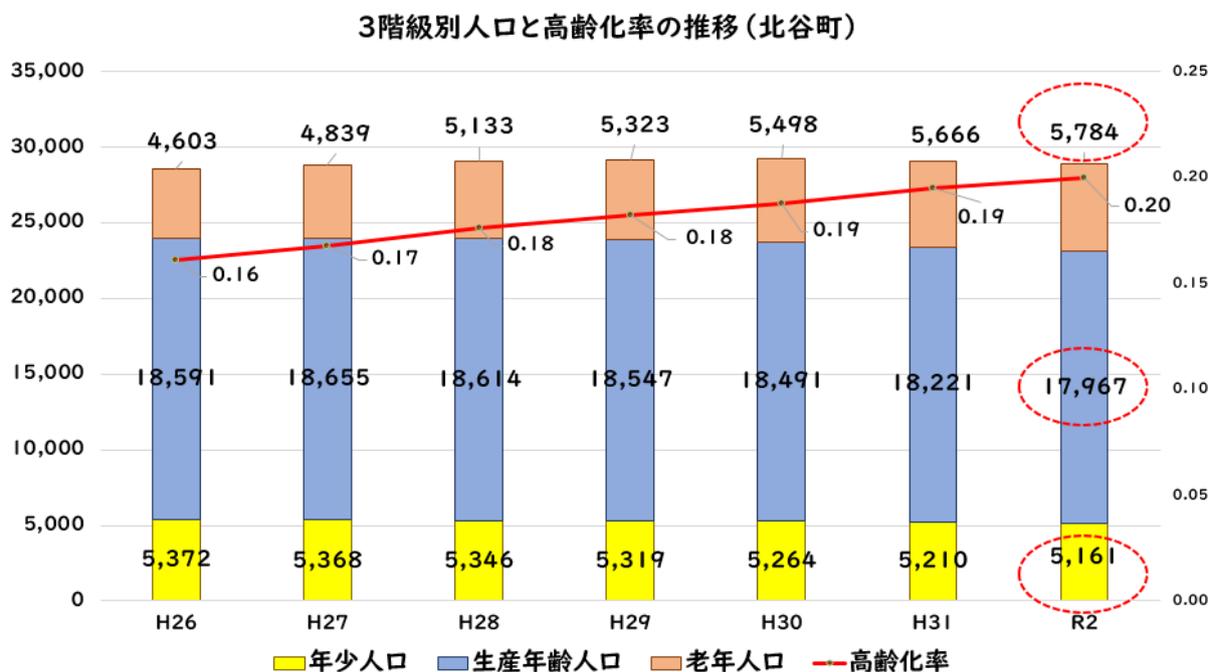
・ハンビー飛行場及びメイ・モスカラー射撃訓練場の返還跡地利用や桑江地先公有水面の埋立開発、これらに続くキャンプ桑江北側部分の返還跡地利用、北谷フィッシャリーナ地区開発などにより、西海岸地域及び町役場周辺には新たな街並みが形成された。



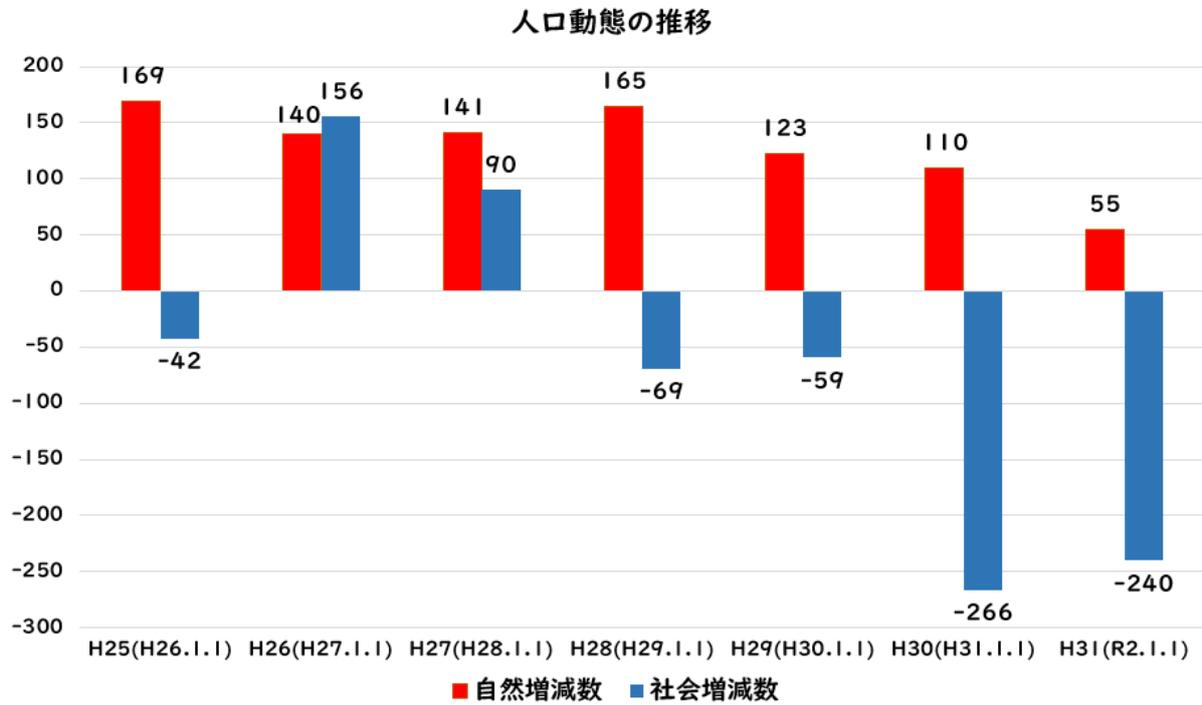
北谷町の人口



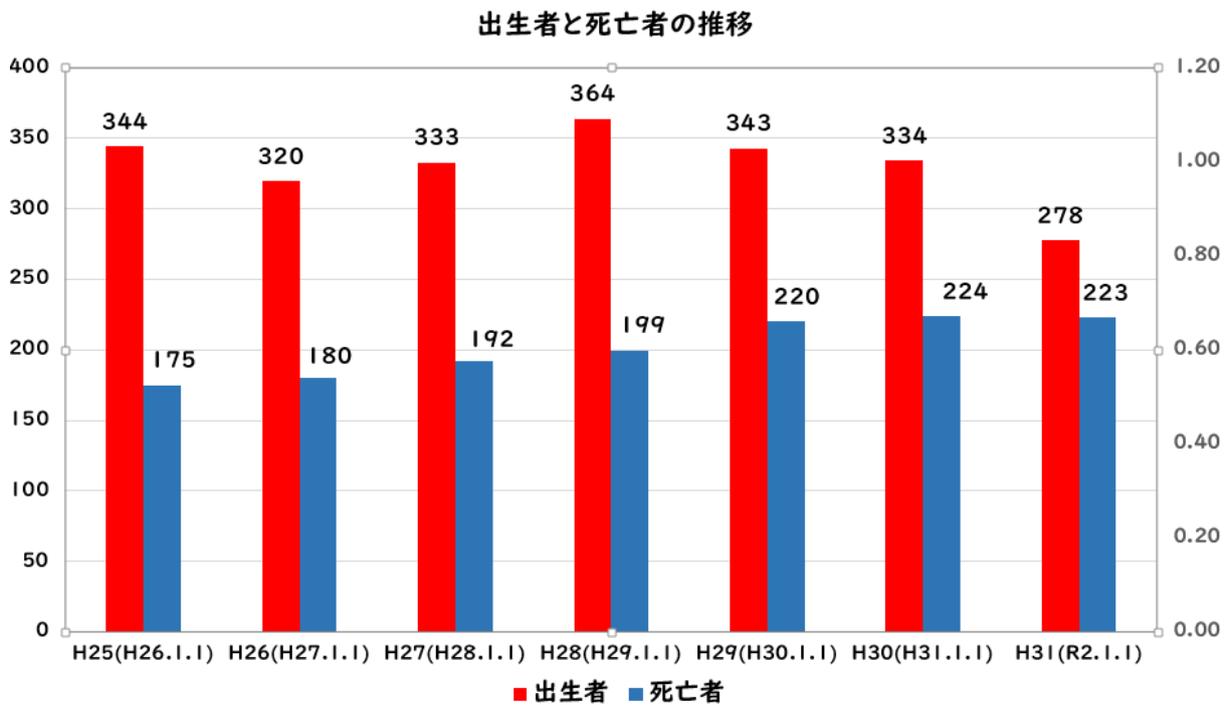
北谷町の人口2



北谷町の人口3人口動態

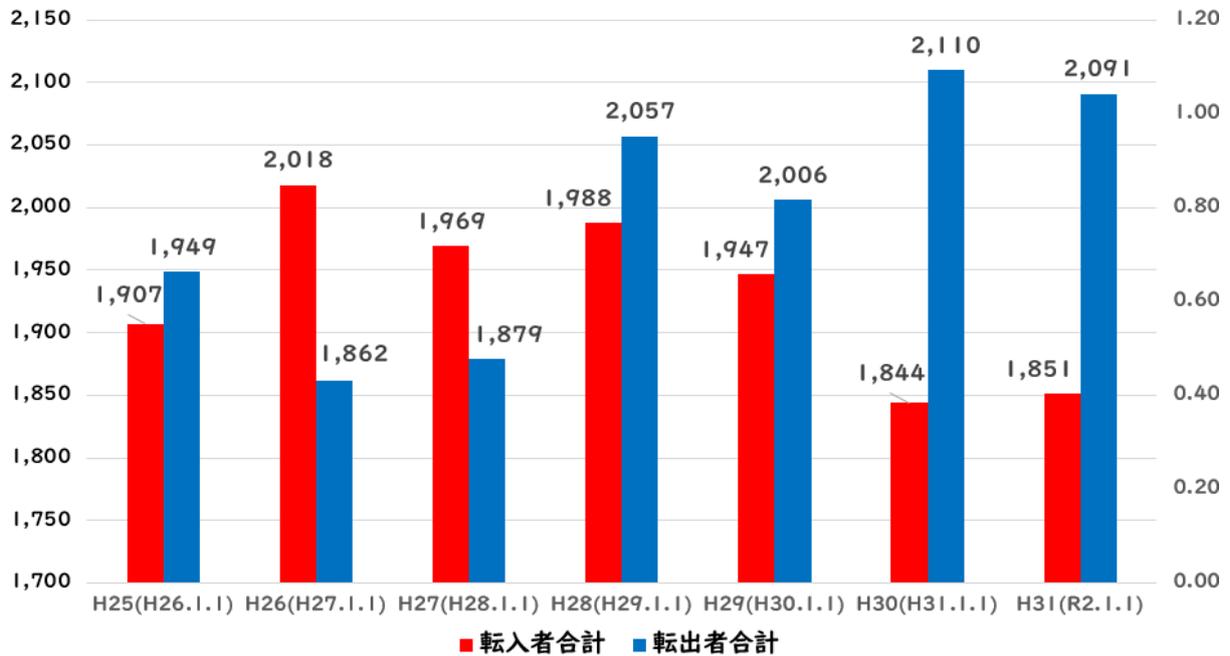


北谷町の人口4自然動態



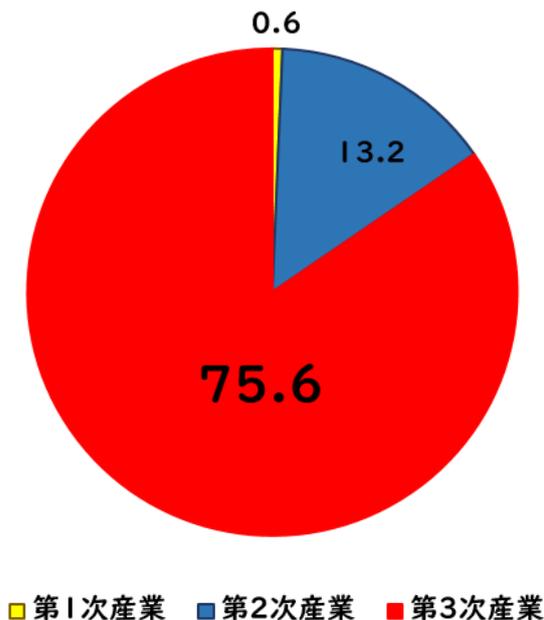
北谷町の人口5社会動態

転入者と転出者の推移



北谷町の産業構造

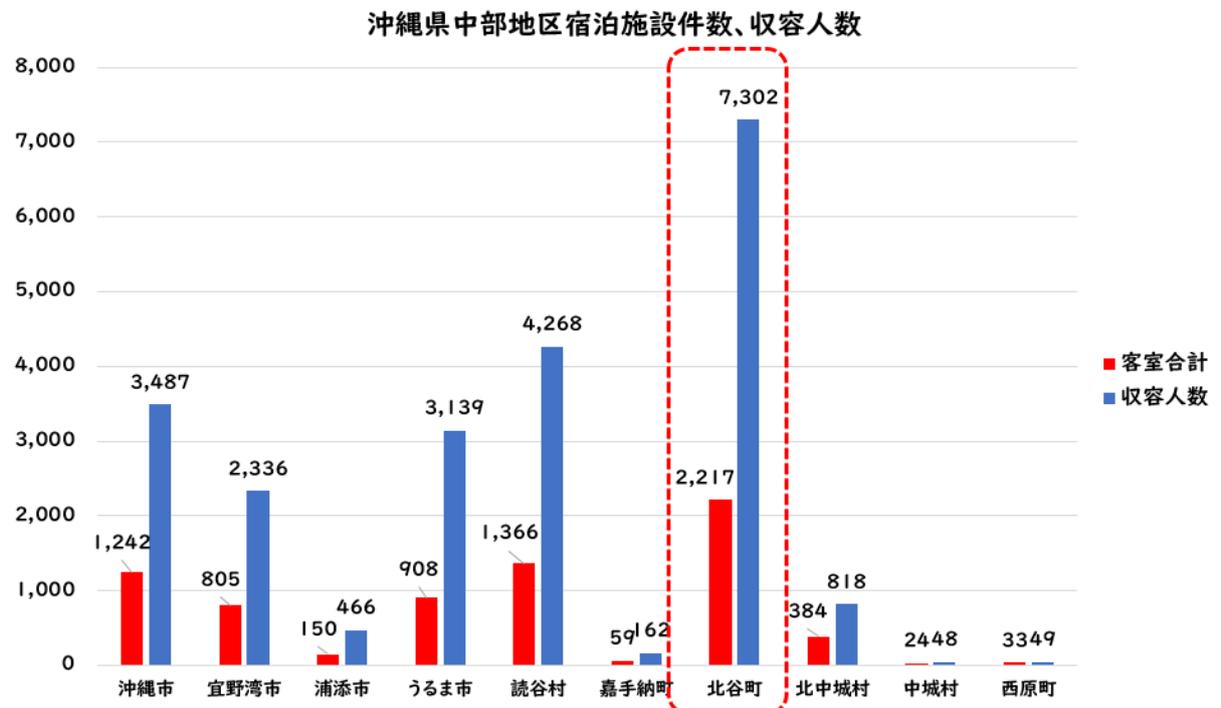
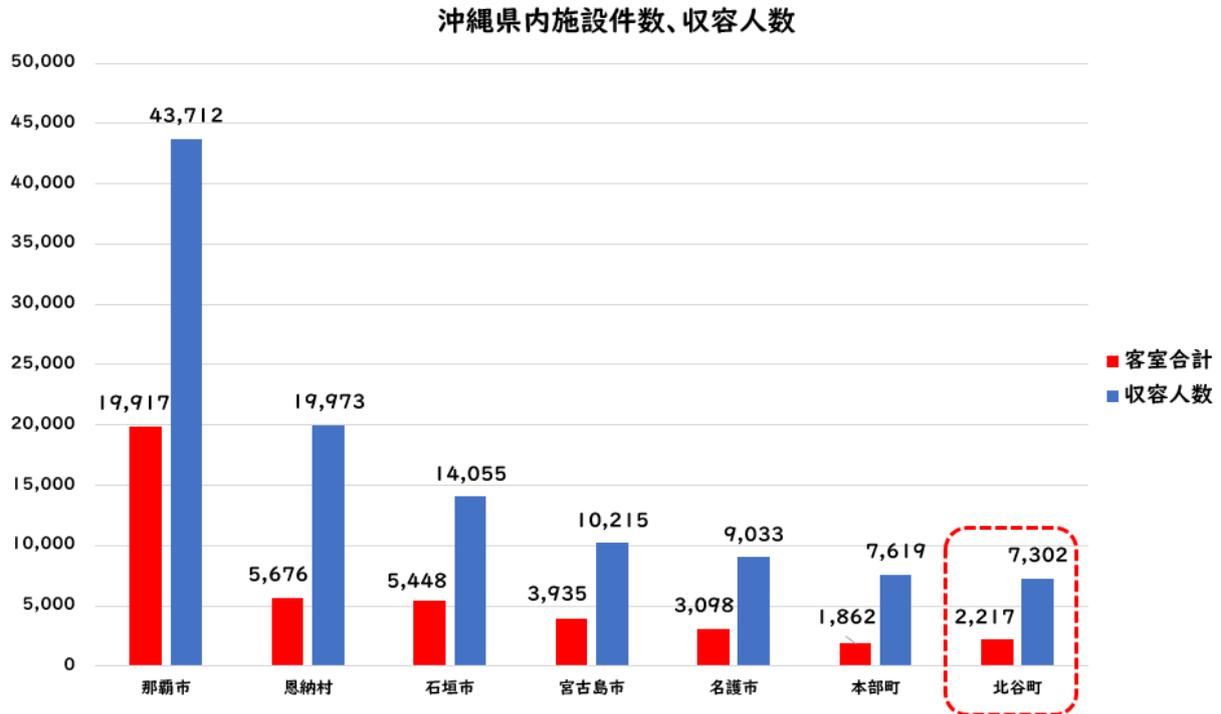
産業別構成比(平成27年10月1日現在)



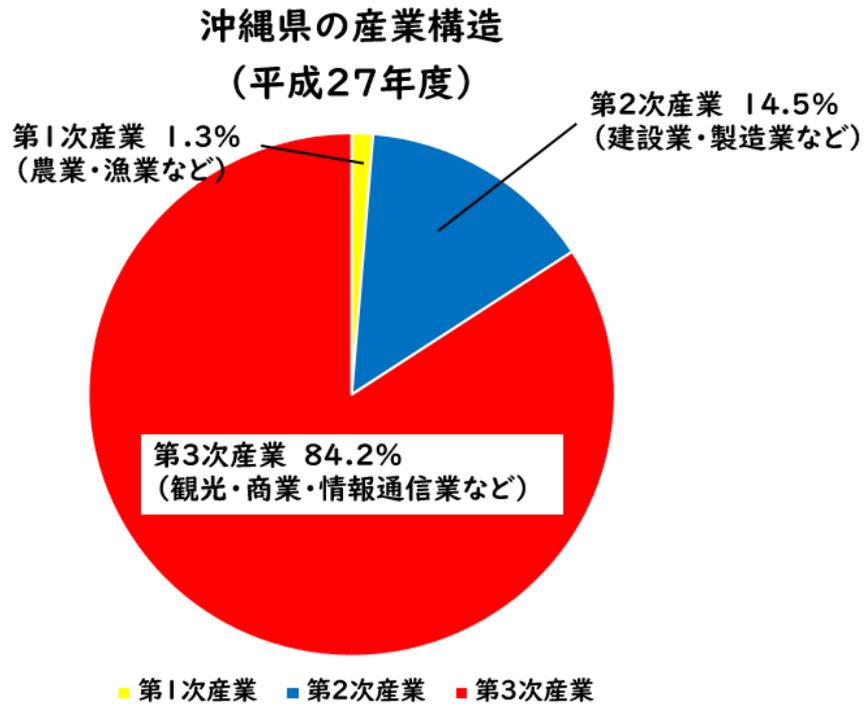
第3次産業の構成

電気・ガス・熱供給・水道業	54
情報通信業	205
運輸業・郵便業	339
卸売業・小売業	1492
金融・保険業	161
不動産業・物品賃貸業	279
学術研究・専門・技術サービス業	337
宿泊業・飲食サービス業	1026
生活関連サービス業・娯楽業	518
教育・学習支援業	544
医療・福祉	1317
複合サービス事業	63
サービス業(他に分類されないもの)	1267
公務(他に分類されるものを除く)	471

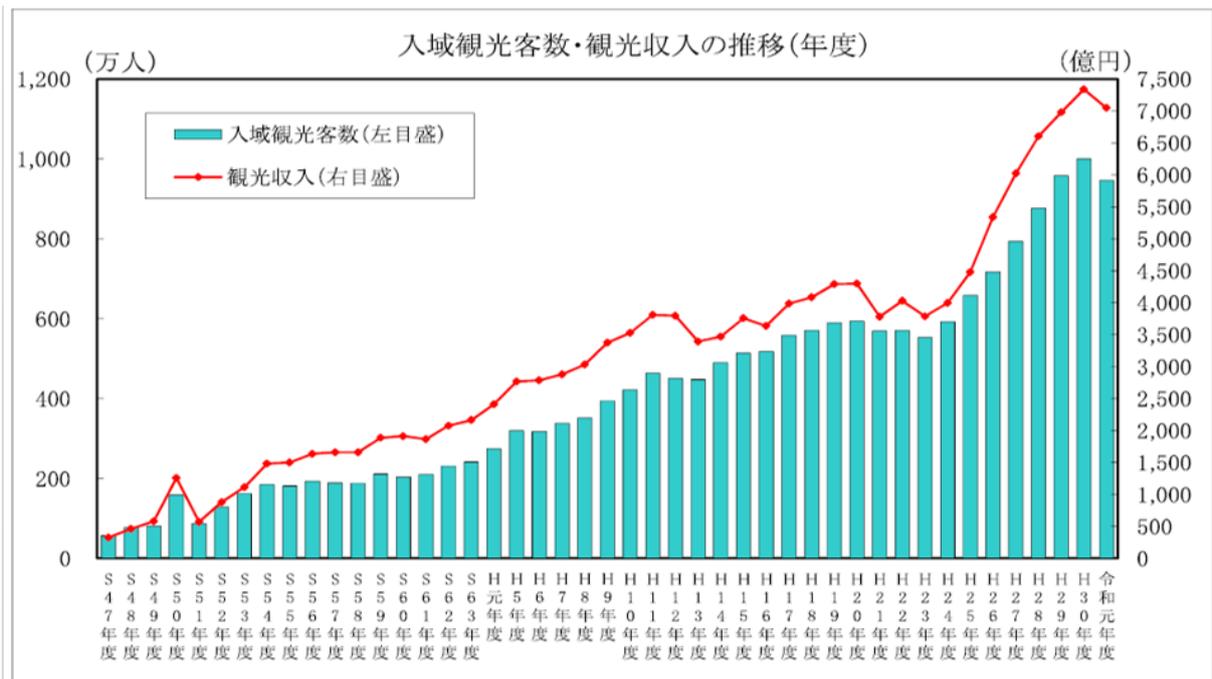
北谷町の産業（宿泊施設）



沖縄県の産業構造



沖縄県の入域観光客数・観光収入の推移



※観光収入は、平成17年までは暦年の数値、平成18年度以降から年度の数値となっている。

VI 第六次北谷町総合計画策定に向けた基礎調査

1 第五次北谷町総合計画後期基本計画中間評価

- (1) 目的第六次北谷町総合計画の基礎資料とするため現計画の評価を実施した。
- (2) 実施時期令和元年度
- (3) 実施方法第五次北谷町総合計画後期基本計画の基本目標ごと、それぞれに位置付けられている施策について、施策ごとに「AからEの達成度」「次期総合計画策定に向けて、考えられる課題や必要な取組」「拡充」「維持」「効率化・統合」「休・廃止」の方向について、担当課の職員が自己評価の形で実施。

2 北谷町の未来を考えるまちづくりアンケート調査

- (1) 調査目的町民の町政に対する満足度や日常生活の中で感じていることを把握し、これからの総合計画・総合戦略に反映させることで、住みよいまちづくりを実現していくことを目的に実施した。
- (2) 調査時期令和2年6月
- (3) 調査対象無作為に抽出した19歳以上の北谷町民2,000人
- (4) 調査方法郵送による調査票の配布・回収
- (5) 回収結果回収数718票回収率35.9%

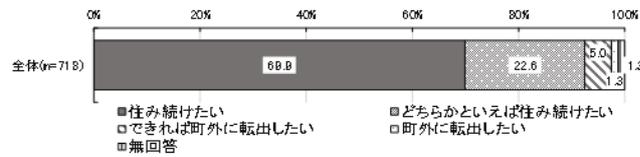
3 北谷町の未来を考えるまちづくりアンケート調査(高校生)

- (1) 目的本町の次代を担う高校生の意見や希望を把握するとともに、まちづくりへの参画を促進することを目的に実施した。
- (2) 実施時期令和2年6月
- (3) 調査対象北谷高校に在学する2.3年生
- (4) 調査方法学校を通じて調査票を配布・回収
- (5) 回収結果有効回収数443票

4 北谷町ニライの都市(まち)構想会議

- (1) 調査目的北谷町のこれまでの取組についての情報共有と北谷町のまちづくりに関する意見交換、北谷町の将来のあり方についてニーズを把握することを目的に実施した。
- (2) 調査時期令和2年7月
- (3) 会議構成北谷町企画財政課職員・株式会社ぎょうせい・沖縄ITイノベーション戦略センター・自治会長・区政委員・一般公募の町民
※新型コロナウイルス感染症対策として参加人数を30人に制限
- (4) 会議内容総合計画に関する説明、第五次北谷町総合計画後期基本計画中間評価、北谷町の未来を考えるまちづくりアンケート調査(町民・高校生)の結果報告、質疑応答・意見交換

アンケートにみる町民ニーズ(定住意向)

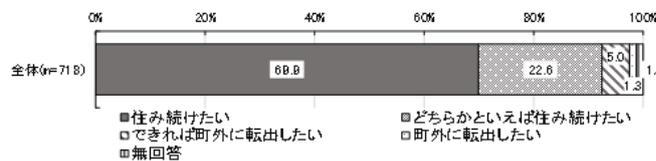
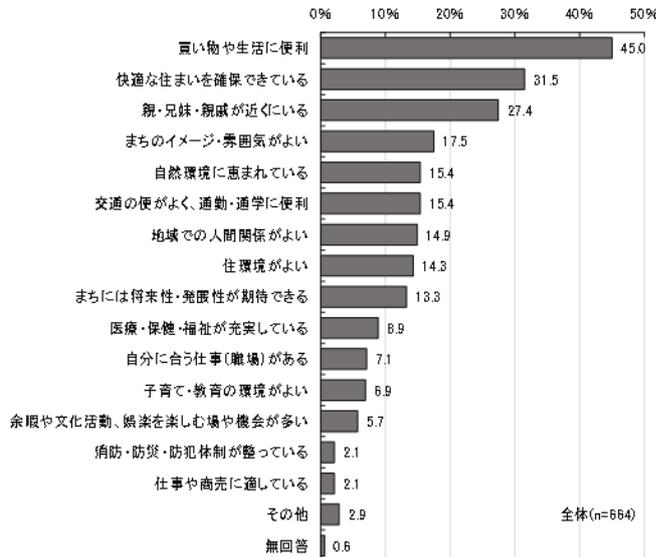


住み続けたい 92.5%

(どちらかといえば住み続けたい含む)

住み続けたい理由

- 1位 買い物や生活に便利
- 2位 快適な住まいを確保できている
- 3位 親・兄妹・親戚が近くにいる
- 4位 まちのイメージ・雰囲気がよい
- 5位 自然環境に恵まれている。
- 5位 交通の便がよく、通勤・通学に便利

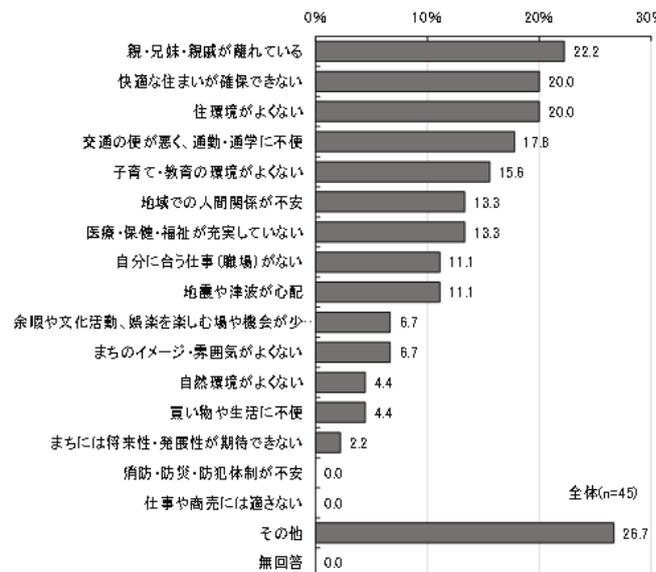


転出したい 6.3%

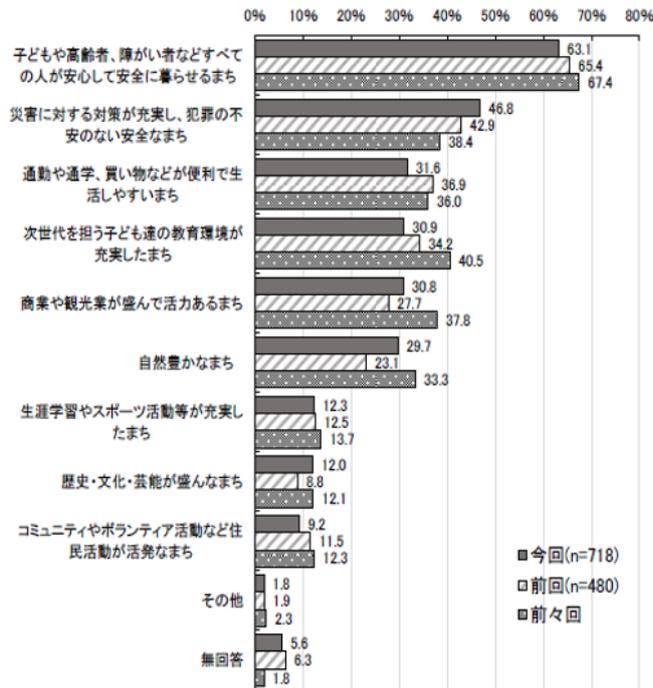
(どちらかといえば転出したい含む)

転出したい理由

- 1位 親・兄妹・親戚が離れている
- 2位 快適な住まいを確保できない
- 3位 住環境がよくない
- 4位 交通の便が悪く、通勤、通学に不便
- 5位 子育て・教育の環境がよくない



アンケートにみる町民ニーズ（今後のまちづくり）



今後のまちづくりへの要望

1位 子どもや高齢者、障がい者などすべての人が安心して安全に暮らせるまち

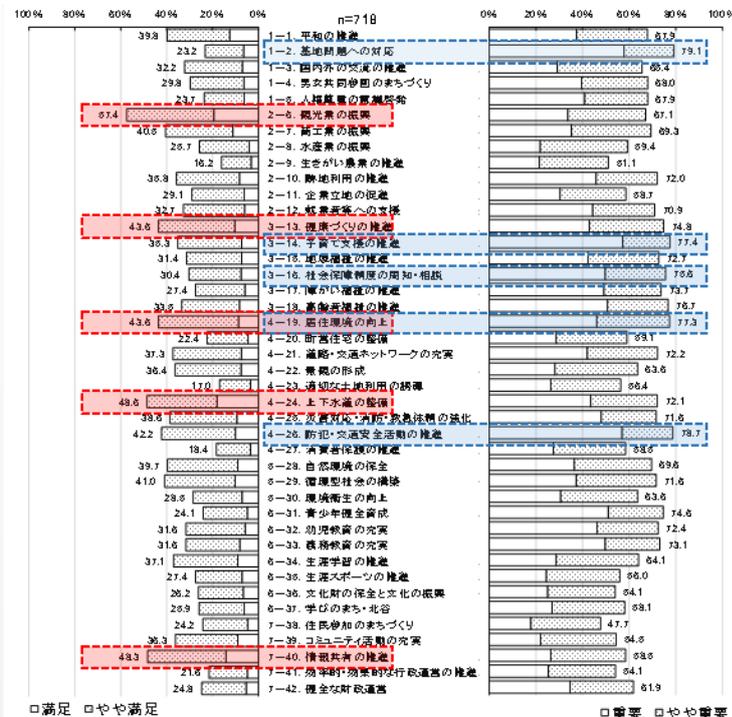
2位 災害に対する対策が充実し、犯罪の不安のない安全なまち

3位 通勤や通学、買い物などが便利で生活しやすいまち

4位 次世代を担う子ども達の教育環境が充実したまち

5位 商業や観光業が盛んで活力あるまち

アンケートにみる町民ニーズ（満足度と重要度）



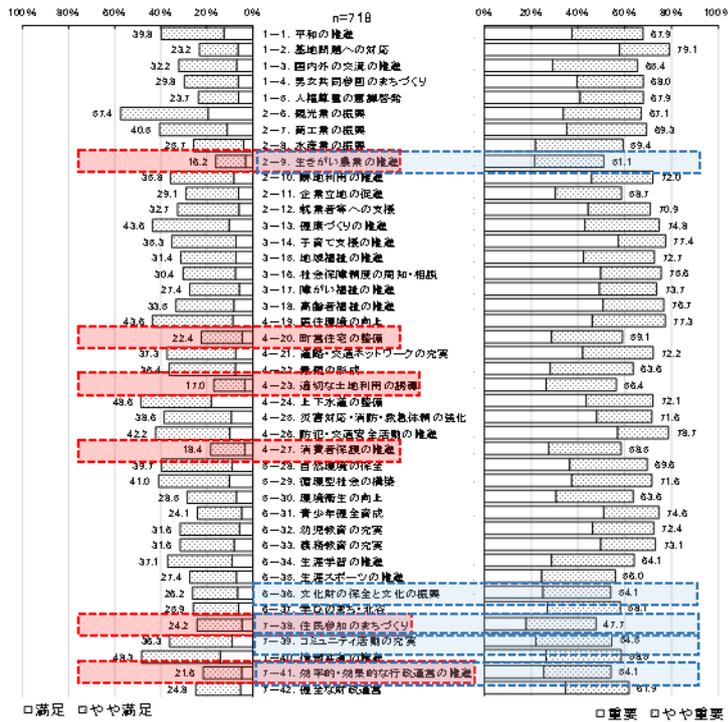
満足度が高い施策

- 1位 観光業の振興 (57.4%)
- 2位 上下水道の整備 (48.6%)
- 3位 情報共有の推進 (48.3%)
- 4位 健康づくりの推進 (43.6%)
- 4位 居住環境の向上 (43.6%)

重要度が高い施策

- 1位 基地問題への対応 (79.1%)
- 2位 防犯・交通安全活動の推進 (78.7%)
- 3位 子育て支援の推進 (77.4%)
- 4位 居住環境の向上 (77.3%)
- 5位 社会保障制度の周知・相談 (75.6%)

アンケートにみる町民ニーズ(満足度と重要度)



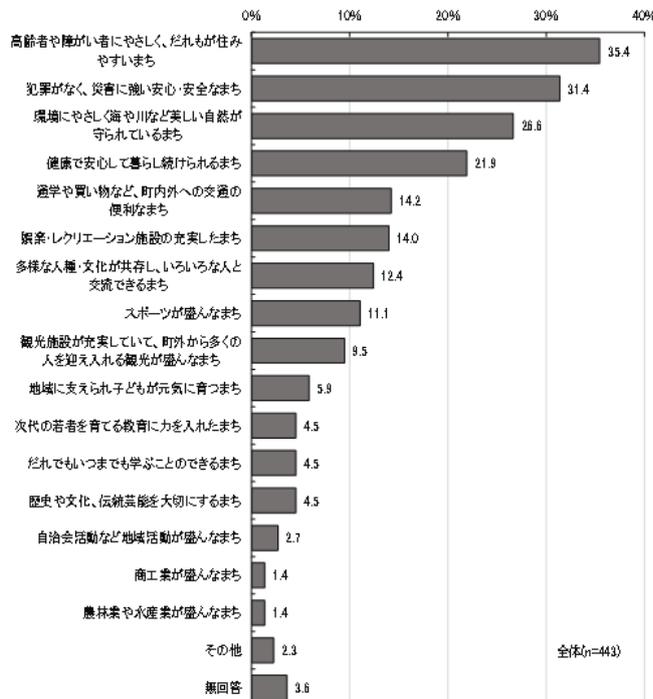
満足度が低い施策

- 1位 生きがい農業の推進 (16.2%)
- 2位 適切な土地利用の誘導 (17.0%)
- 3位 消費者保護の推進 (18.4%)
- 4位 効率的・効果的な行政運営の推進 (21.6%)
- 5位 町営住宅の整備 (22.4%)

重要度が低い施策

- 1位 住民参加のまちづくり (47.7%)
- 2位 生きがい農業の推進 (51.1%)
- 3位 文化財の保全と文化の振興 (54.1%)
- 3位 効率的・効果的な行政運営の推進 (54.1%)
- 5位 コミュニティ活動の充実 (54.5%)

アンケートにみる高校生のニーズ(今後のまちづくり)



今後のまちづくりへの要望

- 1位 高齢者や障がい者にやさしく、誰もが住みやすいまち
- 2位 犯罪がなく、災害に強い安心・安全なまち
- 3位 環境にやさしく海や川など美しい自然が守られているまち
- 4位 健康で安心して暮らし続けられるまち
- 5位 通学や買い物など、町内外への交通の便利なまち

アンケートにみる町民ニーズ（満足度と重要度）

点数化による分析

※加重平均値の算出方法（重要度も同様）

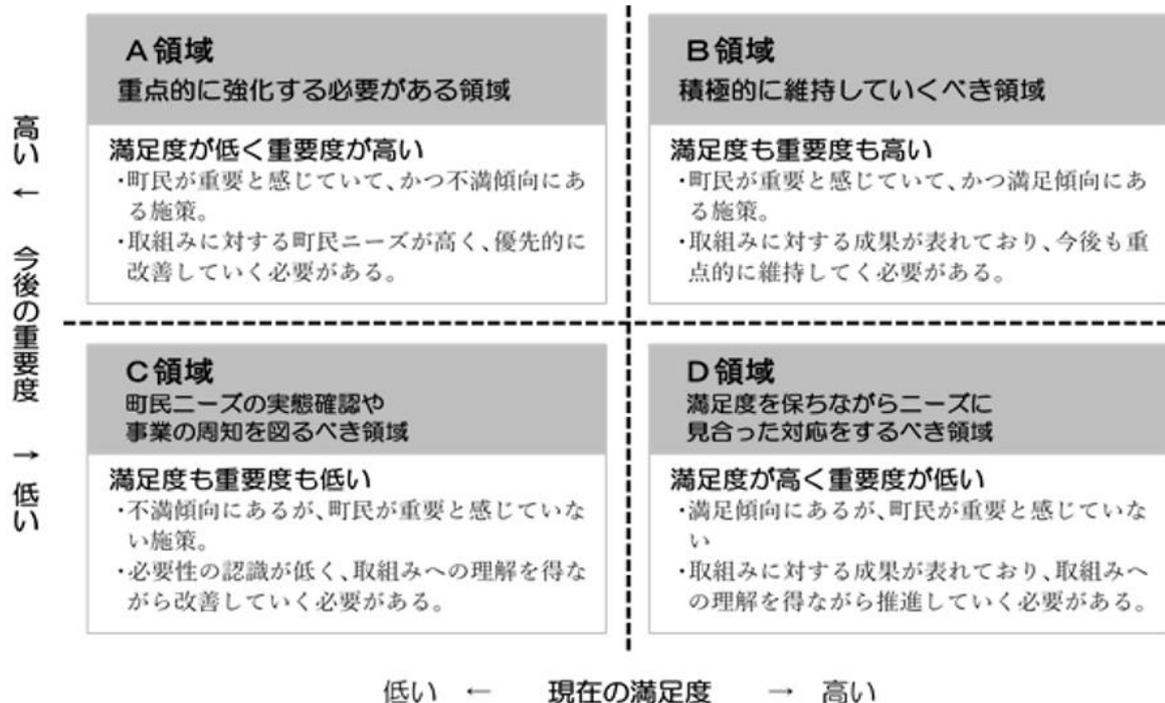
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{matrix} \text{「満足」の回答数} \times 3 \text{点} \\ \text{「やや満足」の回答数} \times 2 \text{点} \\ \text{「どちらともいえない」の回答数} \times 1 \text{点} \\ \text{「やや不満」の回答数} \times -2 \text{点} \\ \text{「不満」の回答数} \times -3 \text{点} \end{matrix}}{\begin{matrix} \text{「満足」、「やや満足」、} \\ \text{「どちらともいえない」、} \\ \text{「やや不満」、「不満」} \\ \text{の回答数の合計} \end{matrix}}$$

この算出方法により、評価点は3点～-3点の間に分布し、3点に近くなるほど評価は高くなり、逆に-3点に近くなるほど評価が低くなる。

満足度と重要度をそれぞれ横軸、縦軸に設定し、分布図を作成しました。また、満足度と重要度それぞれについて42項目の点数の平均点を算出し、グラフ上にラインを引くと4つのエリアに分類されます。ここでは『満足度が低く重要度が高い』項目の左上エリアを中心にみていくこととします。

アンケートにみる町民ニーズ（満足度と重要度）



VII 沖縄 21世紀ビジョン



沖縄21世紀ビジョン基本計画(10年計画)

平成24年5月策定、平成29年5月改定

- 本計画は「沖縄振興特別措置法」第4条第1項の規定に基づく「沖縄振興計画」としての性格を有します。
- 施策展開の効果的な推進のため、「2つの基軸」を設定しました。
- 本計画では、
 - 5つの将来像ごとに体系化し、36の基本施策及び121の施策展開を示しました。
 - 克服すべき沖縄の固有課題の解決に向けた施策を示しました。
 - 県内各地域の個性や特長を伸ばすと共に、多彩な地域性が調和する県土づくりを目的に本県を5圏域に分類し、圏域ごとに取り組む施策を示しました。
- 計画に位置づけた各施策が着実かつ効果的に実施された際の平成33年(2021年)の人口及び社会経済の姿を定量的に示す「社会経済展望値」を設定しました。

5つの将来像を実現するための“2つの基軸”



沖縄21世紀ビジョン基本計画と実施計画

沖縄21世紀ビジョン及び基本計画と実施計画

「ビジョン」は目指すべき概ね2030年の姿
「基本計画」と「実施計画」は
ビジョンを実現するための設計図

ビジョン
目指すべき姿

基本計画
実現に向けた考え方

実施計画
実現に向けた取組

沖縄21世紀ビジョン (想定年2030年)

- 県民が望む将来の沖縄の姿と、その実現に向けた取組の方向性等を明らかにした基本構想です。
- 沖縄のあるべき姿、ありたい姿として「5つの将来像」を示しています。
- 沖縄が克服しなければならない「4つの固有課題」を示しています。

沖縄21世紀ビジョン基本計画 (10年計画)

- 「ビジョン」の実現を目指し、沖縄県が策定した初めての総合的な基本計画です。
- 「ビジョン」の実現に向けた「基本方向」や「基本施策」などを明らかにしました。

沖縄21世紀ビジョン実施計画 (5年計画)

- 「基本計画」に掲げた基本施策を具現化し推進するための活動計画です。
- 「基本計画」を推進するため、具体的な取組や、取組により得られる効果を表す成果指標を示しています。

沖縄21世紀ビジョン将来像I

36の基本施策と主な施策・主な指標

I
沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島

	▼ 基本計画	▼ 実施計画									
1	<p>基本施策</p> <p>1 自然環境の保全・再生・適正利用</p>	<p>主な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> サンゴ礁の保全・外来種対策 自然保護地域の指定、赤土等流出防止対策 自然環境再生型公共事業の推進 環境影響評価制度の強化、自然環境の持続可能な利用 県民参画の推進、環境教育の充実 など 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基準値</th> <th>現状</th> <th>100年(2030年)の目標</th> </tr> <tr> <td>自然保護地域面積(延べ面積)</td> <td>159,000トン(23年度)</td> <td>—</td> <td>72,000トン</td> </tr> </table>	主な指標	基準値	現状	100年(2030年)の目標	自然保護地域面積(延べ面積)	159,000トン(23年度)	—	72,000トン
主な指標	基準値	現状	100年(2030年)の目標								
自然保護地域面積(延べ面積)	159,000トン(23年度)	—	72,000トン								
2	<p>2 持続可能な循環型社会の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物減量化・再利用・リサイクル、未利用資源の活用 廃棄物の適正処理、環境美化、海岸漂着物の適正処理 など 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基準値</th> <th>現状</th> <th>100年(2030年)の目標</th> </tr> <tr> <td>一般廃棄物の1トン当たりの処理量</td> <td>831g(20年度)</td> <td>841g(27年度)</td> <td>809g以下</td> </tr> </table>	主な指標	基準値	現状	100年(2030年)の目標	一般廃棄物の1トン当たりの処理量	831g(20年度)	841g(27年度)	809g以下
主な指標	基準値	現状	100年(2030年)の目標								
一般廃棄物の1トン当たりの処理量	831g(20年度)	841g(27年度)	809g以下								
3	<p>3 低炭素島しょ社会の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> 産業・民生・運輸部門の温室効果ガスの排出量抑制、適正化防止対策 クリーンエネルギーの普及促進 コンパクトな都市構造の形成、都市と自然の共生 など 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基準値</th> <th>現状</th> <th>100年(2030年)の目標</th> </tr> <tr> <td>産業等部門からの排出量の削減</td> <td>1,381万トン/年(18年度)</td> <td>1,298万トン/年(26年度)</td> <td>1,233万トン/年</td> </tr> </table>	主な指標	基準値	現状	100年(2030年)の目標	産業等部門からの排出量の削減	1,381万トン/年(18年度)	1,298万トン/年(26年度)	1,233万トン/年
主な指標	基準値	現状	100年(2030年)の目標								
産業等部門からの排出量の削減	1,381万トン/年(18年度)	1,298万トン/年(26年度)	1,233万トン/年								
4	<p>4 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造</p>	<ul style="list-style-type: none"> しまくとぅば、伝統行事、文化財などが大切に受け継がれる環境づくり 後継者育成・確保、創造的芸術文化の発展を担う人材育成 芸術文化活動拠点の活用・充実 沖縄空手をはじめとする文化の発信・交流 など 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基準値</th> <th>現状</th> <th>100年(2030年)の目標</th> </tr> <tr> <td>しまくとぅばを認知者以上とする人の割合</td> <td>58%(20年度)</td> <td>58%(20年度)</td> <td>62%</td> </tr> </table>	主な指標	基準値	現状	100年(2030年)の目標	しまくとぅばを認知者以上とする人の割合	58%(20年度)	58%(20年度)	62%
主な指標	基準値	現状	100年(2030年)の目標								
しまくとぅばを認知者以上とする人の割合	58%(20年度)	58%(20年度)	62%								
5	<p>5 文化産業の戦略的な創出・育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域文化資源を活用したまちづくり 伝統工芸品などを活用した感性ものづくり産業の振興 文化資源を活用したコンテンツ及びビジネスの展開 など 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基準値</th> <th>現状</th> <th>100年(2030年)の目標</th> </tr> <tr> <td>工芸品生産額</td> <td>41.3億円(20年度)</td> <td>39.6億円(27年度)</td> <td>65.0億円</td> </tr> </table>	主な指標	基準値	現状	100年(2030年)の目標	工芸品生産額	41.3億円(20年度)	39.6億円(27年度)	65.0億円
主な指標	基準値	現状	100年(2030年)の目標								
工芸品生産額	41.3億円(20年度)	39.6億円(27年度)	65.0億円								
6	<p>6 価値創造のまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 景観創出のための仕組みづくり、景観資源の保全・再生・活用などによる、沖縄らしい風景づくり 全島緑化、都市、道路、郊外及び農山村の緑化による花と緑あふれる県土づくり など 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基準値</th> <th>現状</th> <th>100年(2030年)の目標</th> </tr> <tr> <td>景観アセスメント数</td> <td>0件(23年度)</td> <td>29件(28年度)</td> <td>60件</td> </tr> </table>	主な指標	基準値	現状	100年(2030年)の目標	景観アセスメント数	0件(23年度)	29件(28年度)	60件
主な指標	基準値	現状	100年(2030年)の目標								
景観アセスメント数	0件(23年度)	29件(28年度)	60件								
7	<p>7 人間優先のまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインを導入・推進するまちづくり 歩いて暮らせる環境づくりの推進 人に優しい交通手段の確保 など 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基準値</th> <th>現状</th> <th>100年(2030年)の目標</th> </tr> <tr> <td>沖縄県民が歩きたい歩道(歩道)の整備(累計)</td> <td>515件(23年度)</td> <td>1,170件(28年度)</td> <td>1,800件</td> </tr> </table>	主な指標	基準値	現状	100年(2030年)の目標	沖縄県民が歩きたい歩道(歩道)の整備(累計)	515件(23年度)	1,170件(28年度)	1,800件
主な指標	基準値	現状	100年(2030年)の目標								
沖縄県民が歩きたい歩道(歩道)の整備(累計)	515件(23年度)	1,170件(28年度)	1,800件								

沖縄21世紀ビジョン将来像2

● 36の基本施策と主な施策・主な指標

ビジョン将来像
II
心豊かで、安全・安心に暮らせる島

基本計画	▼ 基本計画	▼ 実施計画												
基本施策	<p>1 健康・長寿おきなわの推進</p>	<p>主な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進 ● 生涯・競技スポーツ観賞、スポーツコンベンションの推進による「スポーツアイランド沖縄」の形成 など <table border="1"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基本年度</th> <th>現状</th> <th>100年時点の目標</th> </tr> <tr> <td>成人健康率 (健康志向型生活スタイル 率性40～60歳代)</td> <td>現状: 42.0% (15-18年)</td> <td>現状: 35.0% (19年推定値)</td> <td>目標: 25.0% (29年推定値)</td> </tr> </table>	主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標	成人健康率 (健康志向型生活スタイル 率性40～60歳代)	現状: 42.0% (15-18年)	現状: 35.0% (19年推定値)	目標: 25.0% (29年推定値)				
主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標											
成人健康率 (健康志向型生活スタイル 率性40～60歳代)	現状: 42.0% (15-18年)	現状: 35.0% (19年推定値)	目標: 25.0% (29年推定値)											
	<p>2 子育てセーフティネットの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 母子保健、小児医療対策の充実 ● 地域における子育て支援の充実 ● 子ども・若者の育成支援、ネットワークの形成 ● 要保護児童やひとり親家庭への支援 ● 子どもへの貧困対策の推進 など <table border="1"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基本年度</th> <th>現状</th> <th>100年時点の目標</th> </tr> <tr> <td>低所得世帯の割合 (沖縄県子ども調査)</td> <td>—</td> <td>25.0% (27年推定)</td> <td>20.0%</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>28.3% (29年推定)</td> <td>20.0%</td> </tr> </table>	主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標	低所得世帯の割合 (沖縄県子ども調査)	—	25.0% (27年推定)	20.0%	—	—	28.3% (29年推定)	20.0%
主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標											
低所得世帯の割合 (沖縄県子ども調査)	—	25.0% (27年推定)	20.0%											
—	—	28.3% (29年推定)	20.0%											
	<p>3 健康福祉セーフティネットの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせる環境づくり ● 障害のある人が活動できる環境づくり ● 県民ニーズに合った保健医療サービスの推進 ● 福祉セーフティネットの形成 ● 食品等の安全・安心、感染症対策、自殺対策 など <table border="1"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基本年度</th> <th>現状</th> <th>100年時点の目標</th> </tr> <tr> <td>介護支援専門員 員数</td> <td>4,735人 (23年度)</td> <td>6,067人 (29年推定)</td> <td>7,000人</td> </tr> </table>	主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標	介護支援専門員 員数	4,735人 (23年度)	6,067人 (29年推定)	7,000人				
主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標											
介護支援専門員 員数	4,735人 (23年度)	6,067人 (29年推定)	7,000人											
	<p>4 社会リスクセーフティネットの確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域安全、DV防止、交通安全、水難事故防止対策などによる安全安心に暮らせる地域づくり ● 消防防災体制の強化、防災・減災対策による災害に強い県土づくり など <table border="1"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基本年度</th> <th>現状</th> <th>100年時点の目標</th> </tr> <tr> <td>公立学校無事故率</td> <td>79.9% (24年)</td> <td>89.9% (29年)</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標	公立学校無事故率	79.9% (24年)	89.9% (29年)	100.0%				
主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標											
公立学校無事故率	79.9% (24年)	89.9% (29年)	100.0%											
	<p>5 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 米軍基地から派生する事件・事故の防止、環境問題への対応 ● 不発弾処理、遺骨収集、所有者不明土地の解決 など <table border="1"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基本年度</th> <th>現状</th> <th>100年時点の目標</th> </tr> <tr> <td>不発弾処理費 (億円)</td> <td>約2,100千 (23年)</td> <td>約1,883千 (29年)</td> <td>約1,835千</td> </tr> </table>	主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標	不発弾処理費 (億円)	約2,100千 (23年)	約1,883千 (29年)	約1,835千				
主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標											
不発弾処理費 (億円)	約2,100千 (23年)	約1,883千 (29年)	約1,835千											
	<p>6 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅の整備、水資源の確保、エネルギーの確保など、地域の特性に応じた生活基盤の整備 ● 高度情報通信ネットワーク社会に対応した行政サービスの提供 など <table border="1"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基本年度</th> <th>現状</th> <th>100年時点の目標</th> </tr> <tr> <td>家庭用インターネット 普及率</td> <td>2.5% (22年度)</td> <td>2.5% (29年推定)</td> <td>1.9%</td> </tr> </table>	主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標	家庭用インターネット 普及率	2.5% (22年度)	2.5% (29年推定)	1.9%				
主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標											
家庭用インターネット 普及率	2.5% (22年度)	2.5% (29年推定)	1.9%											
	<p>7 共助・共創型地域づくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 県民の社会参加活動の促進と協働の取組の推進 ● 人材育成と活動支援による農山漁村の活性化 など <table border="1"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基本年度</th> <th>現状</th> <th>100年時点の目標</th> </tr> <tr> <td>民生委員・児童委員 比率</td> <td>88.0% (22年)</td> <td>83.6% (29年)</td> <td>92.8%</td> </tr> </table>	主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標	民生委員・児童委員 比率	88.0% (22年)	83.6% (29年)	92.8%				
主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標											
民生委員・児童委員 比率	88.0% (22年)	83.6% (29年)	92.8%											

沖縄21世紀ビジョン将来像3

● 36の基本施策と主な施策・主な指標

ビジョン将来像
III
希望と活力にあふれる豊かな島

基本計画	▼ 基本計画	▼ 実施計画												
基本施策	<p>1 自立型経済の構築に向けた基盤の整備</p>	<p>主な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国際交流、物流拠点の核となる空港の整備・強化(那覇空港、鹿野空港) ● 人と物の流れを支える港湾整備(那覇港・中城港・鳩山港) ● 道路網・公共交通システムなど陸上交通基盤の整備 ● 国際ネットワークの構築、移動・輸送コストの低減、物流対策強化 など <table border="1"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基本年度</th> <th>現状</th> <th>100年時点の目標</th> </tr> <tr> <td>国際空港の旅客取扱量 (万人)</td> <td>13,970 (22年)</td> <td>13,570 (27年)</td> <td>18,570</td> </tr> </table>	主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標	国際空港の旅客取扱量 (万人)	13,970 (22年)	13,570 (27年)	18,570				
主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標											
国際空港の旅客取扱量 (万人)	13,970 (22年)	13,570 (27年)	18,570											
	<p>2 世界水準の観光リゾート地の形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際的な沖縄観光ブランドの確立(観光プロダクト創出など) ● 市場の特性に対応した国内外誘客活動の展開 ● 大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの展開 ● 観光型観光客の確保(交通基盤整備、観光まちづくり、ホスピタリティ向上など) ● 世界に通用する観光人材の育成 ● 産業関連業の強化 など <table border="1"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基本年度</th> <th>現状</th> <th>100年時点の目標</th> </tr> <tr> <td>入館観光客数 (外国人除く)</td> <td>522,673人 (23年度)</td> <td>664,710人 (29年推定)</td> <td>800万人</td> </tr> <tr> <td>外国人観光客数</td> <td>30,176人 (23年度)</td> <td>21,371人 (29年推定)</td> <td>400万人</td> </tr> </table>	主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標	入館観光客数 (外国人除く)	522,673人 (23年度)	664,710人 (29年推定)	800万人	外国人観光客数	30,176人 (23年度)	21,371人 (29年推定)	400万人
主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標											
入館観光客数 (外国人除く)	522,673人 (23年度)	664,710人 (29年推定)	800万人											
外国人観光客数	30,176人 (23年度)	21,371人 (29年推定)	400万人											
	<p>3 情報通信関連産業の高度化・多様化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報通信関連産業の立地促進 ● 情報通信関連産業の高度化・多様化、他の産業との連携強化 ● 多様な情報系人材の育成・確保 ● 情報通信基盤の拡大と充実、集積拠点の整備 など <table border="1"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基本年度</th> <th>現状</th> <th>100年時点の目標</th> </tr> <tr> <td>立地促進による 集積企業数</td> <td>21,258人 (22年度)</td> <td>28,045人 (29年推定)</td> <td>42,000人</td> </tr> </table>	主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標	立地促進による 集積企業数	21,258人 (22年度)	28,045人 (29年推定)	42,000人				
主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標											
立地促進による 集積企業数	21,258人 (22年度)	28,045人 (29年推定)	42,000人											
	<p>4 アジアと日本の架け橋となる国際物流拠点の形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 航空・臨空型産業の集積による国際物流拠点づくり ● 県内事業者による海外展開の促進・支援 など <table border="1"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基本年度</th> <th>現状</th> <th>100年時点の目標</th> </tr> <tr> <td>航空・臨空型産業 及び新規立地型 企業数(累計)</td> <td>47社 (23年度)</td> <td>64社 (27年推定)</td> <td>260社</td> </tr> </table>	主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標	航空・臨空型産業 及び新規立地型 企業数(累計)	47社 (23年度)	64社 (27年推定)	260社				
主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標											
航空・臨空型産業 及び新規立地型 企業数(累計)	47社 (23年度)	64社 (27年推定)	260社											
	<p>5 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学院大学周辺環境をはじめとした研究開発・交流の基盤づくり ● 先端分野共同研究・新事業創出の推進 ● 研究開発成果の技術転移による地産産業の高度化 ● 科学技術の発展を促す取り組み など <table border="1"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基本年度</th> <th>現状</th> <th>100年時点の目標</th> </tr> <tr> <td>県内大学等との 共同研究・取り組み 共同実施回数(累計)</td> <td>54回 (22年)</td> <td>262回 (29年推定)</td> <td>600回</td> </tr> </table>	主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標	県内大学等との 共同研究・取り組み 共同実施回数(累計)	54回 (22年)	262回 (29年推定)	600回				
主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標											
県内大学等との 共同研究・取り組み 共同実施回数(累計)	54回 (22年)	262回 (29年推定)	600回											
	<p>6 沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化・スポーツなど沖縄のソフトパワーを活用した新産業の創出 ● 観光に配慮した農村の活用・環境サービス開発などの環境関連産業の戦略的展開 ● 海洋資源調査・開発の支援拠点づくり ● 金融関連産業の発展促進、人材育成 ● MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出 など <table border="1"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基本年度</th> <th>現状</th> <th>100年時点の目標</th> </tr> <tr> <td>MICE関係による 観光客数(推定)</td> <td>—</td> <td>270億円 (29年)</td> <td>506億円</td> </tr> </table>	主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標	MICE関係による 観光客数(推定)	—	270億円 (29年)	506億円				
主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標											
MICE関係による 観光客数(推定)	—	270億円 (29年)	506億円											
	<p>7 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 ● 輸送コスト低減、販路拡大、高付加価値化などの対策強化 ● 衛生管理、環境保全型農業の推進、病害虫対策と防疫体制強化による農林水産物の安全と安心の確保 ● 農林水産業の担い手の育成・確保及び経営安定対策の強化 ● 農林水産技術の開発と普及 ● 亜熱帯・熱帯に適合した農林水産業の基盤整備 ● 農林水産物の6次産業化、海外展開促進 など <table border="1"> <tr> <th>主な指標</th> <th>基本年度</th> <th>現状</th> <th>100年時点の目標</th> </tr> <tr> <td>新規農業者数(累計)</td> <td>244人 (22年)</td> <td>1,764人 (29年)</td> <td>3,000人</td> </tr> </table>	主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標	新規農業者数(累計)	244人 (22年)	1,764人 (29年)	3,000人				
主な指標	基本年度	現状	100年時点の目標											
新規農業者数(累計)	244人 (22年)	1,764人 (29年)	3,000人											

31

沖縄21世紀ビジョン将来像4

● 36の基本施策と主な施策・主な指標

ビジョン将来像
III
あふれる活力に
希望と豊かな島

基本計画	実施計画
基本施策 8 地域を支える中小企業等の振興	主な施策 ● 中小企業経営革新、経営基盤強化、ベンチャー支援 ● 商店街・中心市街地の活性化と商業の振興 ● 建設産業の若い手確保及び活性化と新分野・新市場の開拓 など
9 ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成	主な施策 ● ものづくり産業における製品開発及び事業化の促進、基礎技術の高度化 ● 県産品の販路拡大と地域ブランドづくり ● 安定した工業用水・エネルギーの提供 など
10 雇用対策と多様な人材の確保	主な施策 ● 雇用機会の創出・拡大と求職者支援 ● 若年者に対するキャリア教育、就職対策の促進 ● 企業ニーズに対応した職業能力開発 ● 働きやすい環境づくり ● 駐留軍等労働者の職業訓練、再就職等の促進 ● みんなでプロジェクト活動（沖縄県産産、雇用拡大県民運動）の推進 など
11 離島における定住条件の整備	主な施策 ● 移動や生活必需品に係る住民負担の軽減 ● 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 ● 定住の整備、航空路の維持・確保 ● 過疎地域の自立促進と辺地対策の推進 など
12 離島の特徴を生かした産業振興と新たな展開	主な施策 ● 観光プログラムの開発、読書活動の推進 ● 点とつぎひの振興、特色を生かした産林水産振興 ● 特産品開発やプロモーションなど、マーケティング支援強化 ● 観光の発展・生活を支える多様な人材の育成と確保 ● 多様な交流と貢献による、雇用の新たな展開 など
13 駐留軍用地跡地の有効利用の推進	主な施策 ● 早期の事業着手に向けた取組 ● 駐留軍用地跡地の計画的な整備 ● 跡地における産業振興及び国際交流・青森拠点づくり ● 駐留軍用地跡地プロジェクトの導入 ● 駐留軍用地跡地利用促進についての協議 など
14 政策金融の活用	主な施策 ● 政策金融の活用促進

沖縄21世紀ビジョン将来像4、5

● 36の基本施策と主な施策・主な指標

ビジョン将来像
IV
世界に開かれた
交流と共生の島

ビジョン将来像
V
多様な能力を
発揮し、未来を拓く島

基本計画	実施計画
基本施策 1 世界との交流ネットワークの形成	主な施策 ● 国際ネットワークづくりと様々な交流の推進 ● 国際感覚に富む人材の育成等による、世界と共生する社会づくり ● 国際交流拠点の形成に向けた基盤の整備 など
2 国際協力・貢献活動の推進	主な施策 ● アジア・太平洋地域の共通課題に対する技術協力の推進 ● 国際的な災害援助活動の推進 ● アジア・太平洋地域の安定と平和に貢献する平和人権協力外交の展開 など
基本施策 1 沖縄らしい個性を持った人づくりの推進	主な施策 ● 地域を大切に、誇りに思う健全な青少年を育成するための体験活動の充実や相互連携 ● 家庭・地域の教育組織の充実 など
2 公平な教育機会の享受に向けた環境整備	主な施策 ● 教育に係る負担の軽減、公平な教育が受けられる環境づくり ● 生涯学習社会の実現のための体制づくり など
3 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実	主な施策 ● 確かな学力を身につける教育の推進 ● 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 ● 特色のある学校づくりや、キャリア教育等、時代に対応する魅力ある学校づくりの推進 など
4 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築	主な施策 ● 国際社会、情報社会に対応した外国語教育や海外留学の推進 ● 科学技術・スポーツ・文化芸術人材育成など、能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進 ● 大学における教育環境の充実等、優れた人材を育み地域の発展につながる高等教育の推進 など
5 産業振興を担う人材の育成	主な施策 ● 観光や情報通信などのリーディング産業を担う人材の育成 ● ものづくり・建設・農林水産等の地域産業を担う人材の育成 ● 新たな産業の創出や、産業のグローバル化を担う人材の育成 など
6 地域社会を支える人材の育成	主な施策 ● 医師・薬剤師・看護師や介護・福祉人材等、県民生活を支える人材の育成 ● 地域づくりを担う人材の育成 など

沖縄21世紀ビジョン

克服すべき沖縄の固有課題の解決

1. 基地問題の解決と駐留軍用地跡地利用

現状

- 県内全域に集中する米軍基地の存在と運用に起因する大きな負荷
- 新たな沖縄の発展を生み出すまでにつ

解決への道筋

- 米軍基地に起因する事件・事故、環境問題などへの取組
- 基地の整理縮小
- 日本地位留定の根本的な見直しに向けた取組
- 「跡地利用促進法」に基づいた跡地整備の円滑な推進
- 駐留軍用地跡地の有効で適切な利用(西暦2040年住宅地跡地など)

2. 離島の条件不利性克服と国益貢献

現状

- 離れていることによる交通コストの大きな負担
- 離れていることによる生活環境整備の高コスト化
- 離れていることによる季節的な生活条件の不利性

解決への道筋

- 交通・生活コストの負担軽減、生活基盤、医療・福祉・教育など様々な分野での離島定住条件の整備
- 市町村、地域住民、民間団体等が連携・協働して取組む取組の推進
- 総合的な離島振興策の推進による持続可能な地域づくり
- 離島の多様な特色ある魅力や潜在力の発揮による経済発展

3. 海洋島しょ圏 沖縄を結ぶ交通ネットワークの構築

現状

- 日本本土と離れていることによる高コストな交通・物流コスト
- 機能的な交通体系、公共交通の普及、環境への影響の低減

解決への道筋

- 空港、港湾等上交通の機能強化
- 鉄軌道を含む新しい公共交通システムの導入
- 東アジアと近いことを生かした国際物流拠点づくり

4. 地方自治拡大への対応

現状

- 地方の都市圏とは異なる、沖縄の特長事項による行政課題
- 高コストになっている、離島市町村における行政サービス

解決への道筋

- 沖縄自治体間の連携で効果的な活用による対応
- 地方自治体の充実と、沖縄振興特別措置法に基づく特例措置などの活用
- 小規模市町村の行政サービスの維持・確保
- 暮らしやすい環境の創出についての検討

圏域別展開

沖縄県内の各地域(圏域)の個性や特長を伸ばし、その価値や活力が大きくなるよう取り組むとともに、各地域が、お互いに連携・交流をして、補完し合いながら一体性を高め、様々な地域性が調和する県土づくりを進めます。

広域的圏域の形成

- 国際的な学術研究・リゾート拠点の形成(北部圏域)
- 国際的にも特色ある高度な都市機能をもつ100万都市圏の形成(中部・南部圏域)
- 広域的で多様な周遊型観光リゾート地の形成(宮古・八重山圏域)

北部圏域

- 北部圏域に関する事業の推進による雇用の創出、生活環境基盤の整備、情報通信産業の振興
- 豊かな自然環境の保全と経済開発との調和
- 拠点都市である名護市の都市機能の充実
- 過疎地域における沖縄県過疎地域自立促進計画に基づく施策の推進
- 辺地地域における生活環境基盤整備などに取り組む市町村への支援
- 離島地域における地産産業の振興、定住条件の整備

中部圏域

- 国際物流拠点産業集積地域等におけるものづくり産業などの投資環境の整備
- 情報通信産業特別地区における沖縄IT産業パークを中核とした国際情報通信の拠点づくり
- 特有の文化を生かした産業振興
- 鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入に向けた取組の推進
- 南部圏域との一体的な再編を推進した駐留軍用地跡地利用の推進

南部圏域

- 基幹都市圏の形成
- 無秩序な市街地拡大の抑制と良好な住宅市街地の形成
- 歴史・文化などの資源を活用した地域振興
- 個性豊かで魅力あふれる風景づくりの推進
- 国際空港・那覇港を基軸とした国際物流拠点づくり
- 航空機整備施設を中心とした航空関連産業クラスターの形成
- 都市近郊型農業や水産業の振興
- 中部圏域との一体的な再編を推進した駐留軍用地跡地利用の推進
- 離島地域の振興と定住条件の整備

宮古圏域

- 資源循環型社会システムの構築
- 農林水産業、観光リゾート産業の振興
- 拠点都市である宮古島市における医療、教育施設などの充実と、周辺離島との交通利便性の向上
- 新たな交通・生活コストの低減など定住条件の整備
- 公共施設等の機能強化による自然災害対策の推進

八重山圏域

- 多様な豊かな豊かな自然環境の保全と圏域特有の観光リゾート産業の振興
- 国内外の人的・物的交流の促進
- 拠点都市である石垣市における医療、教育施設などの充実と周辺離島との交通利便性の向上
- 新たな交通・生活コストの低減などの定住条件の整備
- 公共施設等の機能強化による自然災害対策の推進

VIII 北谷町の統計 (子育て・教育・文化・スポーツ)

保育所等定員数と待機児童の推移資料:子ども家庭課、学校教育課

保育所定員の推移(10月)

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
0歳	75	84	108	120	126	126
1歳	137	143	167	183	189	189
2歳	144	153	179	195	202	202
3歳	150	155	163	179	184	184
4歳	125	146	163	163	181	181
5歳	89	107	121	121	124	128
定員数	720	788	901	961	1006	1010

待機児童数推移(10月)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
0歳	31	25	42	22	52
1歳	28	7	38	20	23
2歳	3	3	6	5	3
3歳	1	4	8	1	6
4歳	2	0	1	0	0
5歳	0	0	0	0	0
待機児童数	65	39	95	48	84

地域子ども子育て支援の状況資料:第2期子ども子育て支援事業計画

病児・病後児保育事業の推移(年間)

単位:人

	年間利用延べ人数			
	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
やびく産婦人科・小児科	330	211	118	111
ファミリーサポートセンター	396	508	455	376
計	726	719	573	487

会員数の推移各年4月1日現在

単位:人

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
おねがい会員	552	624	685	732
まかせて会員	111	130	140	152
どっちも会員	50	58	60	71

放課後児童クラブの推移

単位:カ所、人

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
クラブ数	6	5	6	6	6	6
利用児童数計 (未就学除く)	193	254	290	312	323	322
1年生	100	58	127	131	109	112
2年生	61	79	92	94	101	102
3年生	26	34	53	59	65	67
4年生	6	13	14	20	35	29
5年生		1	4	7	8	8
6年生		0	0	1	5	4

放課後子ども教室の学年別利用児童数(各年度の利用者数)

単位:カ所、人

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
子ども教室数	10	10	10	9	8
利用児童数計	211	197	200	137	113
1年生	37	45	41	25	13
2年生	46	31	43	24	20
3年生	55	30	28	30	26
4年生	28	47	26	14	54
5年生	25	29	34	24	
6年生	20	15	28	20	

児童館の学年別利用児童数(各年度の利用者数)

単位:カ所、人

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
児童館数	3	3	3	3	3
延べ利用児童数計	37,636	45,879	54,545	56,832	49,918
1年生	9,593	13,711	12,491	16,678	11,581
2年生	6,236	7,389	15,371	8,765	12,014
3年生	6,705	7,496	9,477	12,001	6,524
4年生	6,484	7,182	6,073	6,793	10,345
5年生	3,378	5,547	6,874	4,726	5,624
6年生	3,011	3,041	2,945	6,550	1,932
中学生以上	2,229	1,513	1,314	1,319	1,898

乳幼児健康診査実施状況資料:子ども家庭課

年度	幼児一般検診			1歳6ヶ月児検診			3歳児検診		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
平成24年度	654	516	78.9%	325	300	92.3%	344	288	83.7%
平成25年度	659	537	81.5%	340	288	84.7%	372	317	85.2%
平成26年度	678	569	83.9%	326	285	87.4%	340	289	85.0%
平成27年度	625	547	87.5%	355	302	85.1%	344	290	84.3%
平成28年度	625	547	87.5%	355	302	85.1%	344	290	84.3%
平成29年度	682	577	84.6%	369	324	87.8%	329	288	87.5%
平成30年度	685	569	83.1%	339	293	86.4%	326	296	90.8%

母子(父子)家庭の状況(各年10月1日時点)資料:国勢調査

	世帯数【世帯】	母子世帯数【世帯】	父子世帯数【世帯】
2015年度	10,724	381	33
2010年度	9,903	327	34
2005年度	9,309	349	27
2000年度	8,213	310	41

幼稚園の概況(各年5月1日現在) 資料:学校教育課、教育総務課

年度	区分	学級数	園児数			教員数	1学級当たり園児数	園舎面積(m ²)	園児1人当り園舎延面積(m ²)
			計	男	女				
平成29年度	計	10	200	98	102	21	20	2,540	12.7
	北谷幼稚園	3	47	24	23	6	16	546	11.6
	北玉幼稚園	2	40	18	22	4	20	582	14.6
	浜川幼稚園	3	58	29	29	5	19	836	14.4
	北谷第二幼稚園	2	55	27	28	6	28	576	10.5
平成30年度	計	12	214	116	98	18	18	2,758	12.9
	北谷幼稚園	3	41	19	22	4	14	546	13.3
	北玉幼稚園	3	54	28	26	4	18	582	10.8
	浜川幼稚園	3	61	29	32	5	20	836	13.7
	北谷第二幼稚園	3	58	40	18	5	19	794	13.7
令和元年度	計	11	180	80	100	20	16	2,758	15.3
	北谷幼稚園	2	28	14	14	4	14	546	19.5
	北玉幼稚園	3	49	23	26	6	16	582	11.9
	浜川幼稚園	3	45	11	34	5	15	836	18.6
	北谷第二幼稚園	3	58	32	26	5	19	794	13.7

小学校の概況(各年5月1日現在) 資料:学校教育課、教育総務課

年度	区分	総数		特殊学級(再掲)	
		学級数	計	学級数	児童数
平成29年度	計	79	2,132	11	59
	北谷小学校	15	428	2	9
	北玉小学校	19	482	4	16
	浜川小学校	23	645	2	11
	北谷第二小学校	22	577	3	23
平成30年度	計	83	2,121	13	71
	北谷小学校	15	424	2	11
	北玉小学校	21	474	5	25
	浜川小学校	24	649	2	12
	北谷第二小学校	23	574	4	23
令和元年度	計	85	2,103	18	101
	北谷小学校	17	415	4	22
	北玉小学校	20	473	5	26
	浜川小学校	25	641	4	22
	北谷第二小学校	23	574	5	31

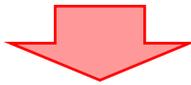
中学校の概況(各年5月1日現在) 資料:学校教育課、教育総務課

年度	区分	学級数	生徒数			教員数			職員数			一学級当り 生徒数	校地面積(㎡)	校舎延面積(㎡)	生徒1人当り 校地面積(㎡)	生徒1人当り 校舎延面積(㎡)
			計	男	女	計	男	女	計	男	女					
平成29年度	計	28 (6)	987 (22)	510 (13)	477 (9)	68	35	33	6	2	4	35	62,276	11,419	63	11
	北谷中学校	16 (3)	595 (18)	299 (11)	296 (7)	40	20	20	3	1	2	37	22,668	6,033	38	8
	桑江中学校	12 (3)	392 (4)	211 (2)	181 (2)	28	15	13	3	1	2	33	39,608	5,386	101	11
平成30年度	計	29 (6)	945 (26)	485 (16)	460 (10)	70	36	34	19	8	11	33	62,276	11,419	66	10
	北谷中学校	16 (4)	546 (22)	275 (13)	271 (9)	43	21	22	9	4	5	34	22,668	6,033	42	10
	桑江中学校	13 (2)	399 (4)	210 (3)	189 (1)	27	15	12	10	4	6	31	39,608	5,386	99	12
令和元年度	計	27 (7)	910 (31)	454 (21)	456 (10)	68	34	34	10	2	8	34	62,265	11,419	68	10
	北谷中学校	15 (5)	510 (28)	240 (18)	270 (10)	39	19	20	5	1	4	34	22,657	6,033	44	9
	桑江中学校	12 (2)	400 (3)	214 (3)	186 -	29	15	14	5	1	4	33	39,608	5,386	99	12

青少年支援センター令和元年度相談状況の統計

来所相談内訳(相談者/相談内容・支援対象者)

相談者					
保護者	関係者	学校	本人	地域	合計
59	32	67	29	11	198



相談内容								
不登校	登校渋り	いじめ	非行	発達について	友人関係	学校対応	学習支援	連携
17	11	0	0	0	2	31	66	28

電話相談内訳(相談者/相談内容・支援対象者)

相談者						
保護者	関係者	学校	本人	地域	センター	合計
62	16	28	8	7	17	138



相談内容										
不登校	登校渋り	いじめ	友人関係	家族問題	非行問題	発達関係	虐待	学校対応	学習支援	連携
42	1	0	0	1	0	0	0	0	57	37

北谷町の文化財

国指定史跡「伊礼原遺跡」	<p>伊礼原遺跡は、ウーチヌカーの湧水を中心として縄文時代から戦前まで約 7,000 年もの間、人々の生活址が見られる極めて貴重な遺跡で、平成 22 年 2 月、国史跡として指定された。</p> <p>平成 8 年 SACO 合意に伴い、キャンプ桑江北側基地内の試掘調査の際、発見された伊礼原遺跡では、今から約 6,500 年前の土器が発見された他、沖縄県内で発見されたことのない木製の櫛(くし)や斧の柄(え)など、貴重な品々が多数出土しており、遺跡の保存と整備を進め、近い将来公開活用を進めていく。</p>
史跡浜川ウガン遺跡	<p>浜川ウガン遺跡は琉球石灰岩丘陵からなっており、「琉球国由良記」に「島森ヨリアゲノ嶽・神名イノシ卸イベ」という記載があり、浜川ウガン(拝所)のことと思われる。</p> <p>同場所南斜面から、8~10 世紀の土器や貝殻は採集されるが、その周辺には先人たちの生活址は発見されない。このことから、石灰岩丘陵上は祭祀遺跡だったと考えられる。</p>

<p>民俗文化財北谷城内 「東ノ御嶽」</p>	<p>東ノ御嶽は北谷城の東に位置し、「琉球国由来記」に記録される「ヨシノ嶽、神名テンゴノ御イベ」に由来する拝所と考えられる。</p> <p>伝えによると右側香炉は、今帰仁村のクボー御嶽の遥拝という。旧暦5月・6月ウマチーの時、北谷ノロと北谷三箇ムラ（北谷・玉代勢・伝道）により拝まれている神聖な場所である。</p>
<p>民俗文化財北谷城内 「殿（とうん）」</p>	<p>「殿」は北谷城の三ノ郭に位置している。「琉球国由来記」に記録されている「北谷城内之殿」と推察される。三箇字（北谷・玉代勢・伝道）が清明祭・豊穰祭など祭祀のとき集る場所。</p> <p>由来記によれば三箇字で旧暦の5月・6月のウマチーが行われ、祭祀は北谷ノロが行っているとある。現在も三箇字によって拝みが行われている神聖な場所である。</p>
<p>建造物ちぶ川（井泉）</p>	<p>玉代勢ムラを中心として北谷・伝道ムラなどが使用していた。若水や産湯としてもちいた神聖な湧水である。</p> <p>旧暦正月3日、8月11日のカーウガミには北谷ノロが、2月のニングウチャーには北谷ノロとムラ人が拝む。下流域は苗代田として、沖縄三大美田の一つである北谷ターブックウの源流にあたる。現在キャンプ瑞慶覧内に位置し、平成16年に米軍海兵隊により復元された。</p>
<p>北谷城（グスク）</p>	<p>北谷城は約1.47haの面積をもち、県下でも比較的規模の大きい城である。形式としては東西に連なる郭をもつ連郭式で、出土遺物より12世紀以前に始まり15世紀の中頃に終焉したグスクと考えられる。</p> <p>北谷城は、建物址、城門そして城壁等の規模から沖縄本島内のグスクの中でも五指に入る。さらに歴史的にもグスク時代の黎明期（れいめいき）（10世紀）のころから、その変化を追うことができる古いグスクであるということが明らかになっている。</p>
<p>北谷町うちなあ家</p>	<p>平成19年7月に公開された「北谷町うちなあ家」は、旧目取真家、高倉、ふーる、サーター車等を移築・修復した沖縄の伝統的な屋敷と建物を再現した施設である。平成24年2月、国登録有形文化財となった。</p>
<p>北谷町長老</p>	<p>北谷長老は沖縄に臨済宗妙心寺派を初めてもたらしたと伝えられる僧で、法号を南陽照弘禅師（なんようしょうくぜんし）といわれている。没後長老山に葬られましたが、墓参りをすると傷が癒えたり、害虫駆除などの靈験があるといわれ、北谷・玉代勢・伝道では豊作を祈るようになった。長老祭は現在も続いている。</p>

北谷真牛（モーシ）	<p>「北谷真牛金が、歌声打ち出せば、中辺飛ぶ鳥や、淀で聞きよさ」（「琉歌百控（りゅうかびゃっこう）」より）とまで謡われた、絶世の美声の持ち主といわれる伝説的な女性である。北谷出身といわれ、真牛（モーシ）は童名（ワラビナー）で、北谷城に葬られていると伝えられている。</p>
インディアン・オーク号	<p>1840年（約179年前）、イギリスと中国で起こったアヘン戦争の中、イギリスの輸送船が台風により進路を失い、北谷沖に漂着しリーフに座礁した。それを見た当時の北谷の人々は、乗組員67名を救助し、積荷を回収した。また、首里王府から派遣された英語の通訳と共に、宿泊施設として家屋や食料を提供するなど、46日間に渡り手厚い保護を行った。首里王府は、イギリスへ帰還するための船「琉球丸（180トン）」を建造し、マカオ経由で連絡を受け、迎えに来たイギリスの軍艦2隻と一緒に国へ無事に帰すことができた。イギリスにおいては、キリスト教聖書に出てくる「良きサマリタン（良き隣人）」のようであったと賛美を受けた首里王府・北谷の人々の行いは、インディアン・オーク号座礁事件による航海日誌（輸送責任者ボーマン著）により、イギリスの国会図書館にその記録が残っている。その記録を受け、教育委員会において、北谷沖の水中発掘調査を行い、当時の船体の銅製外板、バラストなどを発見した。また、2000年の沖縄サミットの際には、イギリスのブレア首相が北谷町を訪れた。これを機に現在北谷町とイギリスの間で交流が行われるようになった。</p>
北谷トンネル	<p>沖縄でつくられた最初のトンネルは、現在の北谷を通る国道58号沿いの白比川が流れる白比橋近くにつくられた北谷トンネルである。</p> <p>1905年に行われた県道開通（現在の国道58号）の工事の時に、伝道と桑江の間を流れる白比川に沿った北側の丘をくり抜き、このトンネルができた。幅は馬車が通れるくらいで長さが18メートルの筒状のものであった。</p> <p>北谷トンネルは、馬車や人が往来する県道の一部ではあったが、村人たちの語らいの場所としても親しまれていた。交通施設が地域住民に愛されよく利用されていたことがわかる。なお、北谷トンネルは、1944年の第二次世界大戦の時、軍用道路建設で那覇ー読谷間の県道を拡張するために取り壊された。</p>

生涯学習プラザ利用状況 資料:令和元年度北谷町の統計

平成30年度	施設別											利用形態別							
	1階			2階		地下1階						合計	a 講座・学級等	b サークル 活動	c 社会教育 団体	d 学校及び 教育委員会	e 町主催事業	f その他	合計
	カナイ ホール	練習室 ギャラリー北谷	会議室 託児室	セミナー室 (3を除く)	セミナー室 3	講座室 1・2・3	和室 1・2	調理室	工作室 工芸室	マルチメディア 工房学習室									
4月	利用回数	16	9	7	129	51	41	9	2	29	51	344	0	158	47	7	53	79	344
	参加人数	2,756	59	56	1,274	574	510	102	12	40	814	6,197	0	1,494	649	100	1,040	2,914	6,197
5月	利用回数	14	15	9	121	65	43	11	2	30	52	362	6	155	60	4	57	80	362
	参加人数	2,592	447	125	1,253	691	603	133	6	41	985	6,876	57	1,589	1,336	150	683	3,061	6,876
6月	利用回数	21	17	8	118	66	64	20	6	30	51	401	11	149	51	11	73	106	401
	参加人数	3,641	462	82	1,279	694	814	221	68	34	1,004	8,299	517	1,496	716	124	920	4,528	8,299
7月	利用回数	16	16	9	122	63	81	13	2	32	52	406	10	153	63	20	73	87	406
	参加人数	2,637	76	103	1,273	752	964	132	11	29	982	6,959	100	1,526	809	232	1,011	3,281	6,959
8月	利用回数	20	29	3	125	63	65	25	7	32	51	420	20	136	50	9	101	104	420
	参加人数	3,483	913	43	1,265	695	753	229	67	62	919	8,429	147	1,292	1,135	119	950	4,786	8,429
9月	利用回数	8	16	9	130	50	84	26	5	23	46	397	16	134	79	10	92	66	397
	参加人数	759	36	124	1,247	488	746	263	41	16	935	4,655	91	1,307	778	122	1,271	1,086	4,655
10月	利用回数	23	28	10	132	59	78	29	5	33	51	448	6	144	87	17	125	69	448
	参加人数	3,454	882	117	1,180	631	740	239	55	63	923	8,284	64	1,332	1,273	988	2,276	2,351	8,284
11月	利用回数	25	34	4	151	63	49	30	3	33	50	442	7	141	83	35	106	70	442
	参加人数	3,509	48	58	1,547	666	763	468	21	89	877	8,046	72	1,404	2,043	1,913	1,823	991	8,046
12月	利用回数	26	39	1	131	50	46	11	12	32	50	398	9	149	49	32	76	83	398
	参加人数	5,763	959	20	1,181	535	607	137	60	37	648	9,947	85	1,647	2,152	212	1,221	4,630	9,947
1月	利用回数	16	16	3	141	44	18	2	0	17	34	291	8	120	32	16	69	46	291
	参加人数	5,135	0	21	1,480	463	212	26	0	28	459	7,824	75	1,163	429	148	4,766	1,243	7,824
2月	利用回数	15	11	8	144	59	19	4	0	34	43	337	6	129	49	14	65	74	337
	参加人数	2,650	0	88	1,484	644	222	47	0	90	709	5,934	56	1,309	608	134	1,002	2,825	5,934
3月	利用回数	17	20	5	147	62	32	10	4	33	51	381	3	150	45	11	62	110	381
	参加人数	2,606	1,016	45	1,435	705	404	126	36	56	793	7,222	30	1,466	900	96	640	4,090	7,222
合計	利用回数	217	250	76	1,591	695	620	190	48	358	582	4,627	102	1,718	695	186	952	974	4,627
	参加人数	38,965	4,896	862	15,898	7,538	7,338	2,123	377	585	10,048	88,672	1,294	17,025	12,828	4,338	17,403	35,784	88,672

北谷公園等施設使用状況 資料:令和元年度北谷町の統計

施設別	区分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総数	利用回数	1,483	1,666	1,811	1,432	1,587	1,724	1,575	1,479	1,348	1,446	1,563
	利用人数	25,645	28,284	32,133	24,451	27,558	28,786	24,804	22,667	20,899	21,529	21,503
北谷中学校 体育館	利用回数	242	257	291	222	270	285	268	237	258	279	257
	利用人数	7,712	7,846	8,141	5,681	7,700	7,555	6,514	6,208	6,450	6,850	5,466
桑江中学校 体育館	利用回数	208	211	171	174	178	187	181	197	205	130	191
	利用人数	3,120	3,164	2,198	1,660	3,122	3,459	2,843	3,457	4,011	2,578	3,687
北谷小学校 体育館	利用回数	215	215	222	168	202	218	194	126	153	196	206
	利用人数	3,351	3,345	3,736	2,750	2,652	2,772	2,102	1,389	1,508	1,656	853
北谷第二小学校 体育館	利用回数	239	295	280	223	261	282	283	261	82	228	235
	利用人数	3,521	4,296	4,148	2,982	3,693	3,567	3,459	2,888	876	2,521	2,471
北玉小学校 体育館	利用回数	167	232	189	135	201	194	213	205	185	144	179
	利用人数	2,015	2,658	1,941	1,429	2,540	2,200	2,543	1,991	1,650	1,296	1,995
浜川小学校 体育館	利用回数	217	295	217	161	186	184	152	166	175	195	220
	利用人数	3,602	4,723	3,343	2,623	2,347	2,758	2,292	2,304	1,829	2,407	2,731
北谷中学校 運動場	利用回数	-	167	179	131	149	171	128	100	93	115	121
	利用人数	-	2,619	4,110	3,067	3,216	3,574	2,702	1,903	1,912	2,198	2,474
桑江中学校 運動場	利用回数	-	51	170	194	140	145	142	124	127	133	126
	利用人数	-	1,213	2,808	3,704	2,288	2,107	2,192	1,747	1,735	1,659	1,416
浜川小学校 運動場	利用回数	175	161	92	24	-	58	14	63	70	26	28
	利用人数	2,324	2,252	1,608	555	-	794	157	780	928	364	410

注1) 利用者は、会場申込時の予定人数

北谷公園等施設使用状況資料：令和元年度北谷町の統計

	北谷公園		安良波公園		アラハビーチ 利用者 人数	庭球場		陸上競技場		ソフトボール場		野球場		屋内運動場		サブグラウンド		健康トレーニング センター		桑江総合運動場		あしびな庭球場		砂辺馬場公園 ソフトボール場		合計	
	利用者人数		利用者人数			利用者人数		利用者人数		利用者人数		利用者人数		利用者人数		利用者人数		利用者人数		利用者人数		利用者人数		利用者人数			
	昼	夜	昼	夜		町内	町外	町内	町外	町内	町外	町内	町外	町内	町外	町内	町外	町内	町外	町内	町外	町内	町外	町内	町外		
平成 29 年度	258,890	176,293	287,005	120,580	244,475	25,623	10,371	29,876	40,963	3,328	5,596	13,271	67,725	51,148	56,581	5,240	14,180	27,789	4,752	11,970	4,558			7,421	2,624		
計	435,183		407,585		244,475	35,994		70,439		8,924		80,996		107,729		19,420		32,541		16,528		-		10,045	1,453,331		
平成 30 年度	4月	20,520	9,300	25,060	12,171	25,050	2,337	766	245	174	181	269	700	1,296	1,242	667	325	865	2,370	377	1,271	433			245	201	104,361
	5月	20,460	10,646	37,350	16,571	37,350	2,234	808	384	381	195	70	79	220	25,397	29,598	0	50	2,674	382	1,547	484			377	48	185,274
	6月	21,780	9,550	25,930	12,952	25,930	2,063	854	158	72	185	370	640	1,326	1,547	406	550	1,315	2,590	377	1,317	262			376	0	108,961
	7月	21,320	12,745	30,645	16,141	30,645	2,152	632	161	59	400	250	754	3,020	1,329	1,377	450	870	2,554	384	839	1,057			517	120	126,525
	8月	19,260	11,980	38,425	16,896	38,425	2,224	852	150	85	300	145	299	867	1,237	797	245	315	1,744	470	4,113	2,181			291	0	135,007
	9月	20,800	8,970	28,095	13,662	28,145	1,633	802	1,588	81	205	300	255	2,545	987	3,290	245	1,135	2,310	372	1,522	832			298	55	115,773
	10月	16,850	8,770	18,255	9,767	18,255	1,896	770	1,023	205	290	135	0	20	3,048	2,843	0	0	2,297	363	1,442	349			430	25	85,262
	11月	16,280	10,350	14,225	11,564	23,215	1,878	887	371	527	187	223	0	420	1,405	1,333	0	0	2,326	377	1,068	361			388	100	86,056
	12月	14,990	9,110	11,910	9,073	0	1,813	701	1,868	1,130	800	35	0	400	1,406	888	0	451	1,892	292	2,516	167			570	15	57,344
	1月	14,750	8,290	11,790	6,980	0	1,542	798	306	859	255	303	0	290	1,787	2,119	0	290	2,048	303	977	651			364	236	53,310
	2月	63,050	10,950	13,700	7,900	0	1,471	754	143	2,890	156	855	11,100	50,950	0	2,430	0	2,400	1,925	323	1,457	764			463	87	171,547
	3月	24,780	10,700	17,400	6,350	17,600	2,016	876	239	1,875	385	321	0	4,470	954	4,047	0	4,470	2,285	305	1,600	898			372	94	99,539
	小計	274,840	121,361	272,785	140,047	244,615	23,259	9,500	6,636	8,338	3,539	3,276	13,827	65,824	40,339	49,795	1,815	12,161	27,005	4,325	19,669	8,439			4,691	981	1,328,959
	合計	396,201		412,832		244,615	32,759		14,974		6,815		79,651		90,134		13,976		31,330		28,108				5,672	1,328,959	

注 1) アラハビーチでは、ライフガードが4月の第2木曜日及び12月から2月は不在のため、当該日の利用人数は計測をしていない。

注 3) 野球場及びサブグラウンドについて、1月の利用人数が0人となっているのは、中日キャンプ準備のため貸出を行っていないため。また、2月の利用が町外のみとなっているのは、中日キャンプのみで使用しているため

北谷町の統計（産業）

中部市町村別農家数、農家就業人口、経営耕地面積資料：令和元年度北谷町の統計、農林業センサス

平成 27 年 2 月 1 日現在

市町村	総農家数				兼業農家数			農業就業人口	経営耕地面積(ha)
		販売農家数	専業農家数	男子生産年齢人口のいる世帯	計	第1種	第2種		
沖縄県	20,056	14,241	7,497	3,319	6,744	1,889	4,855	19,916	2,478,962
宜野湾市	94	45	22	13	23	4	19	70	2,168
浦添市	80	24	9	4	15	1	14	39	1,265
沖縄市	209	87	55	33	32	14	18	176	4,786
うるま市	939	374	216	115	158	64	94	625	40,647
読谷村	529	225	118	57	107	28	79	339	26,465
嘉手納町	39	22	17	11	5	3	2	31	1,860
北谷町	14	1	x	x	x	x	x	x	x
北中城村	119	26	12	4	14	5	9	45	1,552
中城村	445	130	55	19	75	17	58	206	8,714
西原町	329	104	44	17	60	17	43	143	7,418

中部市町村別漁業経営体階層別経営体数資料：令和元年度北谷町の統計、漁業センサス

平成 30 年 11 月 1 日現在

市町村	総数	漁船非使用	無動力船のみ	動力船使用				定置網	海面養殖
				1t未満	1~3t	3~5t	5t以上		
沖縄県	2,733	191	4	90	434	449	480	21	717
うるま市	373	4	-	20	44	28	18	1	201
宜野湾市	64	-	-	-	3	8	44	-	5
浦添市	41	1	-	-	6	11	20	-	1
沖縄市	63	-	-	1	11	14	20	1	12
読谷村	50	6	-	3	3	4	14	1	6
嘉手納町	15	-	-	4	3	3	2	-	-
北谷町	24	1	-	5	4	7	5	1	-
北中城村	31	-	-	-	-	1	1	-	28
中城村	21	-	-	1	9	5	2	1	2
西原町	14	-	-	1	-	1	11	-	-

中部市町村別漁獲量資料：北谷町の統計、沖縄県農林水産統計年報

単位：t

市町村	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
	捕獲量	捕獲量	捕獲量	捕獲量	捕獲量	捕獲量	捕獲量
沖縄県	14838	15295	15294	15317	16684	16158	15954
うるま市	339	414	153	372	422	380	306
宜野湾市	357	483	314	358	414	363	295
浦添市	459	563	406	406	341	486	478
沖縄市	475	335	358	358	362	339	419
読谷村	114	133	182	182	191	189	196
嘉手納町	6	4	4	4	2	3	5
北谷町	159	149	153	153	167	172	207
北中城村	2	2	0	0	0	0	2
中城村	22	28	28	28	27	28	15
西原町	202	205	210	210	259	261	271

魚類別漁獲量資料：令和元年度北谷町の統計、沖縄県農林水産統計年報

単位：t

区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
合計	147	164	151	164	170	205
まぐろ類	112	122	119	132	132	170
かじき類	9	16	9	9	9	15
かつお類	0	0	-	0	0	0
さめ類	0	-	0	0	1	-
むろあじ類	0	1	0	0	0	-
ぶり類	1	0	0	0	1	-
たい類	1	2	0	0	0	-
さわら類	0	0	0	1	0	-
その他の水産 動物類	-	-	-	-	-	-
貝類	1	0	1	2	1	0
海藻類	-	0	0	-	-	-
その他の魚類	23	23	22	20	26	20

主要イベント来客数 資料:令和元年度北谷町の統計

単位:人

イベント名	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
北谷ニライハーリー	10,000	12,000	5,000	3,000
シーポートちやたんカーニバル	98,300	42,000	74,345	71,000
ハローウィンミハマ	20,000	20,000	20,000	20,000
C-1 ちやたんグルメバトル	13,000	13,500	15,390	18,113
プロ野球キャンプ	39,864	70,705	65,532	55,452
生涯学習センターまつり	2,400	2,000	2,150	2,612

注 1) 計数カウンターによる数値。下2桁は切り捨て(プロ野球キャンプを除く)

注 2) 平成 30 年及び令和元年の C-1 ちやたんグルメバトルは、産業まつりと合同開催

北谷町の統計(都市・環境・防災・防犯・交通安全)

土地利用の状況(令和 2 年4月1日時点) 資料:税務課

単位:km²

	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地	その他	総面積
平成 30 年度	0	107,265	3,045,795	0	451,261	7,259,005	3,066,674	13,930,000
令和元年度	0	106,922	3,009,533	0	444,897	7,302,959	3,065,689	13,930,000
令和 2 年度	0	104,348	3,017,028	0	440,775	7,292,735	3,075,114	13,930,000

都市計画区域等の状況(令和 2 年4月1日時点) 資料:都市計画課

単位:km²

総面積	都市計画区域面積	市街化調整区域面積	市街化区域面積	用途地域面積
13.93	13.93	0	0	5.93

公営住宅の整備状況(令和 2 年4月1日現在) 資料:都市計画課

名称	所在	戸数	種別
町営栄口住宅	北谷町字吉原 730 番地 1	58	町営
町営砂辺住宅	北谷町宮城 2-3 他5筆	94	町営
砂辺団地	北谷町宮城 1-28	264	県営
北谷団地	北谷町字吉原 177 番地	100	県営
桑江高層住宅	北谷町字桑江 519 番地2	164	県営
美浜高層住宅	北谷町美浜 14-1	216	県営

都市公園の整備状況(令和 2 年4月1日現在) 資料:北谷町の公園、町HP

	開設公園箇所数	開設面積
運動公園	1	20.80ha
近隣公園	4	14.00ha
都市緑地	2	1.28ha
街区公園	24	5.39ha
特殊公園	1	8.96ha
合計	32	50.23ha

下水道普及状況(各年度末現在) 資料:上下水道課(排水設備調書)

年度	行政人口(人) (A)	利用可能人口(人) (B)	利用人口(人) (C)	人口普及率(% (B)/(A)	水洗化率(% (C)/(B)
平成 28 年度	29,098	28,673	27,795	98.5	96.9
平成 29 年度	29,174	28,761	27,924	98.6	97.1
平成 30 年度	28,913	28,513	27,671	98.6	97.0

注 1)外国人を含む

上水道普及状況 資料:上下水道課

年度	行政区内人口	給水人口	普及率
平成 28 年度	29,098	29,098	100.00%
平成 29 年度	29,174	29,174	100.00%
平成 30 年度	28,913	28,913	100.00%

注 1)行政区内人口は各年度末現在の住民基本台帳(外国人を含む)の数値

配水量及び有収水量 資料:上下水道課

年度	配水量(m ³)	有収水量 (m ³)	有収率	1日平均 配水量(m ³)	1日平均 給水量(m ³)	1日1人平均 給水量(ℓ)
平成 28 年度	4,233,524	4,089,442	96.6%	11,599	11,204	385
平成 29 年度	4,363,842	4,190,458	96.0%	11,956	11,481	394
平成 30 年度	4,437,983	4,185,340	94.3%	12,159	11,467	397

注 1)有収水量とは水道料金徴収の対象となった水量

年度別ごみ処理状況 資料:保健衛生課

年度	処理量(t)	1月当り 処理量(t)	1日当り 処理量(t)	1世帯当り 1日処理量 (kg)	1人当り 年間処理量 (kg)	1人当り 1日処理量 (kg)
平成 28 年度	12,183	1,015.25	33.38	2.78	418.69	1.1471
平成 29 年度	12,489	1,040.75	34.22	2.80	428.09	1.1728
平成 30 年度	12,986	1,082.17	35.58	2.91	449.14	1.2305

注 1)世帯当たり、1人当たり処理量は、各年度末の世帯数及び人口により算出注 2)表の数値については、事業系ごみを含む

月別火災出動件数 資料:ニライ消防本部「消防年報」

年次	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成 28 年	34 (12)	3 (2)	2 (0)	3 (0)	2 (1)	2 (0)	2 (2)	1 (0)	4 (1)	2 (0)	1 (0)	3 (1)	9 (5)
平成 29 年	29 (9)	3 (0)	3 (1)	2 (2)	6 (1)	1 (0)	1 (0)	2 (1)	1 (0)	1 (1)	3 (1)	3 (0)	3 (2)
平成 30 年	39 (14)	4 (1)	3 (1)	7 (3)	5 (1)	4 (2)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	2 (2)	5 (3)	2 (0)	4 (0)

注 1)数値はニライ消防本部構成市町村(嘉手納町、北谷町、読谷村)の合計値注 2)()は北谷町

事故種別救急出動件数及び搬送人員 資料：ニライ消防本部「消防年報」

年次	区分	総数	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院	その他	不搬送
平成 28 年	件数	4,844 (1701)	3 (6)	- (-)	9 (9)	313 (178)	24 (10)	56 (20)	579 (236)	19 (12)	26 (15)	3,056 (1157)	174 (32)	10 (4)	575 (22)
	搬送人員	4,319	3	-	9	353	24	57	583	20	26	3,060	174	10	
平成 29 年	件数	4,759 (1683)	5 (-)	1 (-)	2 (2)	274 (120)	41 (20)	41 (19)	649 (235)	9 (2)	25 (5)	3,009 (1071)	141 (19)	7 (3)	555 (187)
	搬送人員	4,236	7	1	2	296	41	41	651	9	25	3,014	141	8	
平成 30 年	件数	4,619 (1714)	2 (1)	7 (4)	5 (3)	242 (119)	29 (11)	35 (8)	603 (236)	24 (13)	30 (16)	2,877 (1060)	152 (29)	3 (2)	610 (212)
	搬送人員	4,056	2	7	5	285	29	35	604	24	30	2,880	152	3	

注 1) 数値はニライ消防本部構成市町村(嘉手納町、北谷町、読谷村)の合計値注 2) ()は北谷町

中部市町村別刑法犯罪種別認知件数(令和元年12月末現在)

資料：沖縄県警察本部「平成 31 年犯罪統計書」

市町村別	総数	凶悪犯					粗暴犯					窃盗犯			
		殺人	強盗	放火	強姦	粗暴犯	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯	侵入盗	乗り物盗	非侵入盗	
県計	6,878	43	17	14	6	6	792	294	428	31	39	4,661	376	1,120	3,165
中部計	2,824	9	4	3	-	2	281	111	147	11	12	1,934	149	446	1,339
北谷町	218	-	-	-	-	-	18	5	13	-	-	158	9	28	121

市町村別	知能犯	風俗犯					その他			その他							
		詐欺	横領	偽造	汚職	背任	賭博	強制わいせつ	わいせつその他	占有離脱物横領	公務執行妨害	住居侵入	器物破損	略取誘拐	その他		
県計	452	388	20	46	-	-	69	4	38	27	861	51	54	112	557	1	86
中部計	197	171	9	17	-	-	33	3	16	14	370	22	12	51	246	-	39
北谷町	11	11	-	-	-	-	2	-	1	1	29	2	-	3	22	-	2

交通事故発生件数の状況(各年12月末現在) 資料：沖縄県警察交通白書

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年
事故件数	192	168	203	196	148
死亡者数	2	1	3	0	1
負傷者数	244	224	260	253	178

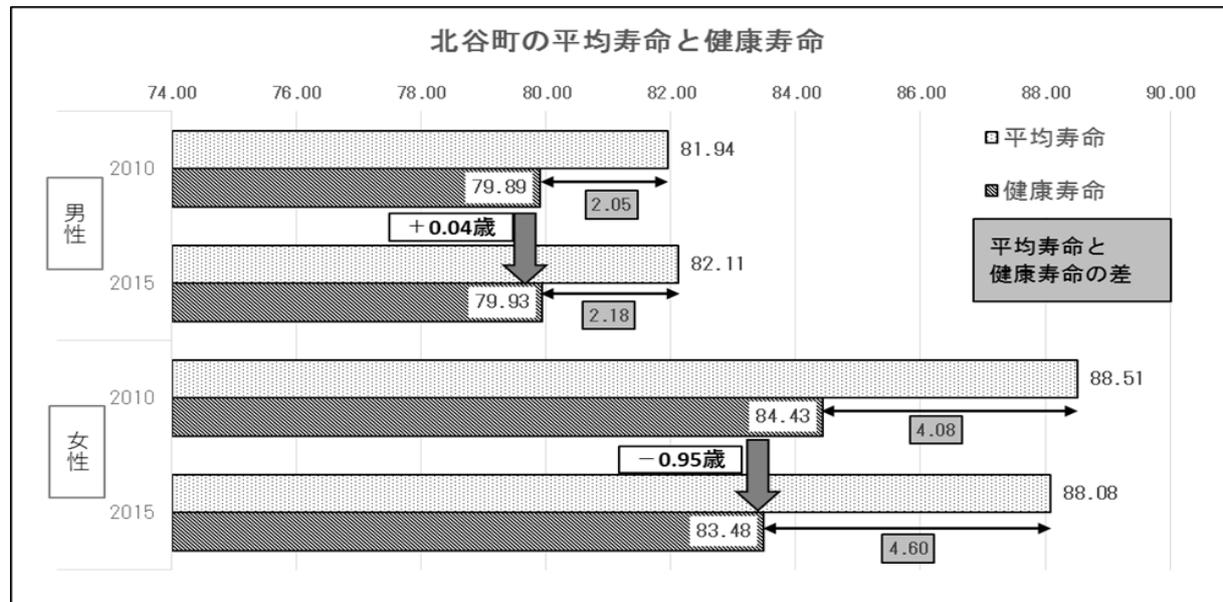
町部交通事故による死傷者数(各年12月末現在) 資料:沖縄県警察交通白書

市町村別	区分	人口	発生件数	死者数	負傷者数
久米島町		7,873	3	0	3
八重瀬町		31,338	52	0	64
南風原町		39,348	135	0	164
与那原町		19,810	75	2	93
西原町		35,322	97	0	112
北谷町		29,097	148	1	178
嘉手納町		13,681	28	1	33
金武町		11,573	38	2	45
本部町		13,234	22	1	29
竹富町		4,343	0	0	0
与那国町		1,716	1	0	1

北谷町の統計（福祉）

沖縄県と北谷町の健康寿命 資料：健康ちゃん 21 後期計画

		策定時(2010年)	中間目標値 (2017年度)	最終目標値 (2022年度)	直近実績 (2015年度)	評価
北谷町	男性	79.89歳 (参考:平均寿命81.94歳)	健康寿命 の延伸	健康寿命 の延伸	79.93歳 (参考:平均寿命82.11歳)	変化なし
	女性	84.43歳 (参考:平均寿命88.51歳)	健康寿命 の延伸	健康寿命 の延伸	83.48歳 (参考:平均寿命88.08歳)	変化なし
沖縄県	男性	77.67歳 (参考:平均寿命79.41歳)			78.63歳 (参考:平均寿命80.49歳)	
	女性	83.06歳 (参考:平均寿命86.69歳)			83.53歳 (参考:平均寿命87.48)	



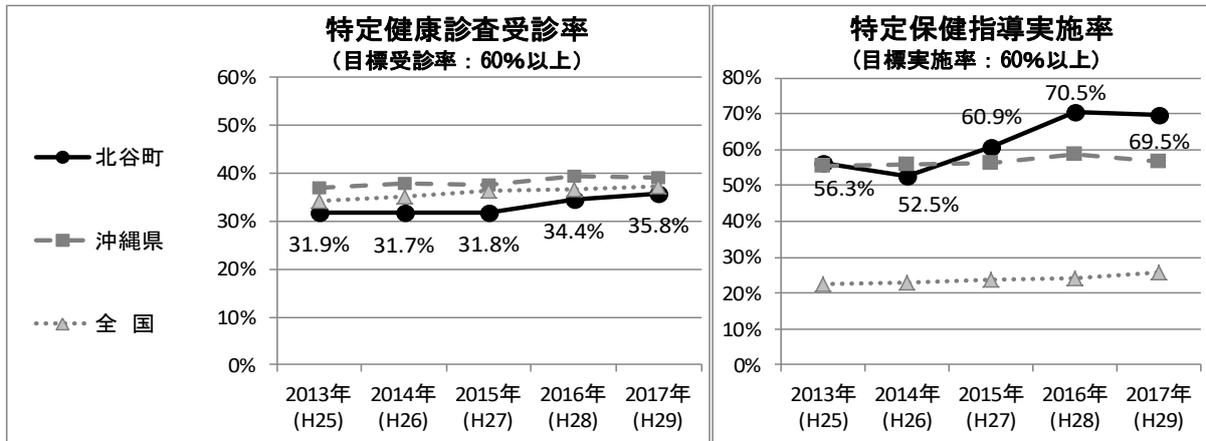
※健康寿命とは、一般にある健康状態で生活することが期待されている平均期間を指し、生存期間を健康な期間と不健康な期間に分け、集団における各人の健康な期間の平均が健康寿命となる。

※この統計では「健康な期間」を介護保険の要介護認定数を用いて「日常生活が自立している期間の平均」について算出。

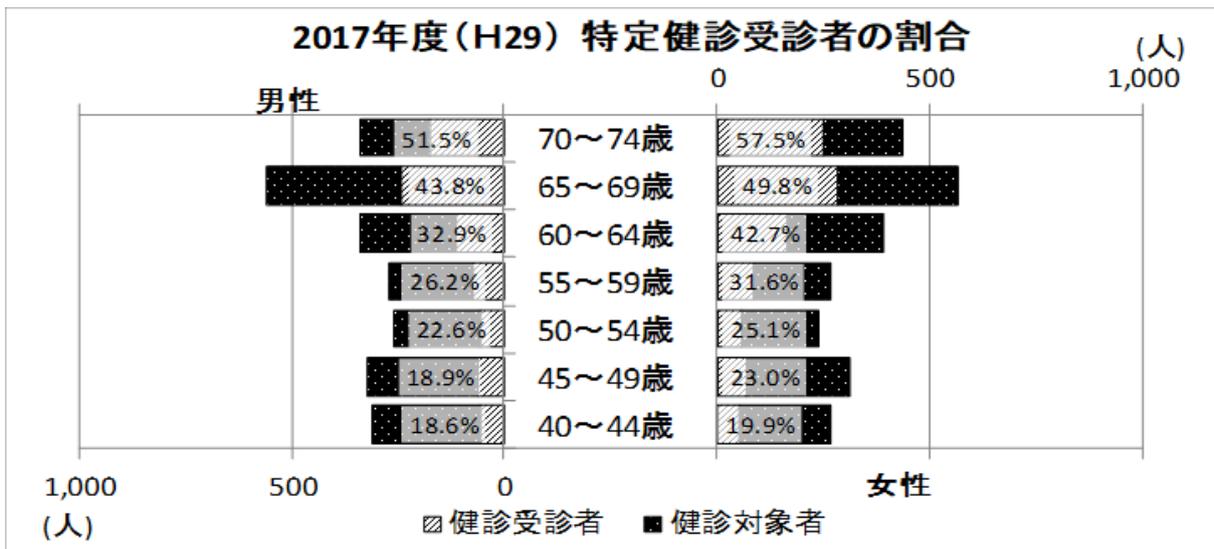
※統計の精度を確保するため、北谷町については、人口は2015年の3倍、死亡数は2014～2016年の3年間の合計で算定（沖縄県は2015年のデータで算定）。

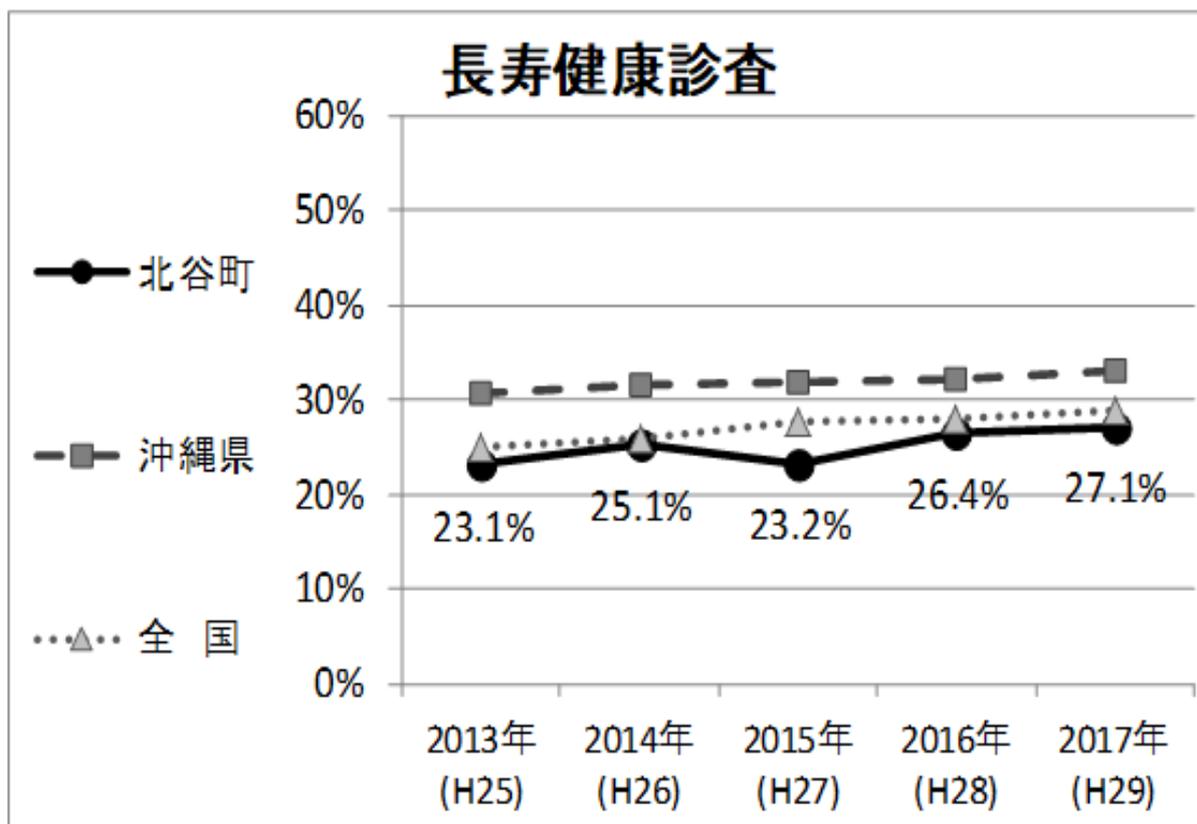
健康診査（特定健康診査・特定保健指導、長寿健康診査）の状況

資料：健康ちゃん 21 後期計画



		特定健康診査					特定保健指導				
		2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)
対象者数 (人)		5,064	5,096	5,056	4,928	4,865	295	280	248	271	269
受診者数 (人)		1,613	1,616	1,610	1,697	1,741	166	147	151	191	187
実施率	北谷町	31.9%	31.7%	31.8%	34.4%	35.8%	56.3%	52.5%	60.9%	70.5%	69.5%
	沖縄県	37.1%	37.8%	37.5%	39.4%	39.1%	55.5%	55.7%	56.4%	58.7%	56.7%
	全国	34.2%	35.3%	36.3%	36.6%	37.2%	22.5%	23.0%	23.6%	24.1%	25.6%





		2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)
対象者数 (人)		2,125	2,144	2,290	2,298	2,432
受診者数 (人)		490	539	531	606	660
受診率	北谷町	23.1%	25.1%	23.2%	26.4%	27.1%
	沖縄県	30.5%	31.5%	31.9%	32.1%	32.9%
	全国	25.1%	26.0%	27.6%	28.0%	28.8%

資料：沖縄県後期高齢者医療広域連合

がん検診実施の推移 資料:保健衛生課「地域保健・健康増進事業報告」

年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
胃がん検診	対象者数	13,914	14,441	11,073	11,124	6,888	6,923
	受診者数	945	968	717	678	772	832
	受診率	6.8	6.7	6.5	6.1	11.2	12.0
大腸がん検診	対象者数	13,914	14,441	11,073	11,124	11,424	11,318
	受診者数	1,301	1,375	980	984	1,027	1,037
	受診率	9.4	9.5	8.9	8.8	9.0	9.2
肺がん検診	対象者数	13,914	14,441	11,073	11,124	11,424	11,318
	受診者数	1,802	1,839	1,124	1,151	1,227	1,236
	受診率	13.0	12.7	10.2	10.3	10.7	10.9
子宮頸がん検診	対象者数	10,123	10,281	8,780	9,511	9,519	9,398
	受診者数	1,257	1,211	1,348	1,560	1,661	1,484
	受診率	25.2	23.9	26.0	30.1	33.3	33.0
乳がん検診	対象者数	6,893	7,030	5,494	5,740	5,912	5,898
	受診者数	690	639	771	834	778	814
	受診率	19.3	18.6	21.9	26.5	27.0	27.0

注 1) 胃がんの検診については、受診率の算定のため、国の統計指標に合わせて対象年齢を 40 歳以上

(平成 27 年度以降は 40 歳から 69 歳まで、平成 29 年度以降は 50 歳から 69 歳まで)として記載

注 2) 大腸がん、肺がん、乳がんの検診については、受診率の算定のため、国の統計指標に合わせて対象年齢を 40 歳以上

(平成 27 年度以降は 40 歳から 69 歳までとして記載

注 3) 子宮頸がん検診については、受診率の算定のため、国の統計指標に合わせて対象年齢を 20 歳以上

(平成 27 年度は 20 歳から 69 歳まで)として記載

注 4) 子宮頸がん及び乳がんの受診率

受診率=(前年度の受診者数+当該年度の受診者数-2年連続受診者数)÷当該年度の対象者数×100

死因別死亡内訳の年次推移 資料:保健衛生課(沖縄県衛生統計年報)

年次	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
がん	41	48	48	48	53	59	39
心疾患	27	24	22	25	27	26	36
脳血管疾患	12	14	22	10	19	14	24
呼吸器系疾患	25	30	23	22	22	29	27
(肺炎)	(10)	(15)	(10)	(9)	(6)	(7)	(13)
(慢性閉塞性肺疾患)	(2)	(4)	(3)	(2)	(7)	(2)	(5)
不慮の事故	2	5	3	6	8	9	3
自殺	4	7	9	6	8	6	5
老衰	1	5	3	6	9	7	17
腎不全	2	2	4	4	3	4	5
肝疾患	3	6	4	3	4	3	3
糖尿病	3	5	6	6	3	2	4
その他	36	34	27	43	43	61	60
合計	156	180	171	179	190	200	214

障害のある人の状況(各年4月1日現在) 資料:福祉課

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和2年
身体障害者手帳所持者(合計)	976	966	957	894	896	904
18歳未満	28	28	27	26	29	27
18～64歳	365	333	314	293	287	290
65歳以上	583	605	616	575	580	587
療育手帳所持者(合計)	245	255	258	239	252	260
18歳未満	71	72	76	64	82	82
18～64歳	160	167	168	163	159	164
65歳以上	14	16	14	12	11	14
身精神障害者保健福祉手帳所持者(合計)	313	359	365	372	337	356
18歳未満	6	9	12	14	11	12
18～64歳	245	275	280	287	258	273
65歳以上	62	75	73	71	68	71

生活保護の状況(各年4月1日現在) 資料:福祉課

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和2年
世帯数	293	302	308	302	295	294
人員	426	416	417	408	399	393

高齢者の世帯状況(各年10月1日現在) 資料:国勢調査

調査年	高齢夫婦のみの世帯数(高齢夫婦のみ)【世帯】	高齢単身世帯数(65歳以上の者1人)【世帯】
2015年度	685	842
2010年度	559	664
2005年度	474	481
2000年度	339	324
1995年度	221	243
1990年度	132	180
1985年度	***	172
1980年度	***	125

要介護等認定状況(各年6月1日現在) 資料:地域包括ケアシステム見える化システム

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
高齢者人口	4,900	5,186	5,394	5,520	5,704	5,809
認定者数	906	928	925	938	934	971
要支援1	52	50	53	40	43	54
要支援2	133	137	129	119	102	114
要介護1	144	156	147	164	163	176
要介護2	146	158	158	159	181	189
要介護3	136	136	146	157	176	151
要介護4	177	175	171	188	159	177
要介護5	118	116	121	111	110	110
認定率	18.5	17.9	17.1	17.0	16.4	16.7

認知症患者数の推移(各年4月1日現在) 資料:福祉課

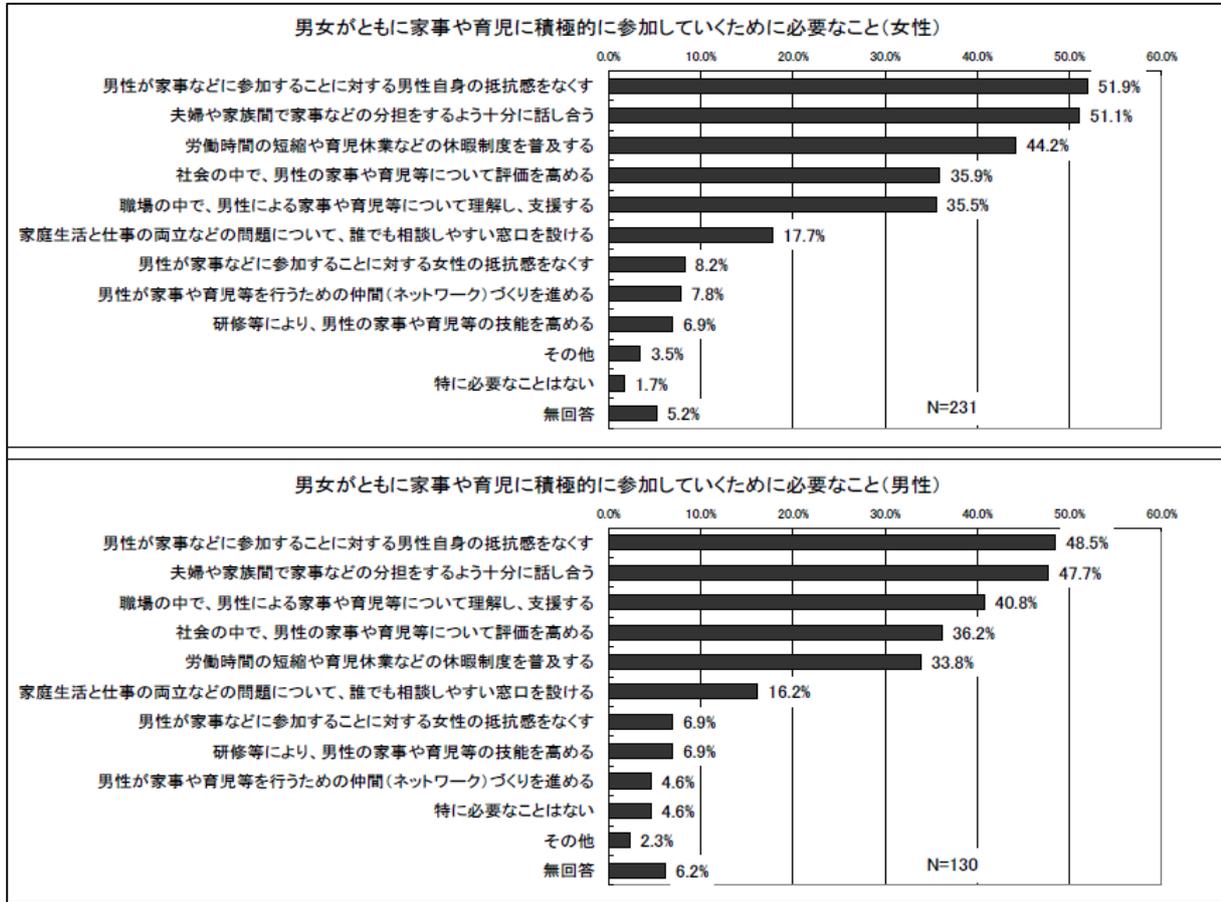
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
認知症患者数	615	742	734	717	709	762

北谷町の統計 (平和・基地・男女共同参画・人権尊重 ・協働のまちづくり・行財政運営)

北谷町男女共同参画社会づくりに向けた町民意識調査

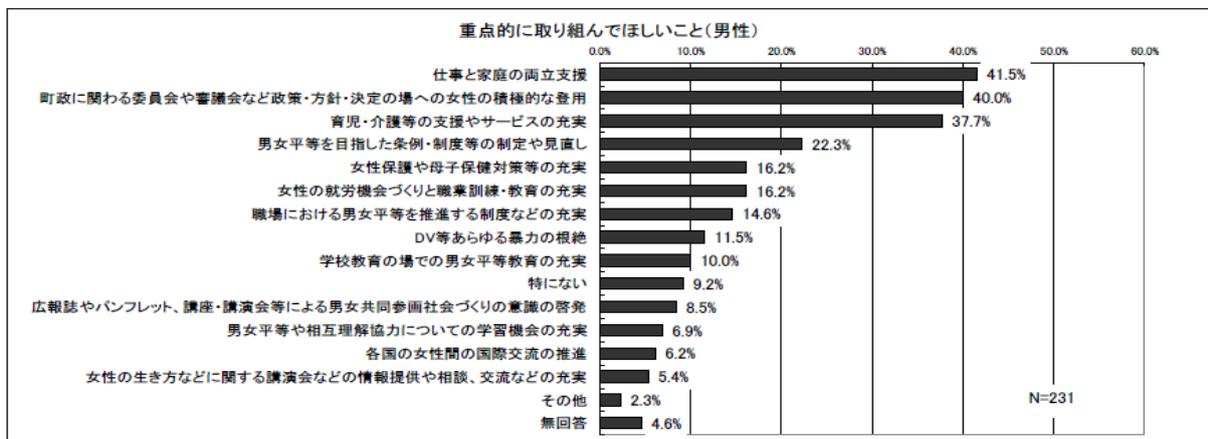
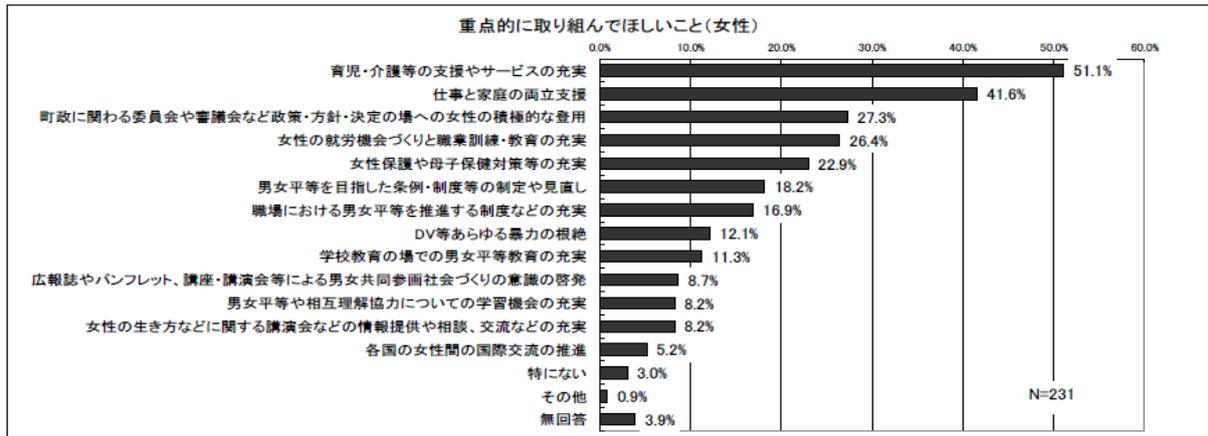
(男女がともに家事や育児に積極的に参加していくために必要なこと)

資料: 第二次北谷町男女共同参画推進計画



北谷町男女共同参画社会づくりに向けた町民意識調査

(北谷町に重点的に取り組んでほしいこと) 資料:第二次北谷町男女共同参画推進計画



米軍人等の施設・区域内外居住者数の推移(各年3月末現在)

資料:沖縄の米軍基地及び自衛隊基地(令和2年3月)

年	施設・区域内(人)	施設・区域外(人)	合計(人)
平成20年	5,893	3,223	9,116
平成21年	6,619	3,474	10,093
平成22年	6,953	3,441	10,394
平成23年	6,993	4,004	10,997

※平成24年以降、市町村別人数は公表されていない。

砂辺地域における航空機騒音の状況

年次	測定日数 (日)	ピークレベル値		騒音発生								70dB 以上の 騒音 累積時 間(秒)
		最高値 (dB)	平均値 (dB)	100dB以上 (回)	90dB以上 (回)	80dB以上 (回)	70dB以上					
							計(回)	0~7 時	7~19 時	19~22 時	22~24 時	
平成 28 年度	365 日	114.1	91.3	589	1,377	6,932	14,702	469	12,374	1,693	166	222,992
	1 日平均			1.6	3.8	19.0	40.3	1.3	33.9	4.6	0.5	610.9
平成 29 年度	365 日	114.5	92.7	1,025	2,276	9,098	17,426	553	14,664	2,032	177	226,015
	1 日平均			2.8	6.2	24.9	47.7	1.5	40.2	5.6	0.5	619.2
平成 30 年度	361 日	116.1	91.8	665	1,568	8,244	14,447	497	11,989	1,752	209	170,578
	1 日平均			1.8	4.3	22.8	40.0	1.4	33.2	4.9	0.6	472.5

民生委員・児童委員の状況(各年4月1日現在) 資料:福祉課

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和2年
民生委員・児童委員数	40	38	37	39	39	40

ボランティア団体等の状況(各年4月1日現在) 資料:社会福祉協議会

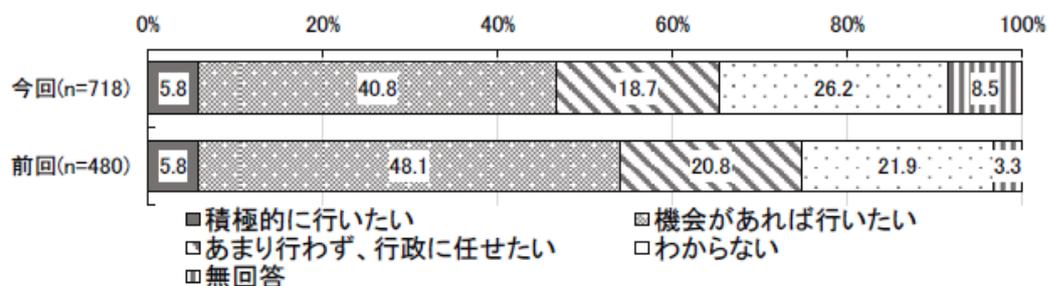
		平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和2年
グループ	団体数	25	29	33	22	20	18
	人数	774	875	843	765	689	584
個人		12	11	9	13	12	6
登録人数の合計		786	886	852	778	701	590

北谷町の未来を考えるまちづくりアンケート

(北谷町のまちづくりの取組に意見を出したり、活動したりすることについて)

まちづくりの取組への参加については、「積極的に行いたい」(5.8%)と「機会があれば行いたい」(40.8%)を合わせた『まちづくりの取組に参加したい』が46.6%、「あまり行わず、行政に任せたい」(18.7%)、「わからない」(26.2%)となっています。

前回の「積極的に行いたい」(5.8%)と「機会があれば行いたい」(48.1%)を合わせた『まちづくりの取組に参加したい』が53.9%でしたので、約7ポイント『まちづくりの取組に参加したい』が低くなっており5割を下回っています。

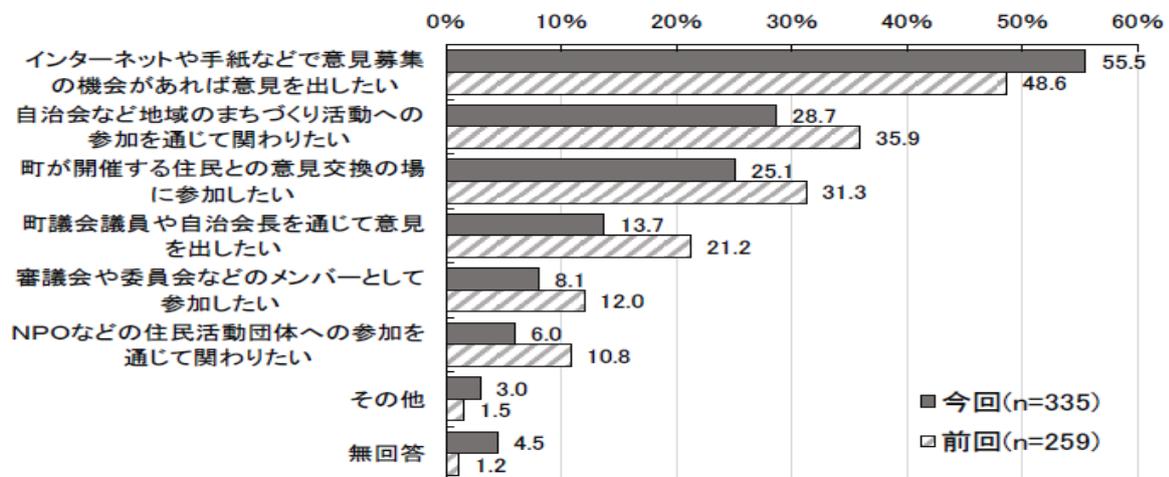


北谷町の未来を考えるまちづくりアンケート

(北谷町のまちづくりの取組に意見を出したり、活動したりすることについてどのように関わりたいか)

計画づくりやまちづくりの取組との関わりについては、「インターネットや手紙などで意見募集の機会があれば意見を出したい」が55.5%と最も高く、次いで、「自治会など地域のまちづくり活動への参加を通じて関わりたい」(28.7%)、「町が開催する住民との意見交換の場に参加したい」(25.1%)、「町議会議員や自治会長を通じて意見を出したい」(13.7%)などの順となっています。

前回と比較すると、「インターネットや手紙などで意見募集の機会があれば意見を出したい」の割合が高くなり、他は前回より低くなっています。

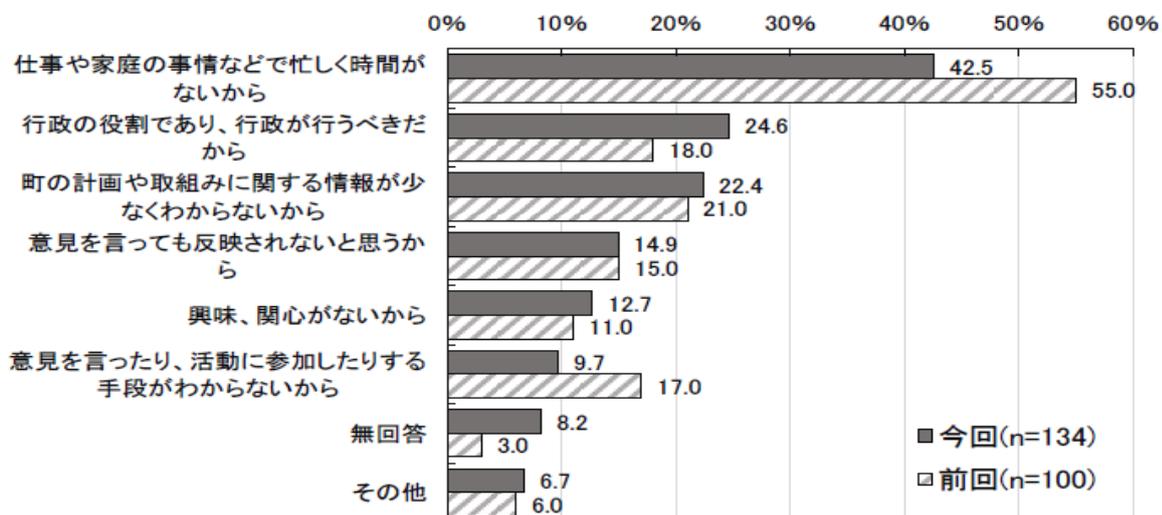


北谷町の未来を考えるまちづくりアンケート

(北谷町のまちづくりの取組に意見を出したり、活動したりすることについて関わりたくない理由)

計画づくりやまちづくりの取組に関わりたくない理由については、「仕事や家庭の事情などで忙しく時間がないから」が42.5%と最も高く、次いで、「行政の役割であり、行政が行うべきだから」(24.6%)、「町の計画や取組に関する情報が少なくわからないから」(22.4%)、「意見を言っても反映されないと思うから」(14.9%)などの順となっています。

前回と比較すると、「仕事や家庭の事情などで忙しく時間がないから」と「意見を言ったり、活動に参加したりする手段がわからないから」の割合が低くなり、他は前回より高くなっています。「意見を言っても反映されないと思うから」はほぼ同じ。

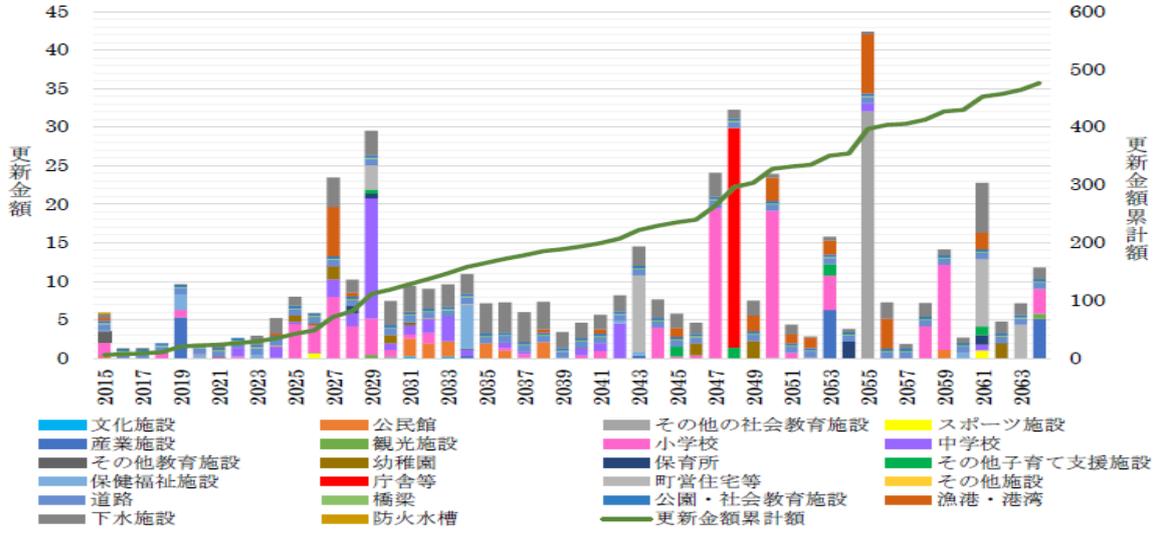


4. 公共施設（全体）に係る更新投資の試算

公共施設全体の今後50年間の更新投資を試算すると下図のようになります。耐用年数に応じた施設の建替を想定すると今後50年間で約476億円の更新投資が必要になります。

50年間の平均年間必要更新投資額は、年間約9億5千万円必要です。

図表 公共建築物とインフラ資産の年度別更新金額（単位：億円）



出典：「平成26年度固定資産台帳」

IX ワークショップの報告

I 子育て・教育・文化・スポーツ分野

強み

- 芸能好き エンタメがさかん
- 町民同士の仲は良い
- 北谷菜切 刀剣乱舞に追加された!!
- 多様性（色々な地域から来た人がいる）インターナショナル
- 住みたい人は多い
- 海が見える・子どもに良い環境・小学校の近くに無料児童館
- 児童館が無料
- 公立公民館がある。・ビーチがある。・走っていて気持ちが良い!!
- 運動施設が身近にある
- 生涯スポーツ 運動人口の増加
- ちやとれは良い施設・公園が多い
- 砂辺の海はキレイ・ソフトコーラルは沖縄でトップクラス→町民は意外に知らない。教育の資源に!!
- 未調査の所が多いのが魅力。

【特に強調された意見等】

- 多様性について焦点を当てて話すことが多い印象でした
- 職員さんの一押しは児童館が無料であること、公民館があること、でした。

弱み

[北谷町の子どもと取り巻く大人について]

- 児童・生徒の問題行動が多い!!（色々な場所から集まっているので、多様な意見が出るため、先生が困っている??）
- 元気がない感じがする（野球を教えている時に感じる）原因：勝利至上主義??
- 規律が弱い→型にはめる教育
- 大人が多様性を受け入れられない
- 子どもにも大人にも学校で教えて欲しい!
- 型にはまった教育方針（日本の課題）・高学歴だからいいわけではないのでは!?!・県立高校のICT化は?!

[生活について]

- 土地や家賃が高くて住めない、難しい!!
- 子育て世代目線で・・・家賃が高い 土地が高い 駐車場が少ない
- 全体的には住みやすいまち だけど、子育てしにくい印象

[教育体制について]

- 人材不足（ICT化による効率化をして、先生のあり方が変わりつつある・・・?）
- 家庭のネット環境がないことがある
- 子どもの声を聞いて欲しい！ 不登校児の受け入れ枠を広げて欲しい
- 「子どもの権利条約」の周知

[スポーツについて]

- 生涯スポーツをもっと推進して欲しい・スケボー少年に指導者を 場所も
- 幅広く運動指導者ができるような施設、環境が整ってない
- 北谷高校が甲子園に出ないので良い選手が町外に出てしまっている!!

[施設について]

- 公立施設を営利目的で使えない。
- 古くなった公民館を新しくして欲しい。
- 青少年支援センターの利用拡大
- 学校の施設の改善 ・和式トイレ→洋式トイレ 子どもからの要望あり 議会だよりNo.100

[情報について]

- 待機児童 保育園のことがわからない

【特に強調された意見等】

- 当初、「子どもに問題行動が多い」と課題提起されましたが、徐々に、「問題行動が多いのではなく、多様な価値観を持った子どもに対応できていないのでは？」と変化していったのが特徴的でした。それを受け、大人に対する教育もあげられていました。

機会

- インターナショナルな環境
→子どもを自由に育てているので、色々な子がいる（良い面）
→教育者にとっては、難しいかも。

【特に強調された意見等】

- こちらでも多様性があげられていました。個性の尊重や多様性の共生に焦点が当たっていました。

脅威

- 既に記載されている以上の意見はありませんでした

子育て支援の充実

【提言】

- 保育活フェア開催！
- 町内企業を優先した施策をもっと進めて欲しい。

【特に強調された意見等】

- 子育て情報を自分の足で集めるのではなく、一か所に集まって聞きたい、というニーズがありました。

幼児・学校教育の充実

【提言】

- 学びの個別化（学習方針をある程度自由に選べるように!!）
- ネット環境（W i - F i ） @家庭の充実
- 生きる力を育てる◎社会人になった後にしっかり生きる事ができるように!!
- キャリア教育
- 公園のブランコがなくなっているのが寂しい

【特に強調された意見等】

- 生きる力の醸成と、その為の環境整備について意見が多くありました。

青少年健全育成

【提言】

- 大人の学ぶ機会 教育制度などを知らない人が多い
- 発信 ちゃたんネル  YouTube マーク
- 公民館でのお祭りなど・・・イベントを SNS を使って発信する
- SNS の使い方講座!!
- 健診等のタイミングで SNS や多様性等を教育のポイント、わかりにくいことを発信する。
- ちゃたん YouTube チャンネルをつくってみては??色々な分野の情報を発信する。
- YouTube にこだわらず、動画で文化や情報を発信する。
- 発信！・情報を取り入れる。・みんなを知って、みんなに広める。

【特に強調された意見等】

- こちらまでできた ちゃたんネル は、大人の学ぶ機会の提供というようなニュアンスでした

生涯学習の振興

【提言】

- 公民館も儲けることができるように!! (使用料を取って使ってもらっては??)
- 公民館を活用した学習プログラムを増して欲しい。
- 公民館の立て替え。

【特に強調された意見等】

- 公民館が非営利でしか使えないことや、新たなプログラムを始めづらいことが課題として上がっていました。

生涯スポーツの推進

【提言】

- ドームは有料利用する団体を優先して入れて、収入を上げてはどうか? ・ スポ少などは空きに入れていく感じは??
- スポーツで生きがい!!
- サブグラウンドの管理に問題あり (北谷公園) ・ 北谷公園の管理をもっと効率的に ・ 体育館を整備して欲しい 小さくてもいい! 客席を気にしない

文化財の保全と文化の振興

【提言】

- うがんじゅ (拝所) の学習ツアーも面白いのでは??
- 文化や素晴らしさを発信する YouTube の設立
- 北谷の歴史めぐり発信*元々の北谷について知れる機会
- うちなあぐちをもっと広めて欲しい。

【特に強調された意見等】

- 先ほどとは違い、町の魅力を発信する YouTube チャンネルについて言及されていました。
- 北谷城などにも注目が集まっていました。

学びのまち・北谷

【提言】

- でーじちゃんな町
- 魅力ある町だが、もっと教育を充実させると人が増えるのでは??
- 教育の情報を発信する人を学校に 1 人専門で置いたらどうか??
- 次世代につなぐ豊かなまちづくり

【特に強調された意見等】

- 教育をし、次世代の社会を担う子どもたちにより良く暮らしてほしい。そういった意見が多く出ていました。

コンセプトの検討

- 多様性を自立するちから
- 個性の尊重 多様性の共存 自立する町民
- 新たな時代を力強く生きる
- 新たな時代を豊かに生きる
- 素晴らしいまち 北谷 チャタン ちゃたん
- (みんなの) ひとりひとりの心も体もたくましい町
- 楽しく 豊かに たくましい次世代をつくるまち
- Tough and kind

【特に強調された意見等】

- ここでも多様性が人気でした。あるいは個性の尊重など。
- 多様性の尊重や自立の先にあるのが、たくましく生きることだ、という話があり、次第に何ができる/もっている、というコンセプトより、どういう姿になるかというコンセプトに焦点が移っていきました。

分野の基本コンセプトの話し合い

コンセプトの検討でキーワードが出てくるものの、子育て・教育・文化・スポーツをまとめる言葉がなかなか見つかりませんでした

決定経過

- 「たくましく」という単語が人気でした。自立や自発的、健康、生きる力、などのニュアンスを含んでいます。
- 「豊か」は文化などについて言及しています。また、人として豊かな感性をもつ、といった意味もありました。

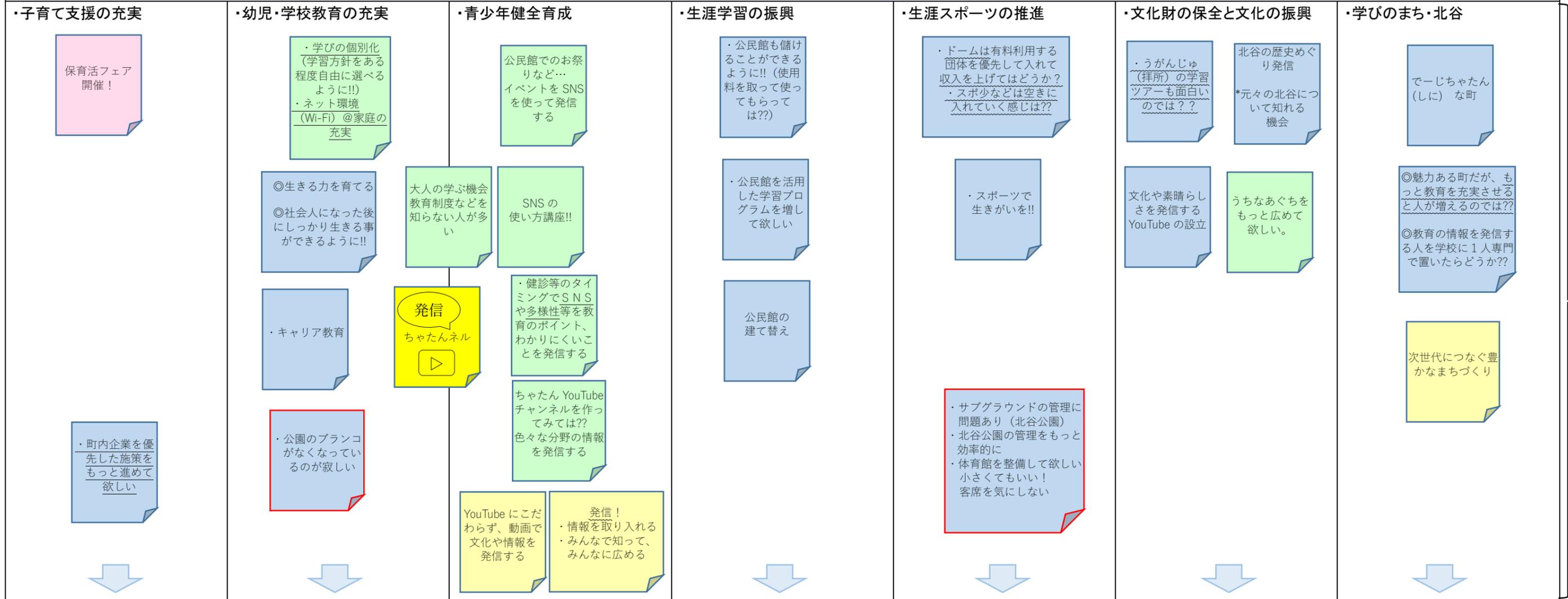
分野の基本コンセプト

たのしく ゆたかに たくましく 生きる

子育て・教育・青少年健全育成・生涯学習・スポーツ・文化・学びのまち分野の「機会」「脅威」「強み」「弱み」から施策への展開

強み (Strength)	弱み (Weakness)
<p>・第2次子ども・子育て支援事業計画 ・母子包括支援センターの設置 ・子どもの貧困対策事業の実施(子どもの貧困対策支援員の配置、学習を通した子どもの居場所(ちーたん塾)の開設) ・保育士の確保対策や職務内容の負担軽減等 ・青少年支援センターによる不登校生への学習指導の実施。 ・スクールソーシャルワーカー(2名)、心の教室相談員(各学校1名)を配置し、問題行動の減少につながっている。 ・放課後子ども教室の開設による子どもの居場所の確保 ・英語指導助手(AET)各校1名の配置 ・漢字検定、数学検定、英語検定受検料の半額補助 ・英国派遣交流事業、中高校生ハワイ短期留学派遣の実施 ・小学校における教育課程特例校として英語科の実施 ・「北谷町学びのプロジェクト」の推進 ・地域未来塾の開設による学習支援 ・生涯学習プランナーの配置による時代のニーズにあった講座の計画 ・子ども読書活動推進 ・スポーツ指導者講習会の実施 ・貴重な遺跡・埋蔵文化財等の歴史的・文化的資源・伝統芸能の存在 ・国指定史跡伊礼原遺跡整備の推進 ・自主文化事業の実施</p> <p>・多様な地域から来た人がある インターナショナル</p> <p>住みたい人は多い ・海が見える ・子どもに良い環境 ・小学校の近くに無料児童館</p> <p>児童館が無料</p> <p>・公立公民館がある ・ビーチがある ・走っていて気持ちが良い!!</p> <p>・砂辺の海はキレイ ・ソフトコーラルは沖縄でトップクラス 町民は意外に知らない教育の資源に!!</p> <p>・未調査の所が多いのが魅力</p> <p>・多様性(色々な地域から来た人がある)インターナショナル</p> <p>・児童・生徒の問題行動が多い!!(色々な場所から集まっているので、多様な意見が出るため、先生が困っている??)</p> <p>・元気がない感じがする(野球を教えている時に感じる)原因:勝利至上主義??</p> <p>幅広く運動指導者ができるような施設、環境が整っていない</p> <p>待機児童保育園のことがわからない</p> <p>・型にはまった教育方針(日本の課題) ・高学歴だからいいわけではないのでは!? ・県立高校のICT化は?!</p> <p>・子どもにも大人にも学校で教えて欲しい!</p> <p>子どもの声を聞いて欲しい! 不登校児の受け入れ枠を広げて欲しい ・青少年支援センターの利用拡大</p> <p>学校の施設の改善 ・和式トイレ→洋式トイレ 子どもからの要望あり 議会日よりNo.100</p> <p>土地や家賃が高くて住めない難しい!!</p> <p>大人が多様性を受け入れられない</p> <p>・生涯スポーツをもっと推進して欲しい ・スポーツ少年に指導者を場所も</p> <p>古くなった公民館を新しくして欲しい</p> <p>公立施設を営利目的で使えない</p> <p>規律が弱い 型にはめる教育</p> <p>・児童・生徒の問題行動が多い!!(色々な場所から集まっているので、多様な意見が出るため、先生が困っている??)</p> <p>・元気がない感じがする(野球を教えている時に感じる)原因:勝利至上主義??</p> <p>幅広く運動指導者ができるような施設、環境が整っていない</p> <p>待機児童保育園のことがわからない</p> <p>・型にはまった教育方針(日本の課題) ・高学歴だからいいわけではないのでは!? ・県立高校のICT化は?!</p> <p>人材不足(ICT化による効率化をして、先生のあり方が変わりつつある...?)</p> <p>家庭のネット環境がないことがある</p> <p>北谷高校が甲子園に出ないので良い選手が町外に出てしまっている!!</p> <p>子育て世代目線で... 家賃が高い 土地が高い 駐車場が少ない</p> <p>全体的には住みやすいまちだけど子育てしにくい印象</p>	<p>・3歳児を含めた複数年保育(3歳から5歳)に向けた、教育課程の検討及び編成 ・放課後子ども教室に携わる地域ボランティアの確保 ・特別に支援が必要な子どもたちや就学指導委員会にかけるとある子の増加 ・生活困窮世帯に対する就学援助補助制度の周知 ・町立学校給食センターの老朽化 ・母子・父子世帯の増加 ・保育の受け皿不足の解消と保育人材確保 ・放課後児童クラブの整備の遅れ ・学びのためのインターネット環境、Wi-Fi環境づくり ・町民が自由に使える体育館の確保 ・子どもの居場所の確保 ・平和ガイド等の人材育成 ・ニライセンターカナイホールの予約制度の在り方 ・スポーツによる地域振興。 ・児童生徒の体力低下 ・教育の個別化、学びの個別化 ・引きこもりの増加。 ・人材育成と育成した人材の活躍できる場所の整備 ・外国人の子どもとスポーツ少年団との連携。 ・民族伝統芸能の専門職確保 ・伝統芸能の継承 ・伝統芸能保持者の高齢化・後継者不足</p> <p>・子どもにも大人にも学校で教えて欲しい!</p> <p>子どもの声を聞いて欲しい! 不登校児の受け入れ枠を広げて欲しい ・青少年支援センターの利用拡大</p> <p>学校の施設の改善 ・和式トイレ→洋式トイレ 子どもからの要望あり 議会日よりNo.100</p> <p>土地や家賃が高くて住めない難しい!!</p> <p>大人が多様性を受け入れられない</p> <p>・生涯スポーツをもっと推進して欲しい ・スポーツ少年に指導者を場所も</p> <p>古くなった公民館を新しくして欲しい</p> <p>公立施設を営利目的で使えない</p> <p>規律が弱い 型にはめる教育</p> <p>・型にはまった教育方針(日本の課題) ・高学歴だからいいわけではないのでは!? ・県立高校のICT化は?!</p> <p>人材不足(ICT化による効率化をして、先生のあり方が変わりつつある...?)</p> <p>家庭のネット環境がないことがある</p> <p>北谷高校が甲子園に出ないので良い選手が町外に出てしまっている!!</p> <p>子育て世代目線で... 家賃が高い 土地が高い 駐車場が少ない</p> <p>全体的には住みやすいまちだけど子育てしにくい印象</p>
<p>機会 (Opportunity)</p> <p>・地域に開かれた学校づくり ・キャリア教育の推進 ・英語教育の振興 ・キャンプ瑞慶覧の返還 ・北谷城の国指定史跡の指定 ・Society5.0 社会の活用と恩恵(教育のICT化、ギガスクール環境) ・教育・生涯学習のICT化 ・知の拠点の形成</p> <p>・インターナショナルな環境 ↓ 子どもを自由に育てているので、色々な子がいる(良い面) ↓ 教育者にとっては、難しいかも</p>	<p>脅威 (Threat)</p> <p>・進学や就職での若者の流出 ・子どもの減少 ・人間関係の希薄化 ・児童虐待の増加 ・子どもの貧困対策 ・不登校の増加 ・学力の低下 ・家庭の教育力の低下 ・コミュニケーション能力の低下</p> <p>台紙に書いてある部分があらかじめ基礎調査結果から抜き出して記入しておいた部分であり、ポストイットカードに書かれている部分がグループごとの参加者の意見です。 意見は話し合いながら、最終的にはポストイットカードに書いて貼るという方法をとっています。</p>

SWOT 分析からみえる子育て・教育・青少年健全育成・生涯学習・スポーツ・文化・学びのまち分野のまちづくりの課題と施策の展開方向



・多様性を自立するちから

個性の尊重
多様性の共存
自立する町民

新たな時代を
力強く生きる

新たな時代を
豊かに生きる

素晴らしいまち
北谷
チャタン
ちゃん

(みんなの)
ひとりひとりの
心も体も
たくましい町

案1
楽しく 豊かに
たくましい次世代
をつくるまち

Tough and
kind

コンセプトの検討

たのしく ゆたかに たくましく 生きる

分野の基本コンセプト

2 産業（商工業・観光・漁業・農業）等

強み

- アメリカ人が多く行き来している
- 外国 様々な国の外国の方がよく見られる。また、その飲食店がある。
- 広い町営駐車場
- 観光・商工エリアと居住域が程良く住み分け
- 空港リムジン・高速バスの駐車場有り
- 沖縄県内で唯一の観覧車
- 内地の方、本土の方も住みやすいという意見をよく聞く。比較的移住しやすい町。
- ハロウィン・年末年始の集まりがすごい
- 花火
- 音楽 ライブが多い
- 約 1500 台の無料駐車場がある。
- 宿泊施設が充実している
- 多言語に対応した町やお店
- SNS 映えする観光スポット

【特に強調された意見等】

ポストイットに記載されていない発言

強みと弱みは表裏一体。観光・商工エリアと居住域が程良く住み分けられている事も居住地域の発展の遅れととらえることもできる。また、中部圏域の事も考えて施策提言にした

い。

- ・弱みととらえる方もいるが私は強みと思う。強みと弱みは表裏一体。
- ・総合計画の集まりなので、中部圏域の事も何かなければと思う。
- ・いい意味でオーバーツーリズム傾向でも生活圏が侵されることはなかった。
- ・商業施設も複数あり困ることはない。沖縄市はその点は弱く北谷は恵まれている。
- ・大きな駐車場があることは、活動拠点としての集客できる。

弱み

- 民間と行政の間の溝がある
- うみんちゅワーフがさみしい。
- 北谷ブランドの認知度が低い
- 北谷町が外国人の犯罪が多い傾向がある。
- 夜が暗い
- 美浜周辺の騒音 バイクなど・・・観光客のイメージ低下につながる
- アラハビーチの遊具や公共トイレの設備の老朽化
- 「北谷ブランド」の定義が定まらない
- レンタカーの危険な運転 ドライブマナー（訪日外国人の事故が多かった気がします）

- C-BUSのあり方
- 空きテナントの増加

【特に強調された意見等】

ポストイットに記載されていない発言

弱みを強みに変える施策が重要。無理なものの施策（農業振興など）は別の施策ととらえることも必要ではないか。

- ・民間と行政の間の溝について：開けていない。アラハエリアは美浜に観光客を取られている。アラハ周辺（北谷・北前）では結構集客に困っているところがある。デイイベント（昼間のイベント）でアラハのステージの使用を申請したら弾かれた。歩み寄れたら沢山のことができる。
- ・北谷ブランドとして、農産物は難しい。農業を営んでいた場所が基地になってしまった。北谷町独自の物がない。
⇒施策の「生きがい農業の振興」は必要ないのでは？
⇒生きがい。健康作りの場の場へ：市民農園の活用法を変える。
- ・漁業については、頑張っている方々をどの様にバックアップしていくかが課題。伝統漁業は継続したい。
- ・住んでいる人が犯罪を犯しているとは限らない。どこで起きているかが問題。
⇒ 外国人が多いことを、強みに変えることによって北谷町の魅力は上がる。

機会

- メディアへの露出
- モビリティエリアの確立
- スケートボードの人口の多さ
- G o T o コロナによる国内観光客
- ・リモートワーク ・ワーケーション ・デュアルライフ
- 琉球キングス・F C琉球等のプロスポーツのホームに隣接
- 県内旅行（若者）→発信力
- 鉄軌道のルートは北谷を通る（?）

【特に強調された意見等】

ポストイットに記載されていない発言

チャンス如何にとらえて生かすか。周辺の脅威（他の自治体の設備など）を北谷町を起点とした人の流れにするかが重要。

- ・全国で住みやすい街1位になった（大東建託調査）ことが他県でもニュースになるなど、メディアに露出する機会が増えていること。
- ・スケートボードの大会など県からの補助金を利用できないか。
- ・マイクロツーリズムから回していく必要がある。
- ・人の流れをどう引き込むかは大きな柱になる。

脅威

- 物価上昇
- 人口減少のフェーズに突入
- オーバーツーリズムへの配慮

【特に強調された意見等】

ポストイットに記載されていない発言

国内・マイクロツーリズムの流れに乗るためにも、国内に対するブランディングが必要。

- ・人が増えたり、観光客が増えると物価が上がるので、住んでいる人にはしんどい。
- ・中国の観光客が多かったときは、イオンなど地元の住民が行き辛かった。
- ・短時間で大量購入など上客であった。地元の人には気後れしてしまう。その時はオーバーツーリズムであるという感覚を持った。
- ・中華圏をターゲットにしたものが多かった。国内に対するブランディングができていない。

産業分野のまちづくりの課題と施策の展開方向

【特に強調された意見等】

- ①観光に軸足を置いて、水産業を振興する。農業は町民農園の拡充など産業としてとらえるのではなく町民の健康づくり、生きがいの提供の場とする。農業に適した一等地は米軍基地になっている。
- ②スポーツと音楽の組み合わせ。毎週花火がみられるのは北谷町だけ。継続的にやる事。最初にやる事が大事。北谷町は観光客のリピー率高い。自然は1回観ると満足するが、体験型の物はリピー率を生む。景観の維持も大切。
- ③コロナの影響でホテルを2～3か月のスパンで利用することが増えている。Wi-Fi環境は西海岸地域では民間による整備がなされているが、公共の施設にはない。物理的に人を動かす道路・鉄軌道と情報を動かす為のネットワークが必要。
- ④観光・商工エリアと居住域が程良く住み分けられている現状を居住エリアまで人を呼び込み産業振興を図るべきか。
- ⑤県内の他の自治体と同じことをするのではなく、広い視野で役割分担的に力を入れる。沖縄のアリーナの集客は北谷町に宿泊客を呼ぶこととなる。移動のための道路整備が必要となる。
- ⑥観覧車は民間の物であるが、シンボリックなランドマークとなっている。美浜のメディアステーションに県内で一番大きなスタジオがあるが知られていない。映像を産業として活用できないか。
- ⑦歴史は作れないもの。遺跡・伝統芸能など西海岸との対比となる活用を考える。
- ⑧サーフィンなど西海岸エリアで町民も簡単に体験できる様になると住みやすさにつながる。

提言

商工業の振興

スケボーや音楽イベントの定期開催

モバイルWi-Fiの貸し出し
通信環境の整備
景観の維持

商工業の振興&水産業の振興

リモートワークによる地方移住の増加
移動手段の整備

水産業の振興

養殖場を作る

生きがい農業の振興

広げる 増やす
産業としての農業から。生きがい。健康の場へ

跡地利用の推進

伊礼原遺跡と北谷城 観光教育
駐車場

就業者への支援

コワーキングスペースをつくる
ビジネスマッチングの機会を作る
転出・働き口確保のため、企業誘致
高齢者への就業支援も必要
情報提供
広報活動
グッチョブ
登録制度

コンセプトの検討

【特に強調された意見等】

- ①住みやすさと観光による発展は両立することが必要。住み辛くなっては嫌だ。
- ②今の成功を踏まえて新しいコンセプトにする。留まっていれば負けてしまう。
- ③「多様性」は入れたい。「アップグレード」は延長線上のイメージ。「創造」は新しいもの。

住んでも訪れても素晴らしいまち

理想的な観光都市

みらい輝く 成長し続けるまち

絶えずアップグレードして行くまち

向上心あふれる 挑戦し続ける町

多様性に富みながら進み続けるまち 発展し続ける
自然を感じエネルギーなまち
多くの希望を背負い飛躍する町
多様性と共に輝きつづけるまち
バランス
観光の中心
夢あふれる人が集い、発展するまち
アクティブに変化し続けるまち
オシャレで洗練された夢見るまち
古い 新しい
新しい「今」を創造していく町
多様性と共に新しい時(今) を創造するまち

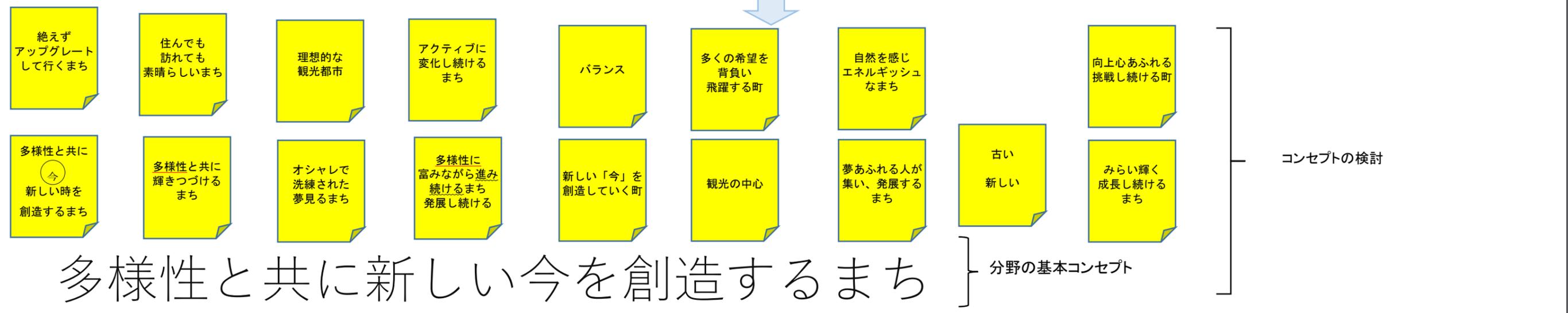
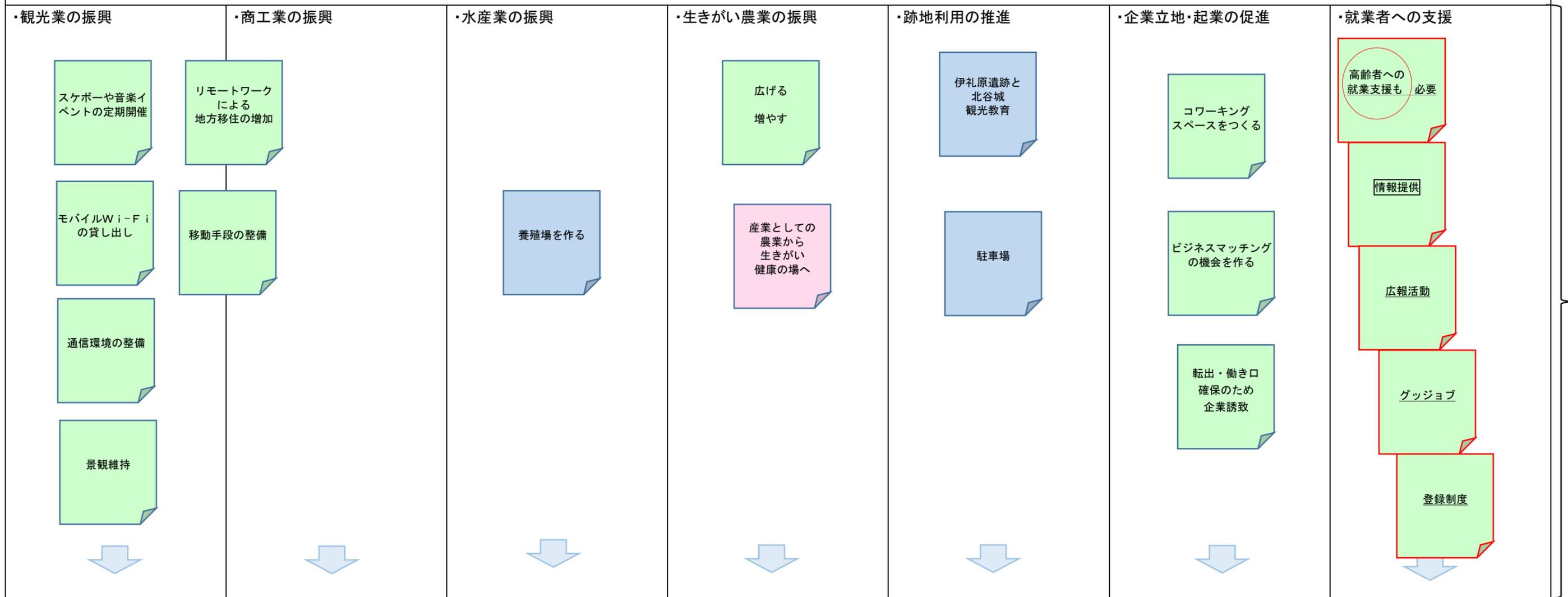
分野の基本コンセプト

多様性と共に新しい今を創造するまち

観光業・商工業・水産業・生きがい農業・跡地利用・企業立地・起業・就業者支援分野の「機会」「脅威」「強み」「弱み」から施策への展開

強み (Strength)	弱み (Weakness)
<p>・北谷町西海岸地区の快適な環境づくり条例 ・本島中部の主要観光地域(美浜アメリカンビレッジ地区、北谷町フィッシャリーナ地区) ・宮城・砂辺海岸におけるダイビングやサーフィンなどのマリアクティビティの充実 ・サンセットビーチ・アラハビーチ ・広大な水平線に沈む夕日などダイナミックな自然景観 ・リゾートホテル等多様な形態の宿泊施設が集積したエリア ・外国人観光客にも対応した観光案内所(日本政府観光局認定) ・町公式の観光ポータルサイト「北谷日常」による情報発信 ・ちゃたんブランドの創設 ・民間事業者と連携した北谷エンターテイメント推進連携体(北谷町・観光協会・商工会・民間事業者2団体)として、人材育成事業(プロデューサー・音響・照明)を実施 ・商工会と共に経営改善を行い、経営の円滑化を図った小規模事業者への融資の返済利子の半額を支援する制度を創設 ・中日ドラゴンズのキャンプ地 ・水産業と観光・レクリエーション等のマリノ産業が融合した交流拠点「フィッシャリーナ整備事業」が完了 ・生きがい農業の振興としての町民農園の整備 ・キャンプ桑江北側地区の「職住近接型の賑わいと自然環境が調和した中心市街地の形成」 ・事業所数及び従業者数の増加 ・公益社団法人北谷町シルバー人材センターの活動</p> <p>花火</p> <p>アメリカ人が多く行き来している</p> <p>外国様々な国の外国の方がよく見られる また、その飲食店がある</p> <p>音楽ライブが多い</p> <p>約1500台の無料駐車場がある</p> <p>広い町営駐車場</p> <p>内地の方本土の方も住みやすいという意見をよく聞く比較的移住しやすい町</p> <p>宿泊施設が充実している</p> <p>観光・商工エリアと居住域が程良く住み分け</p> <p>ハロウィン年末年始の集まりがすごい</p> <p>多言語に対応した町やお店</p> <p>SNS映えする観光スポット</p> <p>空港リムジン高速バスの駐車場有り</p> <p>沖縄県内で1つの観覧車</p>	<p>・象徴的なブランドの確立 ・戦跡や国指定史跡伊礼原遺跡など町内に点在する歴史資源や、エイサー・綱引きなどの伝統芸能をはじめとする文化資源を活用した観光振興 ・観光資源の高付加価値化(多様な地域資源を組み合わせたストーリーづくり) ・観光消費額の増加 ・マーケティングに基づくエンターテイメントやスポーツ・ツーリズムなどの観光コンテンツの創出 ・観光客が色々な場所へ行き来を楽しめるような移動手段の確保 ・観光客の安全性の確保 ・町民・観光事業者・行政などの各主体が連携したおもてなしの充実 ・シーポートちゃたんカーニバルの在り方の検討 ・新規イベントの開催、景観の演出 ・駐車場機能の強化・利便性の向上 ・地域に根差した商店街の活性化 ・製造業の規模が小規模 ・モノづくり産業の育成 ・北谷ブランドにつながる素材づくり ・未利用・低利用の漁港施設用地 ・水産業の生産力の向上と担い手の育成 ・つくり育てる漁業への転換・振興 ・都市農業の継続と農地の保全 ・美浜メディアステーションの利活用の方向性 ・観光業を支える新たな産業の創出</p> <p>W</p> <p>夜が暗い</p> <p>北谷ブランドの認知度が低い</p> <p>北谷町が外国人の犯罪が多い傾向がある</p> <p>美浜周辺の騒音バイクなど…観光客のイメージ低下につながる</p> <p>アラハビーチの遊具や公共トイレの設備の老朽化</p> <p>「北谷ブランド」の定義が定まらない</p> <p>レンタカーの危険な運転 ドライブマナー(訪日外国人の事故が多かった気がします)</p> <p>民間と行政の間の溝がある</p> <p>うみんちゅワーフがさみしい</p> <p>C-BUSのあり方</p> <p>空きテナントの増加</p>
<p>機会 (Opportunity)</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックの開催 ・サンセットビューライン構想の推進 ・サンセットビーチの改良工事 ・北谷のエンターテイメント創出拠点の整備 ・「中城湾港クルーズ促進連絡協議会」への参画 ・「知の拠点」の形成 ・キャンプ瑞慶覧の返還後のまちづくり ・北谷城の国指定史跡の指定 ・米軍基地の返還 ・「観光振興地域制度」、「情報通信産業振興地域」等の各種支援制度 ・通り会(任意団体)が「全国はばたけ商店街30選」を受賞 ・商工会会員が年々増加し、商工会の加入率が県内上位 ・桑江伊平土地区画整理事業地内に有する町有地(約6,000㎡)の利活用 ・沖縄県女性就業・労働相談センターとの連携 ・沖縄中部勤労者福祉サービスセンターの活用</p> <p>メディアへの露出</p> <p>モビリティエリアの確立</p> <p>スケートボードの人口の多さ</p> <p>GoTo コロナによる国内観光客</p> <p>リモートワーク ワーケーション デュアルライフ</p> <p>琉球キングス F C 琉球等のプロスポーツのホームに隣接</p> <p>県内旅行(若者) ↓ 発信力</p> <p>鉄道のルートは北谷を通る(?)</p>	<p>脅威 (Threat)</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックの中止 ・イベントに伴う渋滞・騒音等 ・オーバーツーリズムへの配慮 ・新型コロナウィルス感染症拡大による観光客の減少 ・引きこもり、8050問題への対応 ・外交問題によるインバウンドの減少</p> <p>T</p> <p>物価上昇</p> <p>人口減少のフェーズに突入</p>

SWOT 分析からみえる観光業・商工業・水産業・生きがい農業・跡地利用・企業立地・起業・就業者支援分野のまちづくりの課題と施策の展開方向



3 居住環境・道路・交通・土地利用・上下水・災害・消防・救急・防犯・交通安全・消費者保護・自然環境・景観の保全・循環型社会・環境衛生分野

強み

- 無人走行 車輛の推進 延伸
- 夜景きれい！
- おうちほしい人多い
- C－BUSを観光客にも利用してもらって、町全域を知ってもらう
- 海岸沿いをゆっくり、散歩できるルートが整備されている（歩きやすい、他の県内市町村よりは）
- 町の半分近くの基地が、これから使う計画の対象になる
- 雰囲気が良い
- 再生可能エネルギーのポテンシャルある
- 西海岸側の観光施設×2
- 観光客が多くにぎやか（来訪者を引き付ける魅力がある）
- 密集してない 緑ある 景色もいい！
- 計画いっぱいある（実効性大切！）
- 衣食住等のことがすべて町内で足りる（買い物、楽しみ、医療）
- 自動運転の実証実験もできるまち
- 東側は閑静な住宅
- スーパーが多い（買い物しやすい環境）
- 海が近い アクセスいい ちゃんと北から南へ見える（潮風に当たりたい！当たれる！）

【特に強調された意見等】

- 東部と西海岸とでそれぞれの魅力があり、住みやすいと話されていました。
東部：適度にスーパーもあり、住むのに良い。高低差があり、西海岸の夜景がきれい。
西海岸：商業施設があり楽しい。観光地としてだけでなく、地元の人も行ける施設。
- 色々な要素を話す上で、観光に依存しすぎない自立した町なのではないか、という話しも出ました。
- 自動運転の実証実験なども積極的に実践できる・しようとする町の姿勢があり、柔軟な町なのではないか、という投げかけに対して、確かに、と町の姿勢について改めて納得もいただいたように感じました。

弱み

- 公園が老朽化していて利用できる遊具が少ない（計画的に修繕して欲しい）
- 基地内に入れない
- 低体重児の発症率が高い

- 色々なまちづくりの計画がある… 周知が課題！
- 漁港をもっと公共的な使い方ができないか（歩行者、自転車NW）
- 夜間徘徊する少年たちの夜の居場所がない（非行抑制）
- 北玉区の数百段の階段が米国人のレクリエーション施設化されてしまっていて、違法駐車が多い。付近住民が困っている
- 謝苺交差点の100%渋滞 環境問題
- 地域防災・防犯の一般町民の参画（みんなでやる必要・もちまわりするなど）
- 交通安全のための標識・表示の明確化及び英文化 消えかけ English 外人さん
- 美浜を車で通る時観光客が景色（観光）などに集中していて、車も行きかっているから車と人との距離が近くてトラブルにつながりかねない
- 公共交通ネットワークの充実・利便性の向上 一般の方も
- 町道×町道の渋滞がひどい（右折がない交差点が多い）
- 小学校の送迎渋滞が多い・（特に雨の日）
- 環境保全の具体的プランの可視化 見える化 わかりにくいからどれを？海道路 省エネ
- （コロナ前）レンタカーが多く開発と合わせて、レンタカーを抑制が必要では（バス、自動車の利活用）
- 学校前の送迎車の駐車での混み
- バス停に照明がない
- 自然と住宅が混在したまちづくり
- 深夜の飛行機？の騒音。
- 東西を結ぶ道路が少ない→交通渋滞→基地返還の促進。新たな道路整備
- 生活インフラの具体的整備計画の青写真が見えにくい（見える化してほしい）全体像 上下水道改修など、道路
- 地球温暖化防止実行計画に基づく具体的な取組 可視化
- 東側地域（高台）と西側地域（海側）が基地（キャンプ桑江）で分断されていて、役場前道路1本では少ない
- 空き屋ある
- Cバスのさらなる利用・活用
- 観光客含めた情報把握できていない。
- 広報ちゃん手元に届かない（全戸配布？と思っていた）
- 美浜以外（住宅地）（謝苺から上）の街灯が少なく暗い。
- 基地があるゆえの借地問題。*大きい土地借りる。亡くなる。家 あき家
- 観光客含めた避難計画とかない。

【特に強調された意見等】

- 交通渋滞を起点に、自動車生活からの脱却についてなど環境問題にも広げてお話しが広がりました。基地の返還で東西道路が1本増えたが、3本しか道路がなく、東西道路の脆弱性を皆さんお話しされていました。
渋滞①小学校への送り迎えによる学校周辺の駐停車による渋滞

渋滞②南北の大きな渋滞。(南北の渋滞については、観光客のレンタカーが大きく関与)
渋滞③南北と接続する東西道路の交差点あたり？

- 学校への送り迎えは原則ダメなはずが、逆に送り迎えがスタンダードになっていることが指摘され、歩いて楽しく通学できるような工夫(健康にもつながる)、バス利用のメリットなどを周知して、バス利用の促進を促すことで、環境負荷の少ないまちづくりにもつながるのではないかと、基地返還は弱みを解消する機会になる、など話しが広がりました。
- 観光客が3万人程度、基地の人が5000人いる、というお話しで、観光客の正確な情報を把握できていない。津波等の災害時に、観光客を含めた防災視点が重要というお話しもできました。
- 計画はたくさんあるが、結局、それらがどうなっていくのか、住民にはよくわからないので、1つのイメージとして具体的に見えるようにしてもらえると良いなどの話しも特徴的でした。

機会

- コロナの時は渋滞なかった！
- 環境変化による 考えるチャンス
- 美浜(陸上競技場前)にある風力発電
- 伊礼原遺跡有効活用
- 博物館の設置計画
- +αで特徴あるまちづくり 誇りあるまちづくり うりをつくる!!
- コミュニティバスの普及進むと地球にやさしいかも！
- エコタウンの機運高まればチャンス
- 基地返還
- 町を電子化(電子マネー ペイペイ やってないからこそ!!)

【特に強調された意見等】

- 機会を利用して、町が目玉、特徴となるようなことができないか、などポジティブな意見が広くかわされた印象を受けます。
- 「特徴ある町づくり」をしていく必要があると、意見が色々出ました。
基地返還によって地域課題の克服、伊礼原遺跡有効活用や、博物館の設置計画などそれらを起点としたまちづくり、環境に配慮したまちづくり(エコタウン)、観光客(国際化)も見据えて、町の電子化を進めるなど。

脅威

- 化学物質等による水質汚染(基地から)
- 交通事故のリスク、高いやも
- 琉球海溝地震及び周辺地域・国との起因とする津波リスク

【特に強調された意見等】

- 基地からの化学物質等による水質汚染(低体重児の発症が多いなどの要因?)について、皆さん、改めて衝撃を受けていらっしゃいました。しかし、排他的な感覚ではなく、ではどうしていくか、という前向きな姿勢で意見を言われていました。
- 大きな地震が想定されることを改めて認識し、地域が参画した防災への取組の必要性などが皆さんで話しをされていました。行政任せではなく、地域が一緒になって、参加・参画することが重要との意見でした。
- 基地の返還をプラスと捉え、その開発等を「弱み」(地域課題)の解消へつなげていけないか、いけるのではないかとポジティブで一つの課題に対して、一つの解決策ということではなく、複合的な

横断的な考えを展開されていました。

その後、施策の欄に貼られたポストイットカードを見て、それぞれ書いてください。

全体

【提言】

- 無線 LINE 広報 専用ダイヤル活用 など情報発信・情報共有の多様なツール必要性
- 人の集まる場を生かして参加。参画意識の醸成>(*参画推進。活動につなげていく前ステップ)
- LINE などの情報発信ツールを有効活用。IT 推進
- 高齢者を守るシステムが認知症の人には役に立ってない(防災?)設備の前の問題
- コロナで人こいしさ実感!!住民の参加・参画につなげる。チャンス
- スマート(スーパー)シティの実現

【特に強調された意見等】

- 各分野によらず、全体に必要なこととしてご意見ができました。
- IT 化を推進し、LINE などの情報発信ツールを有効活用して、様々な方法で情報発信・アクセスできるようにする必要があるのではないかというご意見ができました。(住民・観光客へ)
- 設備だけでなく、やはり人が集まり、情報交換できる場があることで、人がつながり、地域活動が広がっていくとの話しが多数出ていました。地域のことは地域の人が参加・参画することで、盛り上げていけるということを強調されており、住民自身も自立した町を目指しているというお話しでした。

居住環境の向上・町営住宅整備

【提言】

- 公園の整備 ←遊具なくてもよい。色々な公園(緑化)

【特に強調された意見等】

- 遊具はなくても、周辺との公園のすみわけで、ある公園、ない公園があってもいいのではないか。(緑地でもいい)公園があることで住環境の向上につながる。子育て世代も喜ぶ。

道路・交通ネットワークの充実

【提言】

- 交差点にひさしを作る。+緑で作る。*歩くまちづくり（CO2減 渋滞解消 ↑車の転換）*緑化 景観推進
- 健康ポイント制（健康アプリ）*歩かせて渋滞解消
- 歩いて楽しいまちづくり*渋滞解消（素敵な標識づくり 道端ステッカー）
- 車線を増やす際、バスレーンにしてバスの優先度をあげ自家用車からの脱却*渋滞解消、CO2減、交差点の渋滞対策 町道の右折帯の設置等
- 基地跡地。（交通結接点パーク&ライド）

【特に強調された意見等】

- 車社会からの脱却などの視点からバスへの転換、歩くまちづくりへの転換について話しが広がりました。環境にもつながると複合的な話につながっていきました。歩くを想定したまちづくりでは、暑さを想定して、緑化でひさしをつくるなど、1つで複合的な要素をもつようにしたらいいのではないかと、との話になりました。

適切な土地利用の誘導

【提言】

- 適正な土地利用。東西の良さを生かすまちづくり チャンス!!
- 博物館を中心としたまちづくり R5（歴史文化発信）
- 住みやすい・にぎやか東西 魅力を生かしたまちづくり 両面があってよい!

【特に強調された意見等】

- 何か目玉を起点にしたまちづくりをして魅力を高めたり（シビックプライドの向上）、東西の双方のまちの良さを活かしていく事が重要との話しになりました。

上下水道の整備適切な土地利用の誘導

【提言】

- 計画の見える化 生活インフラ

【特に強調された意見等】

- 計画はあるけれど、住民にはよくわからないので、どんな計画なのか、複数ある計画が重なるとうなるのか、など見える化してほしいというような話しになりました。（共有・イメージしやすいといい）

災害対応・消防・救急

【提言】

- エリアメール 多言語化
- 町民の方のサポート必要性→基地・学校と連携した避難訓練！
- 避難誘導を（150箇所）多言語つける。（R3やる。）Step 1 命の危険から逃げる。
- 要配慮者含めた避難・救援を考える必要がある。
- 観光客含めた避難訓練の実施

【特に強調された意見等】

- 観光客の方を含めて考える視点があり、皆さん、観光客の方を含め、色々とお話しをされていました。その際にも、行政だけでは限界があると思うので、住民がどれだけサポートできるのか、日ごろから色々想定して訓練等もしていく必要がある、などの積極的なご意見が出ていました。

防犯・交通安全

【提言】

- バス停のソーラーパネル照明を
- 照明つける（街灯）*ソーラーでとか
- 地域活動とのマッチングによる居場所づくり*徘徊若者対策
- ナイトパークで居場所づくり 見回りしちゃうとか。*若者徘徊
- 公民館を夜間も開いて居場所づくり。*徘徊若者対策
- 学校の前だけでも・交通規制・道路構造の工夫ランプをたくさん設置する

【特に強調された意見等】

- 安全面でいうと、暗い箇所があるとのことで、これらもただ、街灯をつける、ということではなくエコや防災上の観点からソーラーパネルの照明などの意見がでました。
- 若者の夜間徘徊も結構問題で、どう居場所づくりをしていくか、という話して地域の活動に参加させたり、既存施設を柔軟に開放し、地域の協力を得ながら運営することで、子供たち居場所づくり、安全を守れないか、とのお話しになりました。

消費者保護

【提言】

- 手法の検討!!①情報弱者②その他 情報共有方法 声かけ
- 情報弱者への情報提供
- 徒歩通学の推奨

【特に強調された意見等】

- まずは情報をどのように消費者（特に高齢者などの情報弱者）に届けるかの手法を色々検討する必要があるとの話しになりました。ツールだけでなく、人と人のつながりでの情報共有は不可欠では、との話になりました。

自然環境・景観の保全

【提言】

- まちなかのちょっとした緑化+モニュメント。点在するだけでも景観としてgood!!*景観向上*参画機会+住民参加 参画

- 無電柱化 美観
- 緑・木陰の整備
- 道路・交通ネットワークの施策と重複 1つぶで2倍!!

【特に強調された意見等】

- 1つの課題に対して、1つの対策ではなく、複合的に解決していく事が良いのでは、という話しができました。緑化については、面的な整備だけでなく点在させることで町全体の景観づくりにもつながり、事業も大きくなくてもすむのでやりやすいではないか、また、住民参加・参画のきっかけにもなり、集いの場づくりにも良いのではとの話になりました。
- 緑化は歩くまちづくりを想定した際に、日差しをさけるためにも有効で、景観・自然にも寄与し、とてもいいとお話しになりました。

循環型社会の形成

【提言】

- エコタウンエリア設置して色々社会実験
- エコタウン構想（まちづくり）

【特に強調された意見等】

- SDGs、世界の気候変動もあり、環境問題については取り組んでいくべき。それをまちづくりの起点できないか、エリアを決めて、先進的に取り組んでいくのもいいのではないか、など自動運転の実証実験等を踏まえ、環境に対するチャレンジをしてもいいのではないか、というご意見もできました。

環境衛生の向上

【提言】

- 町なか周辺の空家。みつけたり、困ったら相談できる体制ある。 どう活用するか
- スポーツごみひろい+BBQ+おまけ！ポイントインセンティブ
- ゴミ拾いのボランティアを学校に持ち掛ける。(出来たら景品付き)

【特に強調された意見等】

- 空き家の問題は、空き家自体の把握はできる（問題になるのは住宅地内）。基地の借地であることが問題でもあり、借主がいなくなり、放置される…誰が管理するのか追いきれないことがあることが問題とのことで、なかなか具体の案がでませんでした。みなでDIYなどできれば、それも集まる場となり、良いのではとご意見できました。
- ゴミ拾いなどをイベントとして開催し、観光客も含めて開催してもいいのではないかとのご意見もできました。これらも健康ポイントのように、点数化したりすると参加がより進むのではないかとのご意見でした。

【コンセプトの検討、分野の基本コンセプトの話し合い、決定経過、結論】

- 参画・参加・輪が広がる。
- 住んでよし、訪れてよし。車に頼らなくても。
- 海 sea エメラルド 色、色々
- やること大切
- つながる つなぐ

- “丸ごと”“みんな”観光客 多世代 内・外
- 老若男女が生き生きと（情報格差など小さくする）
- 先進都市
- 自然（緑・海）あふれる
- 誰もが（観光客忘れない）
- 再生 実験都市 スーパーシティ スマートシティ
- エコちゅらタウン
- 持続可能・サステイナブル・未来につなぐ
- まじゅん（一緒に）
- 快適な生活環境と未来へとはばたくエコタウン
- 若者も元気
- ちゅら！
- 緑あふれる（豊か）・自然あふれる（豊か）
- 民度が高い
- シビックプライド高い

現状、とても住みやすい町であること（東西のまちの魅力がある）、それに加えより一層の住民の参加・参画（一緒に）、というのと、みんな（観光客含めた老若男女）というのが軸としてあり、自然あふれる環境に配慮した町であることなどを盛り込みたいとの話して進みました。

町の特徴を考えるに当たり、方言や色のイメージなども考え、単語・イメージからコンセプト等を出していきました。

【結論】

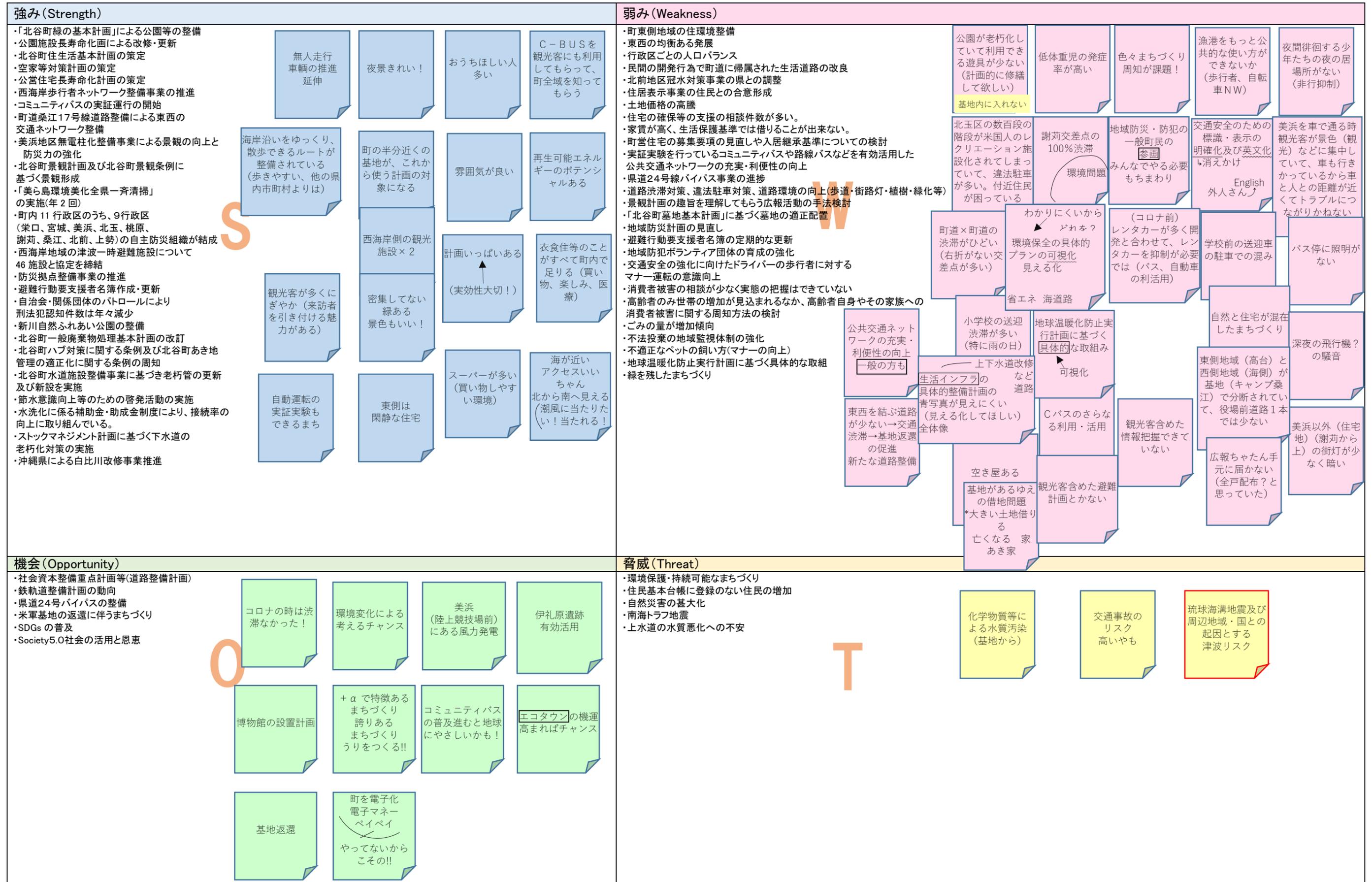
（みんな一緒に）まじゅん 未来につなぐ エコ美らタウン

【特に強調された意見等】

“みんな”を方言で表現、持続可能であること、エコであること、今まで受け継いできたこのまちを未来（若者たち）につないでいく、という想いを込めたいとのことで、この結論になりました。

…みんな一緒につくる、エコ、未来につなげる（持続可能、若者につなげていく）、美しい町

居住環境・道路・交通・土地利用・上下水・災害・消防・救急・防犯・交通安全・消費者保護・自然環境・景観の保全・循環型社会・環境衛生分野の「機会」「脅威」「強み」「弱み」から施策への展開



全体にかかること

無線 LINE 広報 専用ダイヤル 活用

人の集まる場を生かして参加参画意識の醸成 参画推進 (*活動につなげていく前ステップ)

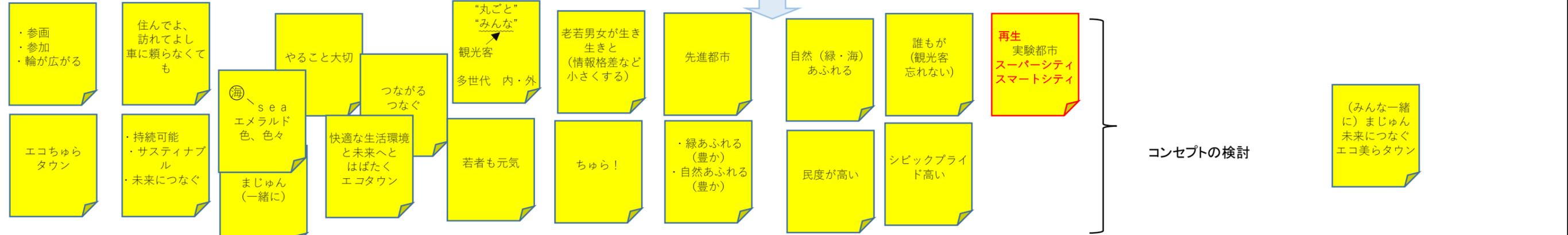
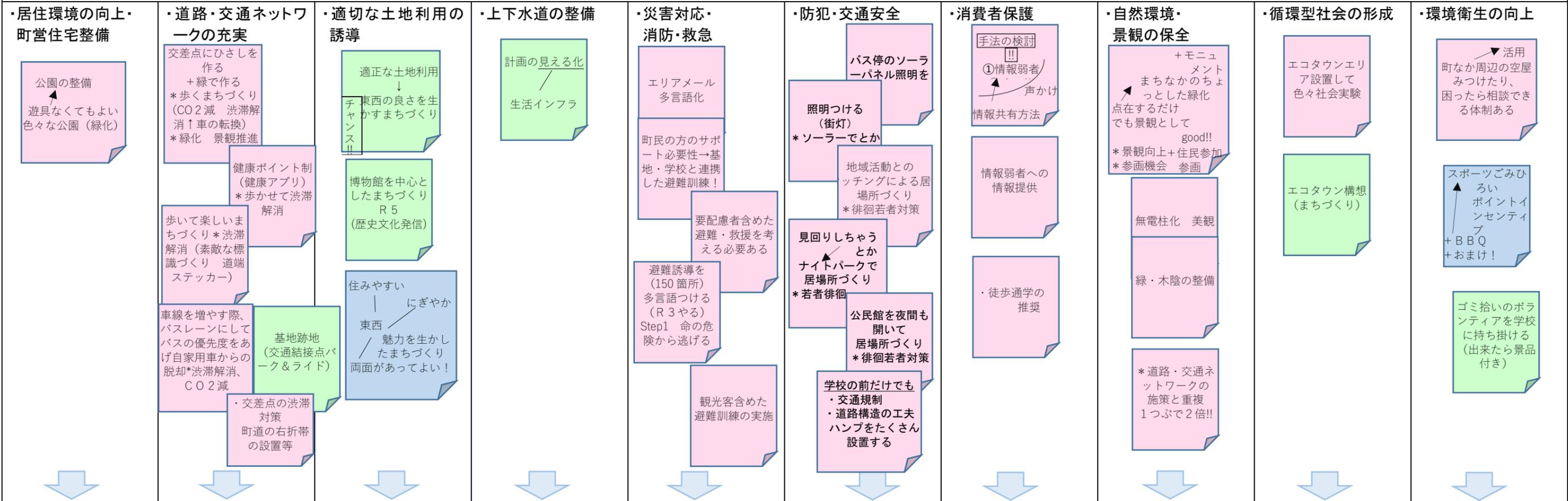
LINE などの情報発信ツールを有効活用 IT 推進

高齢者を守るシステムが認知症の人には役に立っていない (防災?) 設備の前の問題

コロナで人こいさ実感!! 住民の参加・参画につなげる。チャンス

スマート (スーパー) シティの実現

SWOT 分析からみえる居住環境・道路・交通・土地利用・上下水・災害・消防・救急・防犯・交通安全・消費者保護・自然環境・景観の保全・循環型社会・環境衛生分野のまちづくりの課題と施策の展開方向



(みんな一緒に) まじゅん 未来につなぐ エコ美らタウン } 分野の基本コンセプト

4 健康づくり・地域福祉・高齢者・障がい・生活困難者・社会保障分野

強み

- 各自治会に拠点となる公民館がある
- 美浜地区等多くの企業の地域貢献
- オーガニックショップがある。→健康活動につなげたい
- 社会問題やまちづくりへの意識の高い町民がいる
- 区長がとても関わりやすい人柄で色々な話ができる。
- 外国人の方が多いため、国際感覚が身につけやすい。(英語・中国語などなど)
- 美しい海がきれい！→これを利用した地域活動に →海で海外の方とも交流している
- 国保・後期高齢者医療 被保険者全員を人間ドック費用助成対象としている。
- 不要な学用品(制服、体操着等)を集めて必要な人に配っている
- 町民・町内皆さんやさしい
- 西海岸の夕日 そこに集う外国の方、子どもたち、若者、障がい者たちの心のふれあい、気遣いがある
- 高齢者が比較的少なく、医療費が他市町村より低い
- 福祉施設(介護)が利用しやすい。けど?→不要なサービスを受けている方もいる)

【特に強調された意見等】

- 自然な助け合いや地域資源についてちゃんと把握したうえで話されたことが特徴的でした。特に北谷町の人に関する事、例えば社会問題やまちづくりへの意識の高い町民や外国人に関する事を強みと自覚している印象でした。

弱み

- 道が少なく、災害時の対応が難しい
- 自治会加入率の低下
- 地域交流を増やしたい。
- 地域での関わり方に差がある。
- お隣、近所との交流が薄い。
- 日常的なコミュニケーションの場の確保。緊急事態が起きた時の対応
- 予防接種(インフルエンザ)の無料化がない
- 観光業に力を入れすぎていて、他の産業が育っていない
- 緊急事態が起きた時の対応
- ひとり親世帯も多い
- 若い方々の福祉ボランティアの育成をして、その方々が活動できる仕組みができていない。
- お金に頼らない(お互いに助け合い分かち合う)仕組み作り。
- 食に対する意識が低い
- PFAS(PFOS あるいは PFOA)による水質汚染から町民の健康を守る仕組みが欲しい
- 障がい者の方との関わり方を教育(学校の中から)変える。当たり前と共に学べる環境づ

くり。

- 情報が入ってこない。
- 感染症発生状況の情報公開
- ボランティア活動者の高齢化
- 地域に福祉の関わり方が必要である
- 検診受信者が毎年同じ方が受診している。未受診者の掘り起こし
- 子どもや高齢者、障がい者などすべての人が安心して安全に暮らせるまちづくり
- 行政と地域が集まれる福祉の拠点が必要
- 個人情報保護法案が壁となり、支援を必要とする人のことが、わかりにくい
- 高齢者の経験を次世代に継承できる仕組みが欲しい

【特に強調された意見等】

- 地域の実情を踏まえた弱みについて話されたことが特徴的でした。特に民生委員さんからの意見は的を射ている印象を受けました。
- 北谷町の行政的な情報が町民になかなか行き届いていないこともあるという意見もあり、町民への情報発信のあり方には課題があると感じ、またもったいないと感じました。

機会

- 町民が集まり、意見交換できる仕組み（できれば北谷町議会議員を含める）
- SNSを活用しての情報配信
- 保健センターの利用 ボランティアの育成
- 誰もが人権を守られる仕組み
- 公民館が個人で来ても、いつでも使用できるようにすると、集いの場所になるのでは。高齢者はおしゃべりをする事で、元気になると思う。
- 自然栽培を多くの人を楽しめる仕組み（土をさわる）
- 教育現場での人権意識を高める仕組み

【特に強調された意見等】

- 人権に関する課題意識（弱みには記載していませんが）から機会として出された意見になると思います。
- 地域活動の中心を公民館にしていくという視点で公民館の意見は出ていたかと思います。
- SNSを活用しての情報発信は弱みで出された、北谷町の行政的な情報が町民になかなか行き届いていないという点の対応策につながるかと思いますので具体的な施策につながるかもしれません。

脅威

- 個人情報の一元化
- 引きこもり支援⇒顕在化した時は・・・!!
- 人口減少（地元・町民）
- 憲法で保障されている自由権を侵害されないか心配
- 脅威 福祉（行政）に頼りすぎてします⇒自分（家族）でがんばることも大切

- キャッシュレスの推進により、いつ、どこで、誰が、何のために、いくらお金を使ったのかをA Iで一元的に把握される
- 8050 問題になる前に隣り近所からの通報がない。
- 救急車の利用をよく考えたからにしてほしい。

【特に強調された意見等】

- 個人情報、憲法、キャッシュレスについては政府の政策が人権無視につながるのではないかと懸念でした。
- 引きこもり、8050 問題が福祉分野の脅威として本質的なところにあたるかと思えます。
- 人口減少自体は北谷町の現状から必ずしも課題とは言いきれませんが、将来的にありえる課題と捉えた方がいいと思えます。

健康づくりの推進

【提言】

- カルフォルニア州における日本食品の売られ方参考にして食品を販売する
- 農薬、化学肥料、添加物、遺伝子組み換え、ゲノム編集による健康被害の周知
- 自然栽培の野菜の推進（←差額分を町が負担）
- 定期予防接種や健康検診など対象者に早めに知らせお知らせする。（ラインなど）
- 北谷町オーガニック タウン（オーガニックエリア）を作る ・農業に力を入れる
- ポイント制を導入して検診をする
- 北谷町食生活改善推進協議会 各公民館との交流を活動にして欲しい。 町民への情報
- P F A S の水質汚染から町民を守る為、R O膜浄水器設置の助成金

【特に強調された意見等】

- 食の観点から根本的な健康づくりをしていくという視点の意見が多く上がった印象です（この辺りの意見は事前に考えてきた意見で、S W O Tからの流れとは関係なく挙がっています）。
- 行政、地域活動の視点からはポイント制、北谷町食生活改善推進協議会は導入しやすい内容だと思います。

地域福祉の推進

【提言】

- 日々起こる小さな悩みや困りごとを区民同士の助け合いで解決
- 公民館で勉強会（子どもも集まれる）
- サバイバル術を教育で教える
- 楽しみながらボランティア育成
- 公民館に小さな図書館を作る（子ども向けの図書も）
- ホテル等の地域資源で災害時に対応する

【特に強調された意見等】

- 公民館を中心に子どもも含めた地域活動をしていくという視点で意見が出されました。
- 災害等の緊急時への対応という観点から、地域資源であるホテルの地域資源の活用、いざという時のサバイバル術という提言がありました。

高齢者福祉の推進

【提言】

- 思い出ノートの活用（認知症予防）
- 保育所と老人施設を合わせ、双方の心にとって良い環境づくり
- 高齢者の方が講師となり、人生の学びや成功・失敗談などを次世代へ繋げる。(知識など)
- コミュニティバスの改善（ルート改善）
- 行政区を増やして高齢者が歩いて移動できるように

【特に強調された意見等】

- 高齢者を支えるという視点だけではなく、高齢者が生きがいを持って自立的に生きていける視点で意見が出されました。

障がい福祉の推進

【提言】

- 障がいに関する勉強会
- 障がいの有無に関わらず、当たり前で学べる環境づくり（差別の意識を子どもたちに植え付けない）
- コミュニティバスの改善（ルート改善）

【特に強調された意見等】

- まずは障がいに関して知り、分け隔てなく交流していくという視点での意見が出されました。
- コミュニティバスの改善は高齢者と同様に自立的に生きていけるようにということです。

生活に困難を抱える人の支援

【提言】

- ホームレスを含め実数の把握。
- 廃棄予定の食べ物を公民館で配給
- 生活に困難な人への支援の正確な情報提供
- 空き物件を町営住宅にして提供・フードスタンプ
- コミュニティバスの改善（ルート改善）
- ベーシックインカム（地域通貨でもいい）
- ホテルやスーパーのフードロス支援に回す仕組みづくり

【特に強調された意見等】

- 生活困窮者が実数としてどれだけいるのかという疑問から実数把握の意見は出ました。
- 生活困窮者は食に困っている一方フードロスも北谷町内で存在し、ホテルやスーパーの前で支給することは難しいため公民館で実施してはどうかという意見が出ました。

社会保障制度の周知・相談

【提言】

- SNSの情報発信
- 定期予防接種や健康診断など対象者に早めにお知らせする。(ラインなど)
- ワンストップ窓口の設置
- なんでも相談窓口を設置して適切な支援先に繋げる。
- 行政、民生委員等が集まれる場所づくり

【特に強調された意見等】

- 機会が挙がったSNSの情報発信を提言としても活用し、ラインなどでも情報発信をと
いう流れでした。
- とにかく相談先がわからない、分野横断的に福祉課題を解決するという観点から窓口設
置の意見が挙がりました。

コンセプトの検討

- 自由・人権・安心・安全
- 誰もが安心して自由に望んだ人生を送れる
- 助けがすぐそばにあるまち
- 家族・家庭を大事に 福祉は足元から
- サポートの拡充
- ネットワークの強化
- 尊重 大切
- すべての個性を受け入れ尊重し、分かち合えるやさしいまち
- すべての人の個の輝きがつながり、生きる楽しみのあるやさしいまち
- 支え合いの心を育む
- 生きているのが面白いと感じるまち ・分かち合い、助け合い
- 色々な個の輝きがつながる 生きる楽しみのあるまち
- お年寄り、大学生、子どもたちが一緒に時間を過ごす場所 共に生きる場所をつくる

【特に強調された意見等】

- 「SWOT、施策提言を踏まえてキーワード単位で意見を出してほしい」と伝えたところ、上記の意見が出ました。人権や自由や個性にこだわりが強い人がいて、多くの意見が出ました。(福祉というより他分野に関わってくる内容なのでこの点はあまり深掘しないようにしました。)
- 「支え合い」や「分け隔てなく」というキーワードが出てくるものの、まとまりませんでした。

分野の基本コンセプトの話し合い

コンセプトの検討でキーワードが出てくるものの、短文でかつ的を射た良い表現というのがなかなか出てこず、煮詰まった感じがありました。文章としてまとめた意見もありましたが、ちょっと弱い意見となりました。

決定経過

残り数分で「あなたは」というワードは他分野でも重複せず使用できそう、また「北谷の宝」という表現と組み合わせると「分け隔てなく」という意味合いも出てくるため採用という経過になりました。

結論

あなたは北谷の宝です

健康づくり・地域福祉・高齢者・障がい・生活困難者・社会保障分野の「機会」「脅威」「強み」「弱み」から施策への展開

強み (Strength)	弱み (Weakness)
<p>「第2次健康北谷21計画 後期計画」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> がん検診(胃がん、肺がん、大腸がん)の自己負担無料化、子宮頸がん、乳がん検診の自己負担無料化 特定健診受診率向上及び生活習慣病重症化予防対策として、町内医療関係機関及び各自治会との連携強化 住民が主体的に健康づくりを実践できるよう、各種健康教育・保健指導を実施 モデル地区において健康づくり推進部の結成 おたふく風邪、高齢者肺炎球菌ワクチンについて、行政措置予防接種として公費で実施 自殺対策計画の策定 地域包括ケアシステムの構築に向け、「在宅医療 介護連携推進事業」「認知症施策推進事業」「生活支援体制整備事業」「地域ケア会議推進事業」等の事業を推進している。 認知症初期集中支援チームの設置 高齢者の歩いて行ける拠点としての公民館整備 新たな担い手として活動する高齢者の増加 発達障害児の保護者向けにペアレント・トレーニング事業を実施 地域活動支援センターたんぼぼにおいて、清掃活動や図書館等の公共施設利用、精神科病院での交流会等、利用者の社会参加促進を図る活動が行われている。 生活困難者に対する相談窓口として、パーソナルサポートセンター中部による就職・生活出張相談窓口を開設 <p>・社会問題やまちづくりへの意識の高い町民がいる</p> <p>各自治会に拠点となる公民館がある</p> <p>美浜地区等多くの企業の地域貢献</p> <p>外国人の方が多い為、国際感覚が身につけやすい(英語・中国語など)</p> <p>美しい海がきれい! →これを利用した地域活動に→海で海外の方とも交流している</p> <p>区長がとても関わりやすい人柄で色々な話ができる</p> <p>不要な学用品(制服、体操着等)を集めて必要な人に配っている</p> <p>町民町内 } 皆さん やさしい</p> <p>・オーガニックショップがある →健康活動につなげたい</p> <p>国保 後期高齢者医療被保険者全員を人間ドック費用助成対象としている</p> <p>美しい海がきれい! →これを利用した地域活動に→海で海外の方とも交流している</p> <p>西海岸の夕日 そこに集う外国の方、子どもたち、若者、障がい者たちの心のふれあい、気遣いがある</p> <p>高齢者が比較的に少なく、医療費が他市町村より低い</p> <p>福祉施設(介護)が利用しやすいけど? (→不要なサービスを受けている方もいる)</p>	<p>新たな感染症の発生に備えた体制整備の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定検診受診率、がん検診の受診率が目標に届いていない 関係各課及び関係団体等との連携による包括的・一体的な健康づくり支援体制 メタボリックシンドローム該当者、予備群者の存在 壮年期層への健康支援として職域、その他団体等との連携 行政、地域住民、各団体等が積極的に関わる福祉の担い手づくりとして活動できるよう、相互に助け合い、誰もが安心して暮らすことができる環境づくり 公共施設等のバリアフリー化、高齢化に対応したまちづくり 介護予防と保健事業の一体化した高齢者の健康づくり 介護人材の減少が見込まれる 住民同士の支え合いの体制づくりの推進 高齢単身世帯の増加 要介護認定等の増加・認知症の増加 介護予防サポーター、認知症サポーターの育成 障害への理解促進、啓発活動の取組が十分ではない 障がい者への合理的配慮の必要性 誰もが相談しやすい窓口の整備 障害者支援について誰でも必要な情報を得ることができるようなツールが必要 生活困難者の増加 国民年金納付率、国民健康保険税収率の向上 介護保険制度の周知 <p>道が少なく、災害時の対応が難しい</p> <p>自治会加入率の低下</p> <p>地域交流を増やしたい</p> <p>日常的なコミュニケーションの場の確保 緊急事態が起きた時の対応</p> <p>お隣、近所との交流が薄い</p> <p>地域での関わり方に差がある</p> <p>ひとり親世帯も多い</p> <p>情報が入ってこない</p> <p>若い方々の福祉ボランティアの育成をして、その方が活動できる仕組みができていない</p> <p>・お金に頼らない(お互いに助け合い分かち合う)仕組み作り</p> <p>予防接種(インフルエンザ)の無料化がない</p> <p>・食に対する意識が低い</p> <p>観光業に力を入れすぎていて、他の産業が育っていない</p> <p>障がい者の方との関わり方を教育(学校の中から)変える 当たり前と共に学べる環境づくり</p> <p>PFAS(PFOS あるいは PFOA)による水質汚染から町民の健康を守る仕組みが欲しい</p> <p>子どもや高齢者、障がい者などすべての人が安心して安全に暮らせるまちづくり</p> <p>感染症発生状況の情報公開</p> <p>ボランティア活動者の高齢化</p> <p>地域に福祉の関わり方が必要である</p> <p>検診受信者が毎年同じ方が受診している 未受診者の掘り起こし</p> <p>行政と地域が集まれる福祉の拠点が必要</p> <p>個人情報保護法案が壁となり、支援を必要とする人のことが、わかりにくい</p> <p>高齢者の経験を次世代に継承できる仕組みが欲しい</p>
機会 (Opportunity)	脅威 (Threat)
<p>人生100年時代</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の延伸 健康意識の向上 医療技術・ICT化の推進 ボランティアや助け合いの意識の向上 <p>町民が集まり、意見交換できる仕組み (できれば北谷町議会議員を含める)</p> <p>SNSを活用しての情報配信</p> <p>保健センターの利用 ボランティアの育成</p> <p>誰もが人権を守られる仕組み</p> <p>公民館が個人で来ても、いつでも使用できるようにすると、集いの場所になるのでは。高齢者はおしゃべりをする事で、元気になると思う。</p> <p>・自然栽培を多くの方が楽しめる仕組み(土をさわる)</p> <p>・教育現場での人権意識を高める仕組み</p>	<p>医療費の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化の進行 社会保障費の増加 認知症の増加 景気の後退による失業・所得の減少 8050問題の発生 <p>個人情報の一元化</p> <p>引きこもり支援 ⇒顕在化した時は...!!</p> <p>人口減少(地元・町民)</p> <p>・憲法で保障されている自由権を侵害されないか心配</p> <p>脅威 福祉(行政)に頼りすぎてしまう ⇒自分(家族)でがんばることも大切</p> <p>キャッシュレスの推進により、いつ、どこで、誰が、何のために、いくらお金を使ったのかをAIで一元的に把握される</p> <p>8050問題になる前に隣近所からの通報がない</p> <p>救急車の利用をよく考えたからにしてほしい</p>

SWOT 分析からみえる健康づくり・地域福祉・高齢者・障がい・生活困難者・社会保障のまちづくりの課題と施策の展開方向

・健康づくりの推進

- ・カルフォルニア州における日本食品の売られ方を参考にして食品を販売する
- ・農業、化学肥料、添加物、遺伝子組み換え、ゲノム編集による健康被害の周知
- ・自然栽培の野菜の推進（←差額分を町が負担）
- ・定期予防接種や健康検診など対象者に早めにお知らせする（ラインなど）
- ・北谷町オーガニックタウン（オーガニックエリア）を作る
- ・農業に力を入れる
- ポイント制を導入して検診をする
- 北谷町食生活改善推進協議会各公民館との交流を活動して欲しい町民への情報
- ・PFASの水質汚染から町民を守る為、RO膜浄水器設置の助成金

・地域福祉の推進

- ・日々起こる小さな悩みや困りごとを区民同士の助け合いで解決
- ・物々交換による地域交流
- ・物の貸し借りができる仕組み作り
- 公民館で勉強会（子どもも集まれる）
- サバイバル術を教育で教える
- 楽しみながらボランティア育成
- 公民館に小さな図書館を作る（子ども向けの図書も）
- ホテル等の地域資源で災害時に対応する

・高齢者福祉の推進

- ・思い出ノートの活用（認知症予防）
- ・保育所と老人施設を合わせ、双方の心にとって良い環境づくり
- ・高齢者の方が講師となり、人生の学びや成功・失敗談などを次世代へ繋げる（知識など）
- ・コミュニティバスの改善（ルートの改善）
- 行政区を増やして高齢者が歩いて移動できるように

・障がい福祉の推進

- 障がいに関する勉強会
- ・障がいの有無に関わらず、当たり前前に学べる環境づくり（差別の意識を子どもたちに植え付けない）
- コミュニティバスの改善（ルートの改善）

・生活に困難を抱える人の支援

- ・ホームレスを含め実数の把握。
- 生活に困難な人への支援の正確な情報提供
- コミュニティバスの改善（ルートの改善）
- ・ホームレスを含め実数の把握。
- ・空き物件を町営住宅にして提供
- ・フードスタンプ
- ・ベーシックインカム（地域通貨でもいい）
- ・ホテルやスーパーのフードロス支援に回す仕組みづくり

・社会保障制度の周知・相談

- SNSの情報発信
- ワンストップ窓口の設置
- 定期予防接種や健康診断など対象者に早めにお知らせする（ラインなど）
- ・なんでも相談窓口を設置して適切な支援先に繋げる
- 行政、民生委員等が集まれる場所づくり

施策の提案

- ・自由
- ・人権
- ・安心
- ・安全
- ・誰もが安心して自由に望んだ人生を送れる
- ・助けがすぐそばにあるまち
- （家族）家庭を大事に福祉は足元から
- サポートの拡充
- ネットワークの強化
- 尊重
- 大切
- すべての個性を受け入れ尊重し、分かち合えるやさしいまち
- すべての人の個性の輝きがつながり、生きる楽しみのあるやさしいまち
- 支え合いの心を育む
- ・生きているのが面白いと感じるまち
- ・分かち合い、助け合い
- 色々な個性の輝きがつながる生きる楽しみのあるまち

コンセプトの検討

あなたは北谷の宝です }

分野の基本コンセプト

お年寄り、大学生、子どもたちが一緒に時間を過ごす場所共に生きる場所をつくる



5 平和・基地・人権尊重・男女共同参画・協働・行財政運営分野

強み

- 平和への意識↑
- 全部の行政区に公民館がある。
- 女性の働く場所が多い。
- 施設が揃っている。
- 駐車場が多い。
- 異文化交流ができる。

【特に強調された意見等】

この分野は平和や基地に関するテーマが特徴であり、強みの意見でも特に平和や基地に関する意見が多かった。北谷町では、戦争や平和に関する講演会等を行うなど、子どもたちへの平和教育が盛んであり、平和への意識が高くなっている。また、基地のあるまちとのことで、基地内における異文化交流（部活でのスポーツ交流・フェスティバル等）ができるのではないかと、そしてそれを強みにできないか等の意見があった。

また、男女共同参画に関して、女性の働く場所は比較的多い（観光のまちとしてのサービス業等）との意見があった。また、「出席簿は男が先で女が後」というのが男性上位との意識を植え付けかねないとのことから、「男女で区別しない出席名簿」を学校で導入しており、子どもの頃から男女共同参画の意識醸成を図っているのが強みであるとの意見があった。

弱み

- 基地周辺の交通渋滞。
- 基地があるがゆえに事件・事故が多い。
- 土地・家賃が高い。
- 南国独自の怠けんぼー。
- 本土と沖縄という意識がある。
- 男女間のトラブル。
- 治安に不安がある※アルコールの入った米軍の方に会うと怖い。
- 景観が悪い。
- 情報リテラシー。
- 伝統芸能が弱い（行政区関わらず、町全体でふれる機会が少ない）。

【特に強調された意見等】

この分野では、「弱み」に関する意見が一番多かった。特に基地に関することでは、「強み」や「機会」よりも「弱み」に関する意見が多く出された。

基地周辺の交通渋滞が弱みとして意見が出された。北谷町では、県の基幹道路である国道58号が町を縦断しており、通勤時や帰宅時等は町の中央に位置する米軍基地関係者の通勤・帰宅の車両もあわせて慢性的な交通渋滞が発生している現状である。また、基地があるがゆえの事件・事故も多くなっている。特に挙げられたのが、男女間のトラブルであり、大きなニュースにはなっていないものもあるが、米軍関係者と交際関係にある地元女性とのトラブル等の相談があるとのことである。基地や米軍はネガティブなイメージがあり、このようなトラブルがあっても被害者が相談しにくく、実態としては、このようなトラブルはもっと多いとの意見があった。さらには、基地と町を隔てているフェンスによる景観の悪さが、町の弱みであるとの意見があった。

人権尊重に関する意見で、「本土と沖縄という意識」の問題が挙げられた。沖縄では本土出身者を「ナイチャー（内地の人）」という言い方をする。特に差別をしているとの意識は現地の人はないというが、町の本土出身者は「区別されている」との意識を感じるという意見があった。この「本土と沖縄という意識」は町（ひいては沖縄県）の弱みであるとの意見であった。

男女共同参画に関する意見では、南国独自の怠けんぼー（なまけもの 特に男性）の問題が挙げられた。これは、町独自としてというよりは沖縄県全体の産業がサービス業に偏っており（第1次産業就業者割合 全国26位 第2次産業就業者割合 全国最下位 第3次産業就業者割合 全国2位 平成27年国勢調査）、また、島国であることから容易に他県へ働きに行くということが困難であるという特性上、一度失職すると再就職が難しいということから、安易に就職していない（または正規職員ではない）ことが「なまけもの」とすることは地域特性上断定することは適当でない場合もあると考えられる。

機会

- 異文化交流※学校などで外国語の先生とふれあう。
- 職業（基地内）。
- 公営住宅。
- 返還跡地の利用。
- 高度医療を作る 観光も兼ねて来沖する方が増える。
- ベースの中を自由に行き来する。

【特に強調された意見等】

米軍基地（または基地関係者）を利用した機会づくりの意見が多かった。「強み」でも意見があった異文化交流や基地内における就職等である。米軍基地職員は、給与・手当、休暇制度、退職手当などから“準公務員”的といわれ、人気の高い就職先であり、英語やPCを使えても民間企業では受け皿がなく、就職できなくても、米軍基地でそのスキルを活かせる「機会」がつかれるのではないかとの意見があった。また、返還跡地の利用について、商業地利用、

住宅地利用等、意見があったが、キャンプ瑞慶覧には「北谷城」が含まれており、今後の整備次第では、観光資源として大きな「チャンス（機会）」があると考えられる。

そのほか、行財政運営分野関連では、高度（先進）医療に対応できる医療施設をまちにつくることにより、観光も兼ねて来沖する方が増えるのではないかと、との意見もあった。

脅威

- 家賃が高くて若い人達が住みづらい。
- 国際情勢の影響を受ける。
- 医療の発達→人を呼ぶ。
- 住居がない。
- 地元の人離れる方が多い。
- 西と東の意識の差。

【特に強調された意見等】

家賃が高くて若い人等が住みづらいとの意見があった。これには県内他市町村に加え、他県からの人口流入、米軍関係者の町への居住等が要因のひとつであると考えられる。町の人口は減少傾向である一方、世帯数は増加傾向であることが家賃の高さを反映しているといえる。

また、基地があることにより、国際情勢の影響を受けやすいことが「脅威」として挙げられた。2001年9月11日にアメリカのニューヨークで同時多発テロがあった際には、夜中でも戦闘機が飛行し、また、基地入口周辺では軍関係者による警戒体制などテロ対策強化が行われ、住民の生活に大きな影響が出た。

平和の推進

【提言】

- 異文化交流の機会
- 異文化多文化共生

【特に強調された意見等】

部活動や学校の文化祭等での交流など、軍関係者などとの異文化交流の機会をつくる。そのことにより、基地があることを強みにし、交流により多文化の共生を図り、平和を推進する。

基地問題への対応

【提言】

- 外国人向けの相談窓口

【特に強調された意見等】

米軍関係者による事件・事故、特に男女間トラブル等は相談しにくい。基地問題に特化し

た相談窓口が必要である。

人権尊重の意識啓発

【提言】

- 情報収集・情報発信

【特に強調された意見等】

特に町内に住む県外出身者の情報収集、また情報発信が必要である。お互いの“区別されている”という意識を解消することが大切である。

協働

【提言】

- スポーツ交流

【特に強調された意見等】

住民と行政が一体となり、協働してまちづくりを行うことが必要である。協働の際には、スポーツ交流などについて米軍関係者も含めた取組ができれば良い。

行財政運営

【提言】

- 地元割（家賃）
- 観光税導入

【特に強調された意見等】

地元住民への高騰する家賃対策として、家賃の地元割を行い、支援を行うことによって町外への人口流出を防ぐ。また、今後の行財政運営として、観光税の導入を検討して頂きたい。

コンセプトの検討

- 様々な出会い（異文化）
- 笑顔でふれあい、異文化交流で相互を認め合う個性あふれるまち
- 世界を学べる町（体験できる）
- 進化を愛するまち
- 多文化が交わり 個性あふれるまち
- 豊かな心 ふれあう街 平和なふるさと 北谷町
- 違いが交わるまち
- 経済豊かなまち
- 誰もが認められるまち
- 海の青さが好きだ 北谷の平和
- 共に認め合い 多文化が交わる 開かれたまち

- 尊重
- みんなで育む 北谷のみらい
- 誰一人として取り残さない
- みんな違って みんないい
- 笑顔
- 平等
- 己生 こせい
- ボーダーレス
- 認め合う
- やさしさあふれる 北谷のまち

【特に強調された意見等】

コンセプトを決めるにあたっては、キーワードを決めることを話合った。コンセプトを見ただけで、この分野が「平和・基地・人権尊重・男女共同参画・協働・行財政運営」分野であることがわかるコンセプトとしたいとの意見が出た。平和や基地・人権・男女・協働などは特に様々な個性を連想させ、これが「多文化を認め合う」とのキーワードとして皆意見が一致した。そして、基地がなくなった時（または有効活用できた時）、差別がなくなった時、男女の完全な平等が達成できた時、皆での協働が図られた時、平和が訪れるとのことで「平和」もキーワードとなった。

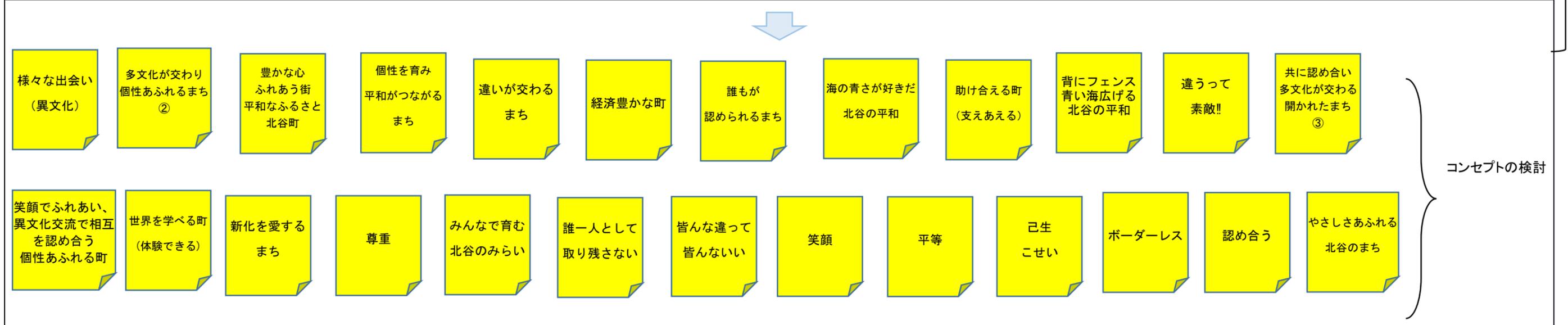
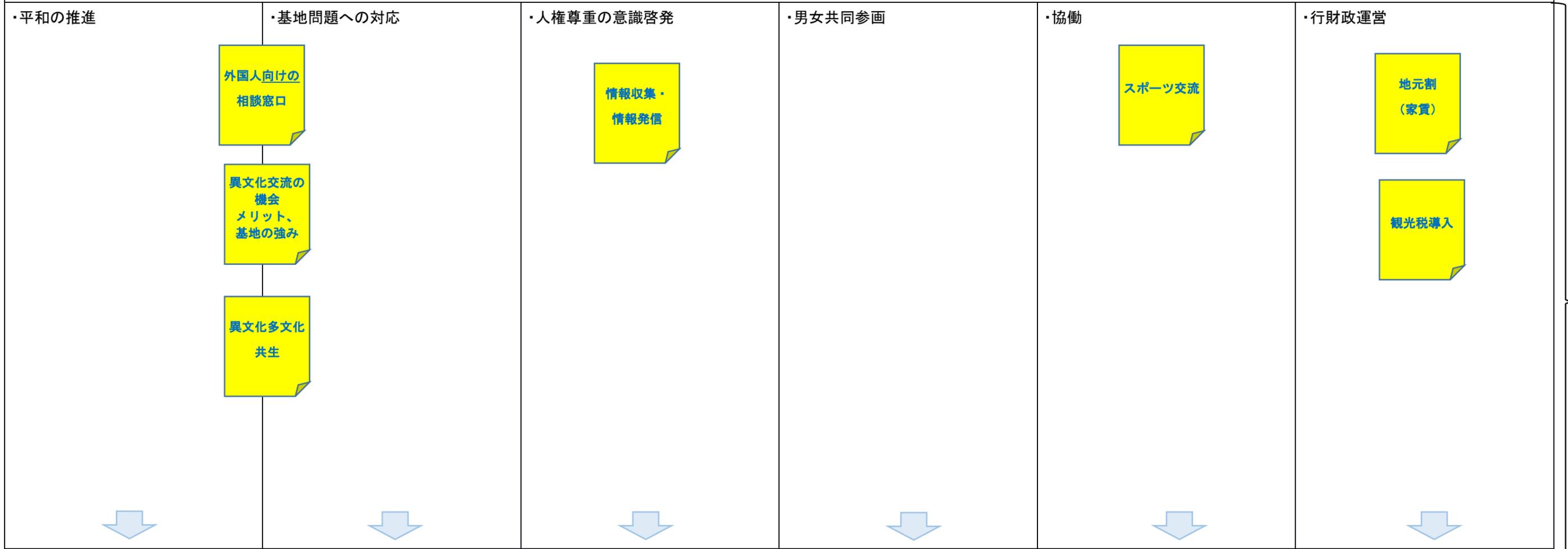
分野の基本コンセプト

笑顔でふれあい 多文化を認め合う 平和を愛するまち

平和・基地・人権尊重・男女共同参画・協働・行財政運営分野の「機会」「脅威」「強み」「弱み」から施策への展開

強み (Strength)	弱み (Weakness)
<p>平和推進事業や平和交流活動を実施</p> <p>憲法講演会の開催、各学校で、平和教育月間や旬間を設定</p> <p>平和事業を継続的に実施し、平和に関する意識を高める取組、平和教育</p> <p>「英国相互交流事業」、「ハワイ短期留学派遣事業」、山形県最上広域市町村圏との児童交流(主催:中部広域市町村圏事務組合)による国内外交流の推進</p> <p>「北谷町男女共同参画推進条例」(ちやたんハーモニー条例)の制定</p> <p>「人権・行政・町民無料法律相談」の実施</p> <p>成年後見制度等の普及や利用の促進</p> <p>外国語による情報誌の発行やホームページによる情報提供</p> <p>「北谷町まちづくり町民会議」との協働</p> <p>行政懇談会の隔年開催</p> <p>「(仮称)協働のまちづくり推進条例」の制定検討</p> <p>ホームページ管理システムの更新、外国語対応</p> <p>倉浜衛生施設組合はごみ・し尿処理等、比謝川行政事務組合は消防業務等、中部広域市町村圏事務組合は広域観光・スポーツ・交流事業等、介護保険業務は沖縄県介護保険広域連合、後期高齢者医療は沖縄県後期高齢者医療広域連合にて事務の共同処理</p> <p>パブリックコメント手続に関する要綱の制定</p> <p>財政力の高さ</p> <p>S</p> <p>平和への意識↑</p> <p>全部の行政区に公民館がある</p> <p>女性の働く場所は多い</p> <p>施設が揃っている</p> <p>駐車場が多い</p> <p>異文化交流ができる</p>	<p>基地面積が町域面積の51.6%を占める</p> <p>米軍基地内の戦跡地についての保存</p> <p>米軍基地から派生する騒音発生</p> <p>米軍基地から派生する有害物質、廃油、赤土等による環境汚染</p> <p>米軍基地の存在によって派生する軍人・軍属等による事件・事故等</p> <p>若い世代の平和意識の関心</p> <p>教職員の平和教育への理解向上</p> <p>町全体での平和の大切さの発信</p> <p>英国派遣への男子生徒の参加促進</p> <p>海外との様々な分野の交流活動や住民と外国人住民の交流の場の設定</p> <p>「仕事の内容面での男女差がある」</p> <p>「子育て支援企業」の推奨、独自の認定制度</p> <p>差別解消地域協議会及び職員対応要領に関する調査研究</p> <p>障害者・高齢者虐待への対応の体制整備</p> <p>外国人住民への相談対応</p> <p>自治会への加入促進、地域活動の情報提供</p> <p>自治会、子ども会、青年会、婦人会、老人会、ボランティア団体、NPO等との連携強化</p> <p>各種情報提供の充実と情報提供の工夫</p> <p>スマート自治体づくり(デジタル化への対応)、情報リテラシーの向上支援</p> <p>行政のワンストップサービスの向上</p> <p>行政評価と住民参加(総合計画のPDCA)</p> <p>公共施設の老朽化・総合的管理</p> <p>自主財源の確保、クレジットカード決済を含めた納付方法の検討</p> <p>W</p> <p>伝統芸能が弱い(行政区関わらず、町全体でふれる機会が少ない)</p> <p>南国独自の怠けんぼー</p> <p>本土と沖縄という意識がある</p> <p>男女間のトラブル</p> <p>情報リテラシー</p> <p>土地・家賃が高い土地がない</p> <p>基地があるがゆえに事件・事故が多い</p> <p>＜基地＞交通渋滞</p> <p>治安に不安がある ※アルコールの入った米軍の方に入ると怖い</p> <p>＜米軍＞ゴミ(大)犬</p> <p>景観が悪い</p>
<p>「嘉手納飛行場に関する三市町連絡協議会(三連協)」をはじめとする関係機関等との連携強化</p> <p>日米地位協定の抜本的改定</p> <p>国によるデジタル化の推進</p> <p>Society5.0 社会の活用と恩恵</p> <p>沖縄IT情報戦略イノベーションセンターとの包括協定締結</p> <p>目的型コミュニティの活動</p> <p>O</p> <p>異文化交流 ※学校などで外国語の先生とふれあう</p> <p>職業(基地内)</p> <p>公営住宅</p> <p>返還跡地の利用</p> <p>高度医療を作る観光も兼ねて来沖する方が増える</p> <p>ベースの中を自由に行き来する</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大による歳入(税収)への影響</p> <p>人口減少社会への対応</p> <p>個人情報保護への不安</p> <p>T</p> <p>家賃が高くて若い人達が住みづらい</p> <p>国際情勢の影響を受ける?</p> <p>医療の発達 ↓ 人を呼ぶ</p> <p>住居がない</p> <p>地元の人 離れる方が多い</p> <p>西と東の意識の差</p>

SWOT 分析から見える平和・基地・人権尊重・男女共同参画・協働・行財政運営分野のまちづくりの課題と施策の展開方向



コンセプトの検討

笑顔でふれあい 多文化を認め合う 平和を愛するまち } 分野の基本コンセプト



× コンセプトのまとめ

将来像	分野	施策
一人から始まる 広がる 大きな輪 みんなで育む北谷町	子育て・教育・青少年健全育成・生涯学習・スポーツ・文化・学びのまち分野 たのしく ゆたかに たくましく 生きる	子育て支援の充実 幼児・学校教育の充実 青少年健全育成 生涯学習の振興 生涯スポーツの推進 学びのまち・北谷
	観光業・商工業・水産業・生きがい農業・跡地利用・企業立地・起業・就業者支援分野 多様性と共に新しい今を創造するまち	観光業の振興 商工業の振興 水産業の振興 生きがい農業の振興 跡地利用の推進 企業立地・起業の促進 就業者への支援
	居住環境・道路・交通・土地利用・上下水・災害・消防・救急・防犯・交通安全・消費者保護・自然環境・景観の保全・循環型社会・環境衛生分野 (みんな一緒に) まじゅん 未来につなぐ エコ美らタウン	居住環境の向上・町営住宅整備 道路・交通ネットワークの充実 適切な土地利用の誘導 上下水道の整備 災害対応・消防・救急 防犯・交通安全 消費者保護 自然環境・景観の保全 循環型社会の形成 環境衛生の向上
	健康づくり・地域福祉・高齢者・障がい・生活困難者・社会保障分野 あなたは北谷の宝です	健康づくりの推進 地域福祉の推進 高齢者福祉の推進 障がい福祉の推進 生活に困難を抱える人の支援 社会保障制度の周知・相談
	平和・基地・人権尊重・男女共同参画・協働・行財政運営分野 笑顔でふれあい 多文化を認め合う 平和を愛するまち	平和の推進 基地問題への対応 人権尊重の意識啓発 男女共同参画 協働 行財政運営